

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
第二外國語	(四)	(四)	(四)
數	四	四	(二)四
物			實講 二
化學		三	實講 二
植物及動物	二	二	實講 二
礦物及地質	二		實講 二
心理		二	
法制及經濟	二		
圖	二	二	(二)
體操	三	三	三
計	(三八) (三二)	(三八) (三二)	(二八) (三二)

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物(講義二、實驗二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシム

第一外國語ハ英語トシ第二外國語ハ獨語トス但シ志望ニヨリ獨語ヲ第一外國語トシ英語ヲ第二外國語トスルコトヲ得

前項ノ場合ハ左ノ教授時數ニ依ル

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)

第四章 入學、在學、休學、退學

- 第七條 入學ハ學年ノ始ニ於テス
- 第八條 入學資格ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且身體檢査ニ合格シタル者トス
- 一、中學校第四學年ヲ修了シタル者
 - 二、高等學校尋常科ヲ修了シタル者
 - 三、高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
 - 四、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
 - 五、文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
 - 六、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
- 第九條 入學ヲ志望スル者ハ指定ノ書類ニ寫眞及考査料ヲ添ヘ本學豫科ニ差出スヘシ
- 第十條 考査料ハ金五圓トス
- 納付シタル考査料ハ還付セサルモノトス
- 第十一條 入學志願者豫定人員ニ超過スルトキハ學力及人物考査ニヨリテ選拔ス

- 第十二條 入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日マテニ入學料金三圓ヲ納付スヘシ
入學ノ後出席セスシテ入學ノ取消ヲ許可セラレタル者ニハ之ヲ免除ス但シ既納ノモノハ還付セス
- 第十三條 生徒ハ入學ノ際父兄保護者又ハ學資供給者ノ宿所氏名ヲ届出ツヘシ
- 第十四條 生徒ハ毎年四月其ノ宿所ヲ届出ツヘシ爾後移動ノ際ハ其ノ都度届出ツルヲ要ス
修學上不適當ト認ムルトキハ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十五條 病氣又ハ已ムテ得サル事故ニヨリ缺席シタル者ハ三日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ
病氣缺席七日以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
- 第十六條 疾病又ハ特別ノ事故ニヨリ二箇月以上修學スルコト能ハサル者ハ願ニヨリ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得
疾病ニヨルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
- 第十七條 休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ始ヨリ原學年ノ課程ヲ履修スルモノトス
- 第十八條 兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中休學ヲ許可ス
滿期後ハ直ニ原學年ニ復歸スヘシ
- 第十九條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ退學ヲ命ス
- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
 - 二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
 - 三、引續キ一箇年以上缺席シタル者
 - 四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
 - 五、出席常ナラサル者
- 兵役ニヨリ休學シタル期間ハ前項第三號ノ缺席日數ニ算入セス

第二十條 退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シテ願出テ許可ヲ受クヘシ

第五章 成績考査

- 第二十一條 學期成績ハ當該學期ニ於ケル平素ノ學業試驗及勤惰ノ狀況ニヨリテ之ヲ考査ス
- 第二十二條 學期成績ハ科目評點及學期平均點ヲ以テ之ヲ表示シ各一百ヲ以テ最高點トス
- 第二十三條 各科目ニ就キ各學期評點ノ和ヲ三分シタルモノヲ以テ學年評點トシ各學期平均點ノ和ヲ三分シタルモノヲ以テ總平均點トス
- 第二十四條 學年總平均點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一二該當スル者ハ進級又ハ修了トス
- 一、學年評點六十未満ノ科目ナキ者
 - 二、學年評點六十未満ノ科目四科目以内アルモ其ノ點數一科目四十以上ニシテ他ハ悉ク五十以上ノ者
- 第二十五條 進級修了又ハ成績ノ判定ニハ平素ノ行狀ヲモ參酌スルコトアルヘシ
- 第二十六條 試験ニ缺席シタル者ノ評點ハ當該學年ニ於ケル他學期ノ成績ト當該學期ニ於ケル平素ノ成績及勤惰トヲ參酌シテ之ヲ定ム
- 懲戒ヲ受ケタルカ爲試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第二十七條 進級又ハ修了セサル者ハ次學年ニ於テ原學年ノ各學科目ヲ再ヒ履修スルモノトス
引續キ二回原級ニ止マル者ハ退學トス

第六章 特待生

第二十八條 學力優等品行方正ナル者ヲ選ヒテ特待生トス

特待生ハ毎學年之ヲ定ム

第二十九條 特待生ニハ授業料ヲ免除ス

第三十條 特待生其ノ資格ヲ損スルトキハ之ヲ廢罷ス

第七章 懲戒

第三十一條 規則命令ニ違背シ風紀ヲ紊亂シ其ノ他生徒タル本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

第三十二條 懲戒ハ譴責、停學、除名ノ三種トス

第八章 授業料

第三十三條 授業料ハ一年金八十圓トス

左ノ三期ニ分チ下記ノ期間ニ於テ納付スヘシ

第一期 金二十五圓 四月二十一日ヨリ同月三十日ニ至ル

第二期 金三十圓 九月一日ヨリ同月十日ニ至ル

第三期 金二十五圓 一月八日ヨリ同月二十日ニ至ル

第三十四條 授業料納付期限後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スルモノトス

第三十五條 指定ノ期間ニ授業料ヲ納付セサル者ハ其ノ未納中授業ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

第三十六條 授業料ノ納付ヲ怠リ未納三週間ニ及フ者ハ其ノ學籍ヲ除ク

第三十七條 授業料ハ休學、停學ノ場合ト雖之ヲ徵收ス但シ兵役ニヨル休學中ノ者ニハ次期以後ノ分納ヲ免除ス
退學ノ場合ニ於テハ其ノ期ノ授業料ハ之ヲ徵收ス

第九章 服制

第三十八條 生徒ハ別ニ定ムル所ニヨリ一定ノ服裝ヲナスヘシ

第十章 獎學貸費

第三十九條 獎學貸費ニ關シテハ別ニ定ムル所ニヨル

附 則

本則ハ大正八年九月十一日ヨリ施行ス

卒業ヲ修了ト改ムルハ昭和四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十三條ハ昭和四年度以降入學ノ生徒ニ對シ之ヲ適用ス

第五條ノ改正ハ昭和十年度ヨリ施行ス

○附屬土木專門部規則 (昭和四年六月改正)

第一章 目的、定員、修業年限

第一條 土木專門部ハ土木工學ニ關スル高等ノ教育ヲ授クルヲ以テ目的トス

第二條 本專門部生徒ノ定員ハ九十名トス

第三條 本專門部ノ修業年限ハ三個年トス

第二章 學年、學期、休業

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
 第五條 學年ヲ左ノ三學期ニ分ツ

第一學期 四月一日ヨリ七月十日ニ至ル

第二學期 七月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至ル

第三學期 十二月二十五日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第六條 休業日ハ左ノ如シ

日曜日

大祭祝日

北海道帝國大學記念日 二月六日

春期休業 四月一日ヨリ五月七日ニ至ル

夏期休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

冬期休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第三章 學科課程

第七條 各學年ノ學科目及每週授業時間數左ノ如シ

學 科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修 身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
英 語	三	三	三	三	三	三	三	三	二
代 數	五	三							
三 角 術 及 解 析 幾 何	五	三							
微 積 分		五	六						
物 理 學	三	三	三						
地 質 學	三	二							
化 學	三								
力 學 及 圖 式 力 學			三	五	五				
器 械 及 發 動 學				三	二	三			
鐵 道				四	四	四	二		二
道 路				二	二				
石 工					三	四	三		

正當ノ事由ナクシテ四月末日マテニ前項ノ手續ヲ爲ササル者ハ入學ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ
在學證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第十六條 生徒ノ宿所不適當ナリト認ムルトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第十七條 病氣又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ缺席シタル者ハ三日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ

病氣缺席七日以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十八條 疾病又ハ特別ノ事故ニヨリ二箇月以上修學スルコト能ハサル者ハ保證人連署願出ニヨリ許可ヲ得一箇年間ノ休學ヲ爲スコトヲ得

疾病ニヨルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十九條 休學ヲ許可セラレタル者ハ滿期後原學年ニ入り修學スルモノトス

休學期限内ト雖其ノ事故止ミタルトキハ許可ヲ得テ修學スルコトヲ得

第二十條 兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中休學ヲ許可ス

滿期後ハ直ニ原學年ニ復歸スヘシ

第二十一條 生徒ハ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上其ノ旨願出ツヘシ

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學業劣等若ハ身體虛弱ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、一箇月以上無届缺席シタル者

四、出席甚タ不規律ナル者

第二十三條 退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署願出テ許可ヲ受クヘシ

第五章 試験、卒業、稱號

第二十四條 學業試験ハ毎學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ教官ノ見込ニヨリ臨時試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十五條 一學年ノ課程ヲ修了シタル者ニアラサレハ次學年ノ課程ヲ履修スルコトヲ得ス

第二十六條 一學年ノ課程ノ修了ハ學年ノ終ニ於テ各學科目ノ成績ヲ考查シテ之ヲ制定ス

第二十七條 各學科目ノ學期評點ハ學期試験點數ト平素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

臨時試験ヲ施行シタル場合ニハ學期試験點數ト平素ノ成績及臨時試験評點數トヲ考查シテ之ヲ定ム

第二十八條 每學年ノ各學科目ノ評點ハ各學期ノ評點平均ニヨリテ定ム

第二十九條 試験ノ成績評點ハ各學科目一百ヲ以テ最高點トス

第三十條 各學科目ノ學期試験成績評點ニシテ四十點ニ滿タサルトキハ其ノ學期ニ於ケル當該學科ノ授業時間數ノ九割以上出席シタル者ニ限り特ニ四十點ヲ與フルコトアルヘシ

第三十一條 課程ノ修了ハ左ノ條項ニ該當スル者ニ就キ平素ノ行狀及勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム

一、各學科目ノ學年評點平均六十以上ヲ得タル者

一、各學科目學年評點各五十以上ヲ得タル者

第三十二條 試験ニ缺席シタルトキハ其ノ學科目ニ零點ヲ附ス

疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリ試験ヲ受クルコト能ハサルモ其ノ事由明瞭ナル者ニハ該學年中ニ得タル他ノ學期成績ヲ參酌シ其ノ學期中ノ勤惰ヲ考查シテ認定點ヲ附シ該學年成績トナスコトアルヘシ

第三十三條 課程ヲ修了セサル者ハ原級ニ止マリ次學年ニ於テ原學年ノ各學科目ヲ再ヒ履修スルモノトス
 第三十四條 引續キ二回原級ニ止マル者ハ退學トス但シ休學シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第三十五條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ハ卒業トス
 卒業ノ席次ハ各學年ノ平均點數ヲ以テ之ヲ定ム
 第三十六條 卒業シタル者ハ工學得業士ト稱スルコトヲ得

第六章 特待生

第三十七條 學力優等品行方正ナル者ヲ選ヒテ特待生トス
 特待生ハ每學年之ヲ定ム
 第三十八條 特待生ニハ授業料ヲ免除ス
 第三十九條 特待生其ノ資格ヲ損スルトキハ之ヲ廢罷ス

第七章 懲戒

第四十條 規則命令ニ違背シ風紀ヲ紊亂シ其ノ他生徒タル本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス
 懲戒ハ譴責、停學、除名ノ三種トス

第八章 授業料

第四十一條 授業料ハ一學年金八十圓トス
 左ノ三期ニ分チ下記ノ期間ニ於テ納付スヘシ

第一期	金二十五圓	四月八日ヨリ同月二十日ニ至ル
第二期	金三十圓	九月十一日ヨリ同月二十日ニ至ル
第三期	金二十五圓	一月八日ヨリ同月二十日ニ至ル

第四十二條 授業料納付期限後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スルモノトス
 第四十三條 規定ノ期間ニ納付セサル者ハ其ノ未納中授業ヲ受クルコトヲ得サルモノトス
 第四十四條 授業料ノ納付ヲ怠リ未納三週間ニ及フ者ハ其ノ學籍ヲ除ク
 第四十五條 授業料ハ休學、停學ノ場合ト雖之ヲ徵收ス但シ兵役ニヨル休學中ノ者ニハ次期以後ノ分納ヲ免除ス
 退學ノ場合ニ於テハ其ノ期ノ授業料ハ之ヲ徵收ス

第九章 服制

第四十六條 生徒ハ別ニ定ムル所ニヨリ一定ノ服裝ヲナスヘシ

第十章 獎學貸費

第四十七條 獎學貸費ニ關シテハ別ニ定ムル所ニヨル
 附則

本則ハ大正八年九月十一日ヨリ施行ス
 第四十一條ハ昭和四年度以降入學ノ生徒ニ對シ之ヲ適用ス

○學生生徒服制

○學生生徒服制

(昭和五年三月改正)

朝ノ徽章	朝		袴		衣		上	地	質
	製式	地質	製式	地質	製式	地質			
前章ハ縦八分横六分 テノ金具製筆書ヲ以 ステ大學ノ文字ヲ現ハ	菱形ニシテ黒色ノ前 庇ヲ分シテ黒色ノ前 徑五分ノ金紐兩側ニ ノス但シ又セナル現	黒羅紗	普通長袴	上衣ト同シ	立襟一行背廣ニシテ 徑六分ノ金紐五箇 ヲ前部ニ附ス但シ交 又セナル花上ニ大 字ヲ現ハス	黒羅紗但シ夏ハセル 又ハ小倉	同	同	大學學生
前章ハ全徑一寸 二ノ金具製 枝葉ノ中ニ星ノ 章ヲ附ス	圓形ニシテ周圍 ニ白テ一布(巾 凡二分)三條ヲ 附ス他ハ同上	同上	同上	同上	同上徑六分ノ櫻 葉中ニ星ノ附 シ金紐ニシテ 前部ニ五箇ヲ附	同上	同上	同	豫科生徒
前章ハ縦九分横 七分ノ金具製 書ヲ以テ農學ノ 文字ノ上ニ銀色 星ノ章ヲ附ス	圓形ニシテ周圍 ニ黒色ノ巾一寸 他ハ同上	同上	同上	同上	同上徑六分ノ櫻 花形金紐ニシ テ前部ニ五箇ヲ	同上	同上	同	農學實科生徒
前章ハ縦九分横 七分ノ實ヲ以テ ノ白文ヲ現ハ シ中央ニ縦五分 ノ金具製 書ヲ以テ農學 ノ文字ノ上ニ銀	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同	林學實科生徒
前章ハ縦一寸横 八分ノ金具製 書ヲ以テ農學 ノ文字ノ上ニ銀	圓形ニシテ周圍 ニ黒色ノ巾一寸 他ハ同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同	土木専門部生徒

但シ兵式體操ノ時ハ必スゲートル着用ノ事又選科生ハ此ノ服制ニ準スルモノトス

○附屬圖書館規程

(大正十一年十一月改正)

覆雨	外		襟ノ徽章
	套製式	地質	
羅紗	柄襟陰紐釦	羅紗	左襟ニハ農學部ハ金 具製四分五厘ノ上 字ヲ以テ農學部ハ同 字ヲ以テ理學部ハ同 字ヲ以テ醫學部ハ同 字ヲ以テ右襟ニハ同 星ノ章ヲ附ス
同上	同上	同上	左襟ニハ金具 製四分五厘ノP 字ヲ附ス
同上	同上	同上	左襟ニハ同上製 農ノ字ヲ附ス
同上	同上	同上	左襟ニハ同上Fノ字 ヲ附ス
同上	同上	同上	左襟ニハ同上製 Cノ字ヲ附ス

○附屬圖書館規程

第一條 本學ニ圖書館ヲ置キ北海道帝國大學ニ於ケル圖書ヲ貯藏ス
 第二條 共用ニ供スル圖書ノ冊數及期限ヲ設ケス教室主任及部科長之ヲ借受スルモノトス
 第三條 參考用トシテ借受スルコトヲ得ヘキ冊數ハ左ノ如シ但シ増加借受ノ必要アル場合ハ特ニ總長ノ許可ヲ得ル者ニ限リ制限外ニ借受スルコトヲ得
 一、教授、助教授、講師、履教員 十冊
 一、書記、履員 二冊
 借受ノ冊數ハ洋裝ノモノニ就キテ之ヲ定メ和漢裝ノモノハ五冊ヲ以テ一冊ニ充テ裝釘セサル逐次刊行ノ書ハ一完

冊ヲ爲スマテノ若干號ヲ合シテ一冊ト看做ス

第四條 學生生徒ハ已ムヲ得サル場合ニ限リ館長ノ許可ヲ得テ二冊ヲ限リ借受スルコトヲ得

第五條 教科書若ハ參考書ニシテ受持教官ノ指定ニ係ルモノハ學生生徒ノ願ニヨリ貸付スルコトアルヘシ

第六條 圖書ヲ借受セントスル者ハ定式ノ證書用紙ニ番號著者名姓名等ヲ評載シ捺印ノ上館長ニ差出スヘシ

第七條 貸付シタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス但シ共用ノ爲借受ケタル者ハ教室内ニ限リ轉貸スルコトヲ得

第八條 貸付シタル圖書ハ一箇月以内ニ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アル者ハ更ニ借受ノ手續ヲ爲スヘシ但シ

他ニ前願者アルトキハ貸付セサルコトアルヘシ

退職轉任又ハ退學、休學、卒業シタル者ハ貸付期限内ニ拘ラス其ノ當日必ス返納スヘシ

第九條 借受ノ圖書ハ檢査ノ爲貸付期限内ト雖每年六月三十日迄ニ悉ク返納スヘシ共用借受ノ圖書ニ限リ本館吏員

出張ノ上點檢スルモノトス

第十條 職員學生生徒及借受ノ特許ヲ得タル者夏期休業中圖書ヲ借受ケント請フ者ニハ二冊ヲ限リ貸付スルコトアルヘシ

第十一條 閱覽室ハ日曜日、大祭祝日ヲ除ク外左ノ時間之ヲ開ク

自九月十一日 午前八時ヨリ午後九時マテ

自十二月二十七日 午前八時ヨリ午後九時マテ

自一月十六日 午前八時ヨリ午後九時マテ

自七月十一日 午前八時ヨリ正午十二時マテ

自九月十一日 午前八時ヨリ正午十二時マテ

第十二條 學生生徒閱覽室ニ入場ノ節ハ必ス閱覽票ヲ掛員ニ渡シ退場ノ節之ヲ受クヘシ但シ閱覽票ハ毎年館長ヨリ

學生生徒ニ交付ス

第十三條 圖書ヲ借覽セントスルトキハ目錄ニ就キ其ノ圖書ヲ檢出シ規定ノ用紙ニ書名番號姓名等ヲ詳記シ掛員ニ

差出シ閱覽了レハ直ニ返納スヘシ

第十四條 圖書ハ閱覽室内ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ參考書及定期刊行物ハ定メタル別席ニテ閱覽スヘシ

第十五條 閱覽室ニ在リテ喫煙、音讀、談論、雜誌等ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 圖書筆墨ノ類ヲ除ク外物品ヲ閱覽室内ニ携帯スルコトヲ得ス

第十七條 左ニ掲クル者ニハ特許閱覽票ヲ交付シ圖書ノ借覽ヲ許スコトヲ得

一、舊職員

一、卒業生

一、諸官廳ノ吏員公務ニヨリ其ノ官廳ヨリ照會アル者

一、特別ノ事情アル者

第十八條 閱覽票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十九條 閱覽票ヲ遺失シタルトキハ其ノ旨ヲ館長ニ届出テ更ニ交付ヲ請フヘシ

第二十條 左ニ掲クル者ハ書庫内ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

一、教授、助教授、講師

一、大學本科三年級學生

第二十一條 前條ニ掲ケサル職員ニシテ書庫内ニ入り圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ要スルトキハ其ノ都度館長ノ許可ヲ

經ヘシ

第二十二條 書庫内ニ入り圖書ヲ檢索シ得タル上ハ直ニ庫外ニ出テ第十三條ノ手續ヲ經テ閱覽スヘシ

第二十三條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂スルコトヲ得ス

○附屬圖書館規程

○植物園博物館縱覽規程

- 第二十四條 五人以上同時ニ書庫内ニ入りテ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得ス
- 第二十五條 共用ノ爲借受シタル圖書ヲ毀損汚染若ハ紛失シタルトキハ借受者ヨリ書面ヲ以テ館長ヲ經テ總長ニ開申スヘシ
- 第二十六條 借受シタル圖書ヲ紛失シタル者ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシム
- 第二十七條 借受シタル圖書ヲ毀損又ハ汚染シタル者ハ損害ノ多少ニ準シ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ若ハ之ヲ修繕セシム
- 第二十八條 圖書返納ノ督促ヲ受ケ三箇月ヲ過クルモ尙返納セサル者ハ紛失シタルモノト看做シ前條ニ準シ處分ス
- 第二十九條 圖書借用ノ期限ヲ過キ督促ヲ受クルモ尙之ヲ返納セサル者ハ其ノ義務ヲ終ルマテ他ノ圖書ヲ本人ニ貸付スルコトヲ停止ス
- 第三十條 本規程ニ違背シタル者ハ七月以上一箇年以下圖書ノ貸付及閱覽ヲ停止スルコトアルヘシ

○植物園及博物館縱覽規程

(昭和八年四月改正)

- 第一條 植物園ハ内外諸國所産ノ植物ヲ栽植シ又博物館ハ主トシテ北海道ノ天産物及人類學ニ關スル標本並ニ博物學ニ關スル内外諸國ノ標本ヲ蒐集陳列シテ本學職員及學生生徒ノ研究ニ資シ併セテ公衆ノ縱覽ニ供スル所トス
- 第二條 植物園及博物館並ニ温室ノ一般縱覽日時ヲ左ノ通定ム
- 但シ臨時ノ開閉ハ其ノ都度門外揭示場ニ之ヲ公示ス

期	植物園及博物館	温室
自四月一日 至四月三十日	日曜、水曜、土曜 及大祭日	自四月一日 至九月十五日
	自午前八時 至午後五時半	自午前八時 至午後五時半
	日	日
	自午前八時 至午後五時半	自午前八時 至午後五時半
	日	日
	自午前八時 至午後五時半	自午前八時 至午後五時半

自五月一日 至九月十五日	每日	自午前八時 至午後五時半	自九月十六日 至十一月三十日	每日	自午前八時 至午後五時半
自九月十六日 至十月三十一日	每日	自午前八時 至午後四時	自十一月一日 至三月三十一日	每日	自午前八時 至午後三時半
自十一月一日 至十一月三十日	日曜、水曜、土曜 及大祭日	自午前八時 至午後四時		但シ一月、一、 二、三日ヲ除ク	

- 第三條 縱覽人ハ縱覽券ヲ携帯スヘシ 但シ植物園及博物館ノ公開期間中ハ縱令温室ノミチ縱覽セントスル者ト雖モ「植物園及博物館縱覽券」ヲ併セ携帯スルコトヲ要ス
- 第四條 縱覽券及其ノ料金ヲ定ムルコト左ノ如シ
- | | | |
|------------|----------------------|-----|
| 植物園及博物館縱覽券 | 大人一人ニ付 | 金五錢 |
| | 小人一人ニ付 | 金二錢 |
| 同 | 二十五回券一冊 | 金一圓 |
| 同 | 大人一人ニ付 | 金五錢 |
| 同 | 小人一人ニ付 | 金二錢 |
| 同 | 中等學校以上學生
生徒團體一人ニ付 | 金三錢 |
| 同 | 小學校團體一人ニ付 | 金一錢 |
- 但シ團體ハ十人以上、小人ハ六歳以上十二歳未滿トス、六歳ニ滿タサルモノハ縱覽券ヲ要セス
- 第五條 本學職員及學生生徒ハ縱覽券ヲ要セス但シ學生生徒ハ制服制帽ヲ着用スルヲ要ス
- 第六條 左ニ掲グル者ハ本學ノ承認ヲ得テ植物園及博物館ヲ無料縱覽スルコトヲ得
- 一、各種學校學生生徒ニシテ學術研究ノ爲指導教官ノ引率セル者

○植物園及博物館縱覽規程

○植物園及博物館縱覽規程

二〇四

- 二、隊伍ヲ編成シ指揮官ノ引率スル陸海軍々人
 - 三、其他本學ニ於テ承認シタル者
- 但シ本學ニ於テ必要ト認メタル場合ハ植物園、博物館及温室ヲ無料ニテ縱覽セシムルコトアルヘシ
- 第七條 縱覽券ヲ所持スル者ト雖モ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ入園ヲ拒絕シ若ハ退園ヲ命スルコトアルヘシ
- 一、癡狂者又ハ泥醉者
 - 二、足駄若ハ薄齒下駄ヲ穿ツ者
 - 三、畜類ヲ牽ク者
 - 四、包物、採集籠、籠、鞆又ハ花卉、果實、種子等ヲ携帯スル者
 - 五、十歳未満ノ小兒ニシテ相當ノ保護者ノ伴ハサル者
 - 六、陳列品ニ手ヲ觸レ栽培及自生ノ花卉樹木ヲ毀損スル者
 - 七、飲酒、放歌、吟誦、其ノ他喧噪ノ所爲アル者
 - 八、建築物内ニ於テ喫煙スル者
 - 九、許可ナクシテ構内ニ於テ撮影シ又ハ模寫スル者
 - 十、園内ノ樹木ニ攀チ又ハ鳥獸魚類ヲ捕獲スル者
 - 十一、本規程若ハ揭示事項ニ違背シ又ハ係員ノ指示ニ從ハサル者
- 第八條 園内及温室ノ樹木、花卉其ノ他ノ物品並館内陳列品、陳列函、窓硝子等ヲ毀損シタルトキハ現品若ハ相當代價ヲ償ハシムルコトアルヘシ
- 第九條 縱覽者ニ必要ナル事項ハ隨時揭示場ニ之ヲ公示ス

附 則

本規程ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○家畜病院規程

(明治四十五年六月制定)

- 第一條 本院ハ學術實驗ニ資センカ爲本學及民間ノ病畜ヲ治療ス
 - 第二條 外來患畜ノ診療ハ休日ヲ除キ毎日午前九時ヨリ午後三時迄トス
 - 第三條 患畜ノ治療ヲ受ケントスル者ハ本院ニ申出テ同時ニ患畜ヲ牽來ルヘシ
 - 第四條 患畜ノ入院ヲ望ム者ハ入院願書ヲ差出シ承認ヲ受ケヘシ
 - 第五條 本院ニ於テ患畜ノ入院ヲ承認シタルトキハ入院證ヲ交付ス
 - 第六條 患畜入院中避クヘカラサル災害若ハ施術中死傷等アルモ本院ハ其ノ辨償ノ責ニ任セス
 - 第七條 畜主ニ於テ患畜退院ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ家畜ヲ引取り入院證ヲ返付スヘシ
 - 第八條 畜主ニ於テ患畜斃死ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ其ノ屍體ヲ引取ルヘシ若シ二十四時間以内ニ引取ラサルトキハ本院ニ於テ處分ス
 - 第九條 入院料、施術料、藥價、皮下注射料、灌腸料及處分ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第十條 學術上特ニ必要ノ患畜ニ限リ治療費ノ幾分若ハ全部ヲ免除ス
 - 第十一條 本院ハ往診ノ依頼ニ應ス但シ往診ニ要スル實費ハ畜主之ヲ負擔スヘシ
 - 第十二條 入院料ハ一週間毎ニ又半途退院ノ場合ニハ其ノ際之ヲ納付スヘシ
 - 第十三條 裝綴ハ休日ヲ除キ毎日午後一時半ヨリ同三時迄施行スルモノトス
- (入院願書書式省略)

○家畜病院規程

二〇五

○醫學部附屬醫院規則

- 第一條 本院ハ醫學上ノ研究及學術教授ノ目的ヲ以テ患者ノ診療ヲ爲ス所トス
- 第二條 患者ヲ分チテ外來及入院ノ二種トス
- 第三條 患者ノ治療ハ官費ヲ主トシ傍ラ私費ノ治療ノ其ノ病症ニ依リ之ヲ許可ス
- 第四條 私費患者ニハ本院所定ノ料金ヲ納付セシム
- 第五條 本規則ノ施行細則ハ本學總長之ヲ定ム

○醫學部附屬醫院規則施行細則

- 第一條 患者ニシテ其ノ病症學術研究上須要ト認ムル者ハ官費患者トシテ治療ス但シ患者ノ希望又ハ本院ノ都合ニ依リ費用ノ一部分ヲ徵收スルコトアルヘシ
- 第二條 官費患者ハ本人ノ願出ニヨリ該科教授之ヲ許可ス
- 第三條 外來患者ニハ診察券ヲ交付シ診療請藥ノ際掛員ニ之ヲ提出スヘシ
- 第四條 入院ハ當該科教授之ヲ許可シ同時ニ入院證ヲ差出サシム但シ官費患者ハ剖檢承諾書ヲ添附スヘシ
- 第五條 入院患者ハ醫員ノ許可ヲ得スシテ退院スルヲ許サス
- 第六條 官費入院患者死亡シタルトキハ剖檢ニ付スルモノトス
- 第七條 死體剖檢後ハ遺族若ハ身元保證人ニ於テ遺骸ヲ引取ルヘシ但シ請願ニ依リ官費ヲ以テ葬祭ヲ行フコトアルヘシ
- 第八條 私費患者ニ對シテハ本院所定ノ藥價入院料其ノ他所要ノ料金ヲ徵收ス

- 第九條 官費入院患者許可ヲ得スシテ退院シタルトキハ入院當時ニ過リ本院所定ノ入院料其ノ他ノ料金ヲ徵收ス
- 第十條 本院ニ於テ診療セサル病症ハ其ノ都度醫院長之ヲ定ム

○醫學講習科規程

- 第一條 本講習科ハ醫師ニ醫學上ノ新知識ヲ普及スルヲ目的トス
- 第二條 講習期間ハ五週間以内トシ毎年一回之ヲ開ク但シ其ノ時期ハ其ノ都度之ヲ定ム
- 第三條 講習科目及講師氏名ハ豫メ之ヲ公告ス
- 第四條 講習志願者ハ醫師及獸醫ノ資格ヲ有スル者ニ限ル
- 第五條 講習者ノ人員ハ各學科十名以上五十名以下トス但シ設備上ノ都合ニ依リテハ其ノ人員ヲ増減スルコトアルヘシ
- 第六條 講習者ニハ講習料金拾圓ヲ前納セシム但シ開講セサル場合ノ外既納ノ講習料ハ還付セス
- 第七條 講習科修了者ニハ證明書ヲ付與ス

○看護法講習科規則

- 第一條 看護法講習科ハ患者看護ノ方法ヲ教授シ看護婦及看護人ヲ養成スルヲ目的トス
- 第二條 講習期間ヲ二箇年トシ之ヲ二學年ニ分チ學科及實習ヲ課ス
- 第三條 前學年ニ於テハ看護ニ必要ナル左記學科ヲ授ケ兼テ實務ヲ練習セシム
 - 一、修 身
 - 一、看護婦心得

- 一、解剖及生理學大意
- 一、衛生學大意
- 一、患者運搬法
- 一、藥物及調劑學大意
- 一、一般看護法及治療介輔
- 一、編帶學
- 一、救急療法
- 一、醫科器械學
- 一、內科看護法
- 一、外科看護法（外科的消毒法、麻醉法ヲ含ム）
- 一、整形外科看護法
- 一、傳染病大意、看護法及一般消毒法
- 一、產科婦人科看護法
- 一、耳鼻咽喉科看護法
- 一、眼科看護法
- 一、皮膚泌尿器科看護法
- 一、小兒科看護法
- 一、精神科看護法
- 一、齒科看護法

一、實 習

前項ノ外課外必修科目トシテ國語、數學、作法（女子）ヲ隨意科目トシテ音樂、外國語、裁縫、刺烹、其他必要ナル學問技藝ヲ併セ課ス

第四條 後學年ハ主トシテ看護法ヲ實習セシム

第五條 前學年ノ終リニ於テ學科試驗ヲ行ヒ合格者ヲ進級セシメ後學年ノ終リニ於テ卒業試驗ヲ行ヒ合格者ニ卒業證書ヲ授與ス

第六條 講習生ハ左記各號ノ資格ヲ有シ入學試驗ニ合格シタル者ニ限ル

- 一、品行方正ナルコト
 - 二、身體健全ナルコト
 - 三、年齡女子ハ滿十五年以上三十年以下男子ハ滿二十一年以上三十年以下ナルコト
 - 四、配偶者ナク且家事ニ係累ナキコト
 - 五、高等小學校卒業者又ハ試驗ヲ行ヒ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者
- 第七條 入學志願者ハ願書（第一號書式）ニ履歷書及戶籍謄本ヲ添ヘ差出スヘシ但シ第八條但書ニ依ル者ハ卒業證書寫又ハ卒業見込證明書ヲ添付スヘシ
- 第八條 入學試驗左ノ如シ

一、學科試驗

國語 高等小學校卒業程度

算術 同

但中學校、高等女學校又ハ之ト同等以上ノ學校卒業者及入學期マテニ卒業見込ノ者ハ無試驗トナスコトヲ得

二、體格検査
三、應 問

第九條 入學試験合格者ト雖更ニ審査ノ上不合格ト認ムル場合ハ入學ヲ取消スコトアルヘシ

第十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學ト同時ニ誓約書(第二號書式)ヲ差出スヘシ保證人ハ成年以上ノ家計主ニシテ札幌市内ニ居住シ直接國稅ヲ納メ又ハ不動産ヲ所有スル者タルヲ要ス但シ附屬醫院長ニ於テ適當ト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 保證人死亡シ又ハ前條第二項ノ資格ヲ失ヒタルトキハ直チニ有資格者ヲ以テ之レニ代ヘ更ニ誓約書ヲ差出スヘシ保證人轉籍、轉居又ハ改氏名ノ場合ハ遲滞ナク届出ヲ爲スヘキモノトス

第十二條 講習生ハ之ヲ給費トシ在學中ハ食糧及日給ヲ給シ制服制帽及寢具ヲ貸與シ寄宿舎ニ入ルヘシ日給ハ忌引賜暇又ハ本院ノ命ニ依ル場合以外ノ外泊ニハ之ヲ給セス

第十三條 講習生ハ諸規則ヲ遵守シ上長ノ指揮命令ニ服従スヘシ

第十四條 講習生傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル時ハ官費ヲ以テ之ヲ治療ス但自己ノ便宜ニ依リ療養セントスル者ハ此限ニ在ラス

第十五條 講習生ニシテ成業ノ見込ミナキ者又ハ學年所定ノ授業時數ノ三分ノ一以上授業ヲ受クルコトヲ得サリシ者ハ之ヲ除名ス

第十六條 講習生ニシテ第十三條ノ規定ニ違背シ其他不都合ノ行爲アルモノハ相當ノ處分ヲナシ其情狀重キ者ハ退學ヲ命ス

第十七條 講習生ハ卒業ノ日ヨリ滿二ケ年間所定ノ給料ヲ受ケ看護婦又ハ看護人トシテ勤務スヘキ義務アルモノトス

第十八條 左記各號ノ一二該當スル者ハ講習中支給シタル學資ナ一時ニ辨償セシム但退學又ハ退職ノ場合特別ノ事情アルモノト認メタルモノハ支給金ノ一部又ハ全部ノ償還ヲ免スルコトアルヘシ

一、中途退學ヲナス者

二、第十六條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

三、第十七條ノ義務ヲ履行セサル者

(第一號及第二號様式省略)

○産婆養成所規則

第一條 本養成所ハ産婆ニ必要ナル學術ヲ授ケ且實地練習ヲ爲サシムルヲ以テ目的トス

第二條 本養成所ニ本科並補習科ノ二科ヲ置ク

一、本科

第三條 修業年限ヲ二年トシ之ヲ二學年ニ分ツ前學年ハ更ニ之ヲ左ノ三期ニ分チテ學科ヲ教授シ兼テ實習ヲ課シ後學年ハ主トシテ實習ニ就カシム

第一期

一、修身

一、解剖

一、生理

一、衛生

○産婆養成所規則

一、一般看護法

一、一般消毒法

一、正規妊娠分娩產褥及其取扱法

第二期

一、修身

一、異常妊娠分娩產褥及其取扱法

一、生兒取扱法

一、救急療法

一、模型演習

一、臨床實習

第三期

一、修身

一、婦人科學大意

一、產婆心得

一、模型演習

一、臨床實習

實習中ハ本院看護規則ニ從ハシム

第四條 學年ハ五月一日ニ始リ翌年四月三十日ニ終ル

第五條 前學年ノ終リニ於テ學科試驗ヲ行ヒ合格者ヲ進級セシメ後學年ノ終リニ於テ卒業試驗ヲ行ヒ合格者ニ卒業

證書ヲ授與ス

第六條 生徒ハ左記各號ノ資格ヲ有スル女子ニシテ入學試驗ニ合格シタル者ニ限ル

一、品行方正ナルコト

二、身體健全ナルコト

三、年齡滿十八歲以上三十五歲以下ナルコト

四、家事ニ係累ナキコト

五、高等小學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者

第七條 入學試驗左ノ如シ

一、學科試驗

國語 高等小學校卒業程度

算術 同

但高等女學校又ハ之ト同等以上ノ學校若クハ入學期マテニ卒業見込ノ者ハ無試験トナスコトヲ得

二、體格検査

三、應問

第八條 入學志願者ハ願書(第一號書式)履歷書及戶籍謄本ヲ添ヘ差出スヘシ但第七條第一項但書ニ依ル者ハ卒業

證書寫又ハ卒業見込證明書ヲ添付スヘシ

第九條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學ト同時ニ誓約書(第二號書式)ヲ差出スヘシ

保證人ハ成年以上ノ戶主又ハ家計主ニシテ札幌市内ニ居住スル男子タルヘシ

第十條 生徒ヲ分チテ自費生及給費生トス自費生ト雖制服ヲ貸與ス

第十一條 生徒ハ實習ノ爲院内ニ寄宿セシムルコトアルヘシ
 第十二條 自費生寄宿ヲ命セラレタル場合ト雖其ノ食料寢具等ハ自辨トス
 第十三條 自費生ハ授業料一ヶ月壹圓五拾錢ヲ毎月五日迄ニ納付スヘシ
 但八月分ハ納付スルニ及ハス一旦納付シタル授業料ハ如何ナル場合ト雖モ還付セス
 第十四條 生徒ハ諸規則ヲ遵守シ上長ノ指揮命令ニ服従スヘシ
 第十五條 生徒ニシテ成業ノ見込ナシト認メラレタル者又ハ不都合ノ行爲アリタル者ハ退學ヲ命ス
 第十六條 給費生ニシテ中途退學シ又ハ退學ヲ命セラレタル者ニハ在學中支給シタル費用ノ全部ヲ償還セシム但シ止ムヲ得サル事情アリト認メタル場合ハ其一部若ハ全部ノ償還ヲ免スルコトアルヘシ

二、補修科

第十七條 修業年限チ一年トシ實地ニ必要ナル學理ヲ教授シ實習ニ就カシム
 第十八條 學年ハ五月一日ニ始マリ翌年四月三十日ニ終ル
 第十九條 學年ノ終リニ於テ試験ヲ行ヒ合格者ニ修業證書ヲ授與ス
 第二十條 生徒ハ左記各號ノ資格ヲ有スル女子ニシテ入學試験ニ合格シタル者ニ限ル
 一、左ノ諸項上ソノ一ヲ具備スルコト
 (イ) 地方長官施行ノ產婆試驗ニ合格シタル者
 (ロ) 內務大臣ノ指定シタル學校又ハ講習所ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ產婆免許ヲ得タル者ニシテ內務大臣ノ適當ト認メタル者
 二、品行方正ナルコト

三、身體健全ナルコト
 四、家事ニ係累ナキコト
 第二十一條 入學試験左ノ如シ

- 一、學科試驗
- 產婆學
- 二、體格検査
- 三、應問

第二十二條 入學志願者ハ願書(第一號様式)ニ履歷書及戶籍謄本並ニ產婆免許狀若クハ產婆試驗合格證書又ハ產婆講習所卒業證書等ノ寫ヲ添ヘテ差出スヘシ
 第二十三條 第九條乃至第十六條ハ補習科ニ於テモ之ヲ適用ス
 (第一號書式及第二號書式省略)

○病的材料検査科規程

第一條 北海道帝國大學醫學部附屬醫院ニ病的材料検査科ヲ置ク
 第二條 本科ハ醫師其ノ他公衆ノ依頼ニ應ジ別項ニ示ス如キ検査ニ從事ス
 第三條 検査員ハ北海道帝國大學醫學部又ハ同附屬醫院ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ
 第四條 検査ヲ依頼セントスル者ハ該材料ニ検査ノ事項ヲ指定シ所定ノ検査料ヲ添ヘテ之ヲ持參シ又ハ郵送スヘシ但シ郵便物包裝規則第十一條ニ該當スル検査材料ヲ郵送スル場合ニハ同條ノ手續ヲ履ムコトヲ要ス
 第五條 一旦提出シタル検査材料及検査料ハ何等ノ事故アルモ返却ノ請求ニ應セス但シ検査材料ノ變化亡失等ニ依

○病的材料検査科規程

リ検査不能ノ時ハ検査料ヲ徴收セサルコトアルヘシ
第六條 本科ニ於テ検査ノ依頼ニ應スヘキ事項及検査料左ノ如シ

一、喀 痰

細菌學的検査

A 顯微鏡検査

検査依頼細菌ノ有無一種ニ付

寄生蟲卵血液其ノ他指定ノ病的成分有無

B 培養検査

C 動物試験

二、胃 液

(試験朝食即チ食パン七十五茶一杯約三〇〇瓦ヲ
與ヘ一時間後ニ採取セルモノヲ直ニ送付ノコト)

酸ノ定性定量及病的成分ノ顯微鏡的及化學的検査

三、糞 便

細菌學的検査

腸室扶斯及バラチフス菌

赤痢菌

コレラ菌

赤痢アメーバ

顯微鏡的検査

寄生蟲卵

金 壹 圓
各 金 壹 圓
金 壹 圓五拾錢
金 五 圓

金 壹 圓

各 金 貳 圓

金 壹 圓

金 壹 圓

其ノ他病的成分ノ有無

化學的検査

血 色 素

四、尿 (成ルヘク新鮮ナルヲ要ス)

化學的及顯微鏡的普通検査

蛋白質分血液膽色素ノ定性試験及圓形血球病的細胞ノ有無

定量化學的検査

蛋白質ノ定量試験

細菌學的検査

腸室扶斯菌及バラチフス菌

結 核 菌

五、血 液 (患者ヲ來院セシメ又ハ塗布標本ヲ送付ノコト)

赤白血球血色素量

結的血球ノ有無

腸室扶斯及バラチフス菌ノ膽汁培養検査

(血液ヲ少量膽汁培養基ニ加ヘテ提出ノコト)

(膽汁培養基ハ本科ニツキ請求セラル、トキハ提供ス)

マラリヤ原蟲

普通検査 金 壹 圓
動物試験 金 五 圓

金 壹 圓

金 壹 圓

金 壹 圓

金 壹 圓

金 壹 圓

○病的材料検査科規程

○理學部附屬臨海實驗所實驗室貸付規程

二一八

- 再歸熱スヒロヘーテ 金 壹 圓
- 其ノ他血液寄生蟲 金 壹 圓
- 六、血 清 (發泡液ニテモ妨ナシ) 金 壹 圓
- ワツセマン氏反應 金 壹 圓
- (同時ニザツクス・ゲオルギー沈降反應ヲモ行フ)
- (一週二回火金曜日ヲ検査日トス)
- 腸チフス菌、バラチフス菌凝集反應検査 金 壹 圓
- (検査日 火、金曜日)
- 但シ検査日以外ノ日ニ申込ミタル分ハ料金倍額トス
- 七、腰穿刺液 金 壹 圓
- 普通検査 金 壹 圓
- 比重蛋白量白血球ノンネ・アベルト氏反應、パンテキー氏反應 金 壹 圓
- 細菌血清學的検査 金 壹 圓
- 結核菌、腦脊髓膜炎菌、肺炎菌、其ノ他及ワツセルマン氏反應 金 壹 圓
- 八、切除材料及剖見材料 金 參 圓
- 病理組織學的検査 金 參 圓

○理學部附屬臨海實驗所實驗室貸付規程

第一條 本所實驗室ハ本學理學部職員、學生生徒ノ實驗研究ニ差支ナキ場合ニ限り本規程ニ依リ本學理學部以外ノ

研究者ノ爲ニ貸付ス

第二條 實驗室ヲ使用セントスル者ハ左ノ手續ヲナスヲ要ス

- 一、本學職員、學生生徒ハ口頭又ハ書面ヲ以テ本所長ニ申出許可ヲ受クヘシ
- 二、本學職員、學生生徒ヲ除ク他ノ一般研究者ハ所定ノ願書ヲ理學部經由本所長ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 但シ前記第二號ノ該當者ニシテ在學中ノ學生生徒及學校若シクハ官廳奉職者ノ願書ハ學校長又ハ本屬長官ヲ經由スヘシ

第三條 本學職員、學生生徒及本所ニ於テ研究上必要ト認メタル者ヲ除ク外實驗室使用者ハ左ノ使用料ヲ納付スヘシ

一、實驗室座席一個ニ付一日 金 五 拾 錢

二、實驗室一室ニ付 金 五 圓

第四條 前條ノ使用料ハ本學會計課ニ前納スヘシ

但シ既納ノ使用料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス

第五條 本學理學部以外ノ使用者ノ研究費ハ各自自辨トス

○理學部附屬臨海實驗所水族室觀覽規程

第一條 臨海實驗所水族室ハ本學職員、學生生徒ノ實地研究ニ資スルノ外本規程ノ定ムル所ニ據リ一般公衆ノ觀覽ニ供ス

第二條 本水族室公開ノ日時ハ左ノ通トス但シ臨時閉鎖ヲ要スル場合ハ所内ニ之ヲ揭示スヘシ
自五月十六日 每日午前八時ヨリ午後五時半迄
至八月三十一日

○理學部附屬臨海實驗所水族室觀覽規程

二一九

○理學部附屬臨海實驗所水族室觀覽規程

自九月十一日 每日午前九時ヨリ午後四時迄
至十月三十一日

第三條 本學職員、學生生徒ヲ除ク外觀覽者ハ觀覽券ヲ携帯スヘシ

第四條 觀覽券ハ左ノ料金ニ依リ所内ニ於テ販賣ス

一、一般公衆一人ニ付 金 五 錢

但シ五歳未満ノ者ハ觀覽券ヲ要セス

二、學生、生徒、兒童一人ニ付 金 參 錢

三、二十人以上ノ團體 一般公衆一人ニ付 金 參 錢
學生生徒一人ニ付 金 貳 錢

第五條 觀覽券ヲ携帯スル者ト雖モ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ入室ヲ拒絕シ又ハ退室ヲ命スルコトアルヘシ

- 一、癡狂者又ハ泥醉者
- 二、拾歳未満ノ小兒ニシテ相當ノ保護者ノ伴ハサル者
- 三、風俗ヲ害シ秩序ヲ亂ス虞アル者
- 四、陳列品ニ手ヲ觸レ毀損スル者
- 五、放歌、吟誦、其他喧噪ノ所爲アル者
- 六、建築物内ニ於テ喫煙スル者
- 七、許可ナクシテ室内ニ於テ攝影シ又ハ模寫スル者
- 八、本規程若ハ揭示事項ニ違背シ又ハ係員ノ指示ニ從ハサル者

第六條 室内ノ物品並陳列品、陳列窓硝子等ヲ毀損シタルトキハ現品若ハ相當代價ヲ償ハシムルコトアルヘシ

第七條 觀覽者ニ必要ナル事項ハ隨時揭示場ニ之ヲ公示ス

附 則

本規程ハ昭和八年五月一日ヨリ施行ス

○寄 宿 舍 規 程

第一條 本學寄宿舎ハ豫科生徒ヲ寄宿セシムルモノトス

第二條 入舎セントスル者ハ所定ノ願書ニ學醫ノ健康診斷書ヲ添ヘテ學生主事ニ差出スヘシ

第三條 所定ノ手續ヲ經タル後學生主事ニ面會シ學生主事試問ノ上其ノ詮衡ニ合格シタル者ニ入舎ヲ許可ス

第四條 寄宿舎各室ノ人員配置ハ學生主事之ヲ定ム

第五條 轉室ノ場合ハ其ノ旨學生主事ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第六條 舎生ハ限ニ退舎スルコトヲ得ス但シ病氣又ハ己ムヲ得サル事由ニ依リ退舎セントスル場合ハ診斷書又ハ事由ヲ具シテ願出テ學生主事ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 寄宿料ハ一人一箇月金貳圓五拾錢トシ毎月其ノ月末日マテニ會計課ニ納付スルモノトス但シ十五日以降ニ入舎シタル場合及十五日以前ニ退舎シタル場合ハ其ノ月ノ寄宿料ハ半額トシ閉舎一箇月ニ亘ルトキハ之ヲ徵收セ

ス十五日以上ノ場合ハ半減トス

第八條 寄宿料納付ノ義務ヲ怠リタル者又ハ舎則ニ違背シタル者ニハ退舎ヲ命ス

第九條 中途退舎スル者又ハ中途退舎ヲ命セラレタル者ハ即時寄宿料ヲ納付スヘシ

第十條 既納ノ寄宿料ハ如何ナル理由アルモ之ヲ還付セス

第十一條 寄宿料ハ外泊又ハ旅行等ノ爲在舎セサルコトアルモ之ヲ徵收ス

第十二條 舎内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタル者ニハ情狀ニ依リ之ヲ辨償セシメ毀損又ハ亡失シタル者判明セサルト

○寄 宿 舎 規 程

○概況 農學部附屬農場

キハ舍生一同ナシテ辨償セシム
 第十三條 舍生ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ種類症狀等ニ依リ期限ヲ附シ退舍又ハ外泊セシムルコトアルヘシ
 前項ノ外泊十五日以上ニ及フトキハ寄宿料ヲ減額又ハ免除スルコトヲ得
 第十四條 本規程ニ關シ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム
 附 則
 本舍則ハ大正十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○概況

農學部附屬農場

農學部附屬農場ハ八箇所ニシテ其名稱、地積並土地使用區分左表ノ如シ

名稱	位 置	地 積	使 用					
			耕作地 (苗圃)	耕作地 貸付地	宅 地	公共用 貸付地	防風林及 未開地	堤 塘
第一農場	石狩國札幌市	七三・〇三・二七六	四八・四三・三四	—	九四三・六五八	一・二六七四	五・三三四〇	八・六四二八
第二農場	同	七九・九七・九四八	六〇・五〇・九〇	—	一三五・八七四八	—	—	一七〇四〇九
第三農場	石狩國札幌郡札幌 村字レツレツ	三・五二・三三〇	四・四四・三三	三・〇七・六八〇	—	—	—	—
第四農場	石狩國札幌郡豐平 町大字平岸村	六四三・三五五・六八四	—	四四〇・四五五・五	二五・三三八四	八・三三〇三	一七四〇・九四四	—
第五農場	石狩國夕張郡角田 村字ウエンベツ	五〇二・四七九・二〇〇	—	四二・六三二	—	—	六九・四一六八	—
計		六〇八・四四三・七八〇	—	六四四・九三〇	二二七・四三八〇	二〇・七二四八	二・八八四二	三八・二六八四

區 分	地 積	使 用					
		耕作地 (苗圃)	耕作地 貸付地	宅 地	公共用 貸付地	防風林及 未開地	堤 塘
第六農場	同 字アノロ	—	—	—	—	—	—
第八農場	石狩國空知郡富良 野町及山部村	—	—	—	—	—	—
余 市	後志國余市郡余市 町大字山田	—	—	—	—	—	—
果 樹 園		—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—

右農場中第一第二ノ兩農場及余市果樹園ハ直營トシ第一農場ハ學生生徒ノ實習各種試驗研究ヲ行フ所ニシテ實驗園
 圖三七陌九九六六ヲ充テ次ノ各部門ニ分テ各種作物ノ栽培家畜ノ飼養ヲナス
 試驗園内譯

區 分	地 積	使 用					
		試驗園	實習畑	試驗水田	飼養作物栽培	果 樹 園	蔬 菜 園
イ、耕 作 部		—	—	—	—	—	—
ロ、實 習 部		—	—	—	—	—	—
ハ、作 物 部		—	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	—

○概況 農學部附屬農場

本部ハ飼料作物畑ヲ管理シテ家畜飼料ノ生産ヲ主トスルモノニシテ又學生生徒ヲシテ各種ノ農業機械、器具ヲ使用
 セシメ實地ノ練習ヲ爲サシムルモノナリ
 本部ハ實習畑ヲ管理シ農學科、農業經濟學科一年目學生及農學實科一、二學年生徒ノ爲メ農業實地概念ヲ與フルモ
 ノニシテ馬耕、鋤起、整地、施肥、播種、除草、中耕、培土、收穫、脱實、調製等ノ實習ヲ指導スルモノナリ

○概況 農學部附屬農場

二二四

本部ハ試験圃及試験水田ヲ管理シ作物ニ關スル各種ノ試験研究ヲナスト共ニ標本作物ヲ栽培シテ教授上必要ナル資料ヲ得ルト學生生徒ヲシテ各種作物及品種ノ性狀ヲ實物ニ就キ研究修得セシムルニアリ

二、園藝部

本部ハ果樹園及蔬菜園ヲ管理シ果樹及蔬菜園ニ關スル研究試験並學生生徒ノ實習ヲ行フ處ナリ

ホ、畜産部

本部ニ於テハ牛、馬、羊、豚、家禽ヲ飼養管理シ畜産物ノ製造ヲ行ヒ以テ學生生徒ヲシテ各專門ニ關スル實習ヲ爲サシム

ハ、養蠶部

本部ハ養蠶ニ關スル試験研究及學生生徒ノ實習ヲ行フ處ニシテ併セテ桑園ノ管理ヲ爲ス

ト、農産製造部

本部ニ於テハ學生生徒ノ農産製造ニ關スル實習ト研究ヲ行フ處ナリ

チ、事務部

第二農場ハ酪農經營ノ研究ヲナスト共ニ畜牛ノ改善及飼育ニ關スル經濟的試験ヲ行フ所ナリ、余市果樹園ハ果樹園經營ノ研究及果樹ニ關スル各種ノ試験ヲ行フ所ナリ、第三農場以下第八農場ニ至ル各農場ハ小作農場ニシテ専ラ本學土地貸下規程ニ據リ土地ヲ貸付シ小作制度ノ研究及本道ニ於ケル農業經營ニ關シ各種ノ試験研究ニ資スルヲ目的トシ同時ニ小作料ヲ徵收シテ本學歳入ノ財源トナス昭和九年三月一日現在契約筆數一千七十四筆、小作戸數八百四十一戸ナリ

尙明治四十二年以降農場事業報告概要ヲ又昭和四年以降農場特別報告ヲ出版セリ

第一號 作物ノ連作及輪作ニ關スル試験

農學博士 南 鷹次郎

第二號

乳牛ノ妊娠期間發情ノ再來期間並受胎ニ要スル交配回數ノ生物測定學的研究

北海道ニ於ケルホルスタイン・フリージアン品種ノ分娩

季並母體受胎ニヨル牛乳生産ニ及ボス影響ニ就テ

農學博士 井口賢三
農學士 三田村健太郎

第三號

苹果ニ於ケル果實收量及生産費ニ關スル研究

農學博士 星野勇三
農學士 島善鄰

第四號

禾穀類ノ開花觀察

農學博士 南 鷹次郎
農學士 御園生義一

第五號

本學第二農場ニ於ケル乳牛ノ泌乳能力ト季節關係

本學農場ニ於ケル乳牛ノ分娩季節ニ關スル一考察

本學第二農場ニ於ケルホルスタイン種乳牛ノ發情並ニ受胎ニ及ボス季節ノ影響ニ就テ

農學博士 井口賢三
農學士 三田村健太郎
農學士 神谷俊雄

農學部附屬演習林

農學部附屬演習林ハ教官及學生ノ研究並學生、生徒ノ演習ノ用ニ供スルモノニシテ北海道内ニハ皆小牧、雨龍、天鹽第一及天鹽第二ノ四箇所道外ニハ樺太、朝鮮、臺灣及和歌山縣ニ各一箇所計八箇所アリ尙附屬トシテ本學構内ニ實驗苗圃、木材強弱試驗場及試驗材料貯藏兼標本室等アリ

○概況 農學部附屬演習林

二二五

一、各演習林概況

種別	位置	沿革	面積
演習小牧	膽振國勇拂郡 苫小牧町	明治十一年四月二十七日 昭和三十七年七月四日	二二七・八二〇町
雨龍演習林	石狩國雨龍郡 幌加内村	昭和三十七年九月 昭和三十八年三月	二四、二六三・四二三町 六八九
天鹽第一演習林	天鹽國中川郡 常盤村及中川村	明治三十三年五月 昭和三十七年三月	一九、六五三・五八一九町 五三一
天鹽第二演習林	天鹽國天鹽郡 幌延村	大正六年八月 昭和三十七年三月	二二、七四三・九二八町 九三
樺太演習林	泊居支廳管内 久春内郡三濱村	大正二年六月 昭和三十七年九月	一九九〇・七四三・四三六町
朝鮮演習林	全羅北道茂朱郡	大正十二年九月 昭和九年三月	借用地町 六、九三三・〇〇〇町 林外購入地 一、六六七
臺中州能高演習林	臺中州能高郡	大正五年八月 昭和四年六月	六、九三三・〇〇〇町 林外購入地 一、三〇四
和歌山演習林	和歌山縣東牟婁郡七川村	大正十四年 昭和三十七年	四三・三九八町

輪伐期及同年又ハ	作業種	施業案	主要樹種	地況及林況	森林植物帶上ノ位置
皆伐 整理期 四〇年	主トシテ皆伐 喬林作業	四事業區二分 二施業中	みづのりはた つきのきりや あさきりなど 生群少ノえ 混生又ハ散	火山拋出物 地帯純林 樹種ナシ	温帯ノ北部
皆伐 整理期 四〇年	主トシテ皆伐 喬林作業	四事業區二分 二施業中	おだつえぞと ひにもなぞま よるかつあ にみばやち れ、ちみかえ	概ネ山岳地帯 潤過混生林	温帯ト寒帯ト ノ境ニアリ
皆伐 整理期 八〇年	撰伐喬林作業	五事業區二分 二施業中	はのきりなぞと るきはらま にだやつあ れかちはつ つしだりみ らなもぎつえ	山岳地帯潤過 混生林	寒帯ノ南部
皆伐 整理期 八〇年	撰伐喬林作業	三事業區二分 一施行中	はきだつえぞと りほらま のなやつあ きのちみかえ	山岳地帯針過 混生林	寒帯ノ南部
皆伐 整理期 八〇年	撰伐喬林作業	二事業區二分 一施行中	のかぞと きんまど ばつま や、つ なはし ぎんらえ	山岳地帯 針葉樹林	寒帯
皆伐 整理期 八〇年	撰伐喬林作業	三事業區二分 一施行中	こほまくあもあ ははぬべみか けとんぎま やれ、きりお きりおや	山岳地帯潤過 混生林	温帯
皆伐 整理期 八〇年	撰伐喬林作業	一事業區 一施行中	けたしわにひ やぶひんひの きすかつた すいべ	山岳地帯 常緑樹林	亞熱帯 スルモ垂直 帯チ有ス
皆伐 整理期 三〇年	主トシテ皆伐 喬林作業	一事業區 一施行中	めしかまも てしつみ か、あしつあ はかひが	山岳地帯 常緑樹林	暖帯ノ北部

○概況 農學部附屬演習林

整理期	伐擇	施業案實行 斫伐方法	苗圃面積	人工造林面積 (昭和八年度迄) (ha)	氣象觀測	林内殖民 (町)	管理 所	教官宿泊所 及學生宿舍	現在職員
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	伐	官行ニヨリ用 材薪材及木 炭ヲ生産ス	二〇四九六	四九一九三	六回觀測所ニ 準シ行フ	一	皆小牧驛チ ル北約一里 林内約二里 派出所ニ置ク	設備アリ	囑託手 一
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	官行ニ依リ針 角丸太材ヲ 生産ス	四〇五〇九	一七六〇二	二個所ニテ簡 易觀測ヲ行フ	六〇四六六 一四八	添牛内驛チ ル東方約半 林内第八號 地第四號植 地三股植民 所ナリ各守	同上	囑託手 四
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	官行ニ依リ針 角丸太材ヲ 生産ス	七〇五〇	三六九〇二	六回觀測所ニ 準シ行フ	三九八八〇 八八	上音威子府 チ約二里 一八號植民 派出所ニ置 平出所チ守	同上	囑託手 五
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	官行ニ依リ針 角丸太材ヲ 生産ス	八七三〇〇	三三〇八一	簡易觀測ヲ行 フ	三五九六九 一四	間寒別驛チ ル西北方約 二里派出所 八線澤ニ置 チ守	同上	助手 二
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	目下年期契約 分ニ依リ立木 處	七四五四	一	六回觀測所ニ 準シ行フ	一	西海珍内川 口附屬病圃 クニ派出所 置	同上	助手 一
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	主トシテ官 行斫伐	六七五三三	二七二五三	六回觀測所 ニ準シ行フ	一	京釜線永同 驛ヨリ約七 里茂派邑内 里深谷所	設備アリ	助手 四
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	施行案ニ依 ル斫伐チ停 止中	一九九六五	三三三〇六	二個所ニ簡 易觀測ヲ行フ	一	外車埜驛ヨ リ約八里 埔里街ニ置 出所チ置ク	同上	助手 一
輪伐期 一〇一〇年 一〇一〇年	同	主トシテ官 行斫伐	一六八五二	七三六二	簡易觀測ヲ 行フ	一	古座川ノ上 流七川村 平井ニ置ク 所チ置ク	設備アリ	助手 一

二、實驗苗圃

本學構内ニ在リ總面積四・一八七七「ヘクタール」ニシテ内施業面積一・七七五三「ヘクタール」ナリ内外諸國ノ有用樹種ニツキ之カ育成ノ方法ヲ學生生徒ニ實習セシメ或ハ教官ノ研究及學生ノ卒業論文材料等ノ資料ニ供シ其ノ用濟苗ハ道内演習林ニ造林シツ、アリ

三、木材強弱試驗場

本試驗場ハ本學構内ニ在リ大正四年度ノ設置ニシテ演習林ニ産スル木材及内外諸種ノ木材ニ就キ其ノ工藝的性質ニ關スル試驗研究ヲ行ヒ兼テ學生生徒ノ實驗ニ供シツ、アリ

四、試驗材料貯藏兼標本陳列室

本建物ハ林學講堂ニ隣接シ演習林及内外諸國ヨリ蒐集セル各種試驗材料ヲ貯藏スルト同時ニ各種ノ標本ヲ陳列スル所ニシテ大正十一年建設セシモノナリ

五、演習林研究報告

大正四年以來演習林研究報告ヲ出版シテ演習林ニ於ケル研究事項ヲ順次發表セリ

第一卷第一號 皆小牧地方蝦夷松收額表

第一卷第二號 (一) 木材形質商ノ曲線ニ就キテ

(二) 薪炭材ノ層積ト實積トノ關係ニ就キテ

林學博士	林學博士	林學博士	林學博士	林學博士	林學博士
小出房吉	中島廣吉	佐藤義夫	小出房吉	小出房吉	佐藤義夫

○概況 農學部附屬演習林

第一卷第三號	形數速算ノ新法	林學博士	小出房吉
第一卷第四號	苫小牧演習林野生植物調査報告	理學士	中島廣吉
第一卷第五號	こがれむしノ被害及驅除ニ關スル研究報告(第一回)	林學博士	吉見辰三
第一卷第六號	(一) 柚角材積ノ新速算法	林學得業士	新島善直
	(二) 樹幹橫斷面積算出法ニ就キテ(第一回)	林學博士	富本菊夫
第一卷第七號	(一) 樹幹橫斷面積算出法ニ就キテ(第二回)	林學博士	小出房吉
	(二) 樹幹析解ノ際各齡階所屬樹高算定ノ新法(第一回)	林學博士	石出房吉
第一卷第八號	(一) 野幌地方椴松木材收額表	林學博士	小出房吉
	(二) 北海道産樺木科樹種ノ材ノ解剖學的研究	理學士	中島廣吉
第一卷第九號	(一) 同齡林中ノ各直徑階ニ對スル本數配分關係ノ統計的研究(第一回)	林學士	山藤祐吉

第二卷第一號	(一) 樹幹析解ノ際各齡階所屬樹高算定ノ新法(第二回)	林學士	中島廣吉
	(二) 凍結針葉樹材ノ抗折強ニ就テ	林學士	野崎清夫
第二卷第二號	こがれむしニ關スル研究報告(第二回)	林學博士	佐藤義清
第二卷第三號	林木ノ生長ト陽光ノ強度トニ關スル數理的研究(第一回)	林學士	佐藤義清
第二卷第四號	林木ノ生長ト陽光ノ強度トニ關スル數理的研究(第二回)	林學士	野崎清夫
第三卷第一號	北海道産木材ノ彈性及強度ニ關スル研究	林學博士	小出房吉
第三卷第二號	林木ノ生長ト陽光ノ強度トニ關スル數理的研究(改訂)	林學博士	小出房吉
號外	米材の栗	林學博士	小出房吉
第四卷	(一) こがれむしニ關スル研究(第三回)	林學博士	小出房吉
	(二) 阿寒植物景觀(第一報)	農學士	館脇榮次

第五卷

- (三) 菅小牧演習林ニ於ケル氣象觀測成績
- (一) 天鹽演習林植物目錄(第一報)
- (二) 日高様似アボイヌブリ植物
- (三) 同齡林中ノ各直徑階ニ對スル本數配分關係ノ統計的研究(第二回)

第六卷

第七卷

- (四) 野鼠ノ森林保護學的研究
- 蝦夷松天然更新上ノ基礎要件ト共通用
- (一) 北海道産潤葉樹材四種(檜、樺、楡、松)ノ強度
- (二) 人工植栽落葉松材ノ強度
- (三) 雨龍演習林植物調査(第一報)
- (四) 和歌山演習林植物目錄(第一報)
- (五) 天鹽演習林植物目錄(第二報)
- (六) あかえぞまつ及ヒクろえぞまつノ苗樹ニ寄生スル線蟲ニ就テ
- (七) 雨龍演習林内勞働及殖民ニ關スル調査(第一報)
- (八) 火田ト火田民ニ就テ主トシテ朝鮮演習林ニ於ケル火田
- (九) 天鹽演習林八線澤産白金砂ノ研究(第一報)

林學博士	中島廣吉
農學士	館脇操
農學士	館脇操
林學士	石尾和作
林學士	木下榮次郎
林學博士	佐藤義夫
林學博士	大澤正之
林學博士	大澤正之
農學士	館脇操
農學士	館脇操
農學士	館脇操
農學士	山口捨雄
農學士	山邊信夫
農學得業士	南原義郎
林學得業士	渡部善一
理學士	柴田義男
寺崎義男	

第八卷

第九卷第一號

- あかえぞまつ林ノ群落生態的調査
- (一) えぞまつ、あかえぞまつ、とどまつノ毬果及種子ニ關スル研究
- (二) 天鹽第二演習林ニ於ケル山火跡地ノ群落生態學的調査

第九卷第二號

- 森林美學ノ基本問題ノ歴史ト批判

農學部附屬植物園及博物館

農學博士	館脇操
林學士	森本傳男
林學士	田添元
林學士	齋藤雄一
農學博士	館脇操
林學士	岩間龜三郎
林學博士	今田敬一

植物園ハ札幌市北五條ヨリ北二條ニ跨リ西八丁目ヨリ十一丁目ニ亙リ面積三萬六千五百餘坪ヲ有ス本園ハ本道所産ノ植物及内外ノ種類ヲ汎ク蒐集栽培シ其ノ分類所屬ヲ明カニシ植物學實地教授用竝研究ノ材料ニ供スルノミナラス本道ノ風土ニ適スルヤ否ヤヲ試験シ以テ本道ノ園藝及造林上ニ裨益セントスルニ在リ

園内ヲ自然分科園、樹木園、灌木園、試驗園及温室附屬園ノ五區ニ分割シ培養ノ植物種類約六千種ヲ有ス温室ハ專ラ暖國産ノ植物ヲ培養シ冬期間植物學研究ノ材料ニ供シ又植物生理ノ實驗場トス

本園ハ札幌市内最モ幽邃閑雅ノ地ニ在リ衆庶競ウテ縱覽シ怡モ一ノ教育的公園タルノ觀アリ今植物園及博物館縱覽規程ニ依リ昭和九年六月一日ヨリ昭和十年五月三十一日ニ至ル開園日數ヲ擧グレハ二百十日、入園人員ハ十四萬二千六百四十人ニシテ又同附屬温室ノ公開日數三百六十二日、觀覽者數三萬一千八百五十三人ナリ

博物館ハ植物園内ニ在リ本館ハ元開拓使ニ於テ明治四年中道内ニ産スル天産及人工ノ物品ヲ札幌市北七條四丁目借樂園内ニ蒐集シ開場ノ日ヲ定メテ衆庶ノ縱覽ニ供シタルニ權輿シ同十四年中東京芝山内開拓使假博物館ノ陳列物

ノ一部ヲ收容シ場内狹隘ヲ告グルニ至レルヲ以テ現在ノ場所ニ移轉新築シ同十六年中竣工セル木造二階建ナリ是レヨリ先キ十五年七月開拓使ヨリ農商務省博物館ノ所管ニ移サレテ札幌博物館ト稱シ物品陳列ノ目的ヲ更ヘ專ラ拓殖上ニ裨益スル勸業方面ノ物品ト其ノ製造ニ用ヒラル、器具類トナ陳列スルコト、セリ然ルニ十六年七月又北海道事業管理ニ移リ十七年七月始メテ札幌農學校ノ所屬ニ歸スルニ及ヒ同校博物館ニ藏セル標本ヲ合併シテ陳列ヲ再ヒ純博物館的ニ復シ以テ今日ニ至レリ而シテ本館ノ陳列品ハ學生生徒研究上ノ用ニ供スルヲ以テ目的トスト雖又本道産ノ概況ヲ窺知セシメンカ爲ニ日時ヲ限リ衆庶ノ縱覽ヲ許セリ昭和十年五月末現在ニ於ケル貯藏標本數約二萬點ニ垂ントシ之等蒐集ノ増加ニ伴ヒ現在ノ倉庫及本館ハ甚ダシク狹隘ヲ告ケ然モ木造建築ナルヲ以テ火防上憂慮スヘキ點點カラス之方改築ハ寔ニ急ヲ要スルモノアル状態ニアリ尙ホ昭和九年六月一日ヨリ本年五月末ニ至ル開館日數ハ二百十日ニシテ參觀人ハ十四萬二千六百四十人ナリ

醫學部附屬醫院

本學醫學部附屬醫院ハ大正十年十一月一日ヨリ開院シ醫學上ノ研究及授業ノ目的ヲ以テ外來及入院ノ患者ヲ診療スル所ニシテ外來患者ノ診察ハ日曜日及祭日、祝日ヲ除キ毎日之ヲ施行シ又入院患者ハ施療ヲ主トシ其ノ病症學術研究上須要ト認ムル者ニ限リ入院ヲ許シ私費患者ニ在リテモ亦其ノ病症ニ依リテ入院セシム

昭和八年二月一日ヨリ急患者ノ爲時間外急患者診療所ヲ開設シ外來患者受付時間外ニ於テ診療ヲ行フ

本院ノ看護婦タラント欲スル者ヲ養成スル爲看護法講習科ヲ設ケ患者ヲ看護スルノ方法ヲ授ケ其ノ講習期間ハ二箇年ナリ又別ニ產婆養成所ヲ設ケ一般產婆ニ必要ナル學術ヲ授ケ且實地練習ヲ爲サシム本所ニハ本科並補習科ヲ置キ其ノ修業年限ヲ本科二箇年補習科一箇年トス

大正十三年四月一日ヨリ又病的材料検査科ヲ置キ醫師其他公衆ノ依頼ニ應シ喀痰、糞尿、胃液、血液、血清、腰穿

刺液、切除材料及剖見材料等ニ就キテ各種醫學的検査ヲ行フ

理學部附屬臨海實驗所

本學理學部附屬臨海實驗所ハ昭和六年九月二十七日厚岸灣外寒流地帯ニ設置セラレ北方ニ於ケル海洋生物ノ綜合的並ニ徹底的研究ヲ期スル爲同地方ニ於ケル海流床ノ研究並ニ魚介類ノ生態特ニ魚介類ノ移行ノ現象ヲ明ニシ又寒流中ニ於ケル海産植物ノ分布、繁殖、發育ノ研究ニ依リ有用海藻類ノ人工的育成ヲ計リ更ニ又厚岸湖ノ鯨ノ生棲現象牡蠣ノ繁殖状態ヲ研究シ之ニ依テ其ノ應用科學タル水産學上ニ有用ナル資料ヲ提供シ引イテハ本道水産業ノ發達ト富源ノ開發ニ資セントスルモノナリ依テ汎ク一般學術研究者ニ之ヲ公開シ研究ノ資料トスルモノトス

理學部附屬海藻研究所

本研究所以昭和八年四月室蘭市舟見町ニ設置セラレ同五月二十七日開所式ヲ舉ケ研究ヲ開始セリ元來室蘭ノ地ハ寒海並ニ暖海性ノ海藻ヲ併セ産シ且ツ研究所附近ニハ岩礁多クシテ著生セル海産植物豐富ナリ本研究所以於テハ主トシテ海産藻類ノ分類學的、生態學的、發生學的、生理學的研究等ヲ行フモノニシテ研究室ト簡單ナル宿舍トヲ併セ有シ研究者ノ用ニ供ス

附屬圖書館

本館ハ明治三十五年工ヲ起シ同年竣工ス館内ハ職員閱覽室、學生生徒閱覽室、圖書貸渡室、事務室等ノ數室ニ分ツ學生生徒閱覽室ハ百餘人ヲ容ル、ヲ得圖書目錄檢索席、參考圖書閱覽席ヲ備フ更ニ大正十四年九月新聞雜誌閱覽室及事務室ノ一棟ヲ増築シ昭和四年十一月新タニ製本室鐵筋コンクリート建一棟ヲ増築ス書庫ハ在來二層ノ棟瓦造一

○概況 附屬圖書館

棟ノ外大正十一年十二月更ニ鐵筋コンクリート三階一棟ヲ増築シ新舊兩棟ヲ合シ九萬冊ノ圖書ヲ容ル、ニ足ル
 現今所藏ノ圖書ハ昭和十年五月末日ノ調査ニ依リハ和漢書十一萬四千八百八十四冊・洋書十六萬六千九百九十三冊、圖
 類五千二百六枚アリ圖書分類ハ十進法ニ依リ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘタリ
 又記念ノ爲他ヨリ寄贈アリタル文庫ヲ掲クレハ左ノ如シ但シ其ノ員數ハ前掲中ニ包含セリ

記念文庫名	寄贈者	種類	員數	年	月
石井小太郎	南鷹次郎 其ノ他	洋書	二十冊	明治	三十五年
橋口文藏	札幌同窓會	洋書	二十二冊	同	三十七年
坂井菊松	松村松年 其ノ他	洋書	八冊	同	三十八年九月
平山八十五郎	山田玄太郎 其ノ他	洋書	四冊	同	三十八年九月
荊宿幸次郎	長嶺林三郎 其ノ他	洋書	六冊	同	三十九年三月
二宮尊徳	かめら會	和書	六十冊	同	三十九年六月
大竹溫厚	大竹本民	洋和書	四百九十六冊	同	四十二年十一月
中村令	中村和義	和書	百三十三冊	同	四十三年十二月
藤井莊三郎	藤井定二郎	洋書	十五冊	同	四十四年五月
阿部恭夫	阿部宇之八	洋和書	三一冊	大正	元年九月

桑山茂	桑山貞常	洋書	十三冊	同	元年十月
大瀧圭之助	大瀧丈夫	洋書	百十六冊	同	二年二月
鈴木重禮	鈴木重一	洋和圖書	六百二十七冊	同	二年五月
村上又二郎	二宮徳 其ノ他	洋書	十二冊	同	二年七月
三浦慶太郎	三浦慶雄 其ノ他	洋和書	五十二冊	同	三年五月
瀧臣粥	半澤洵 其ノ他	洋書	十一冊	同	四年十月
畑治作	東海林力藏 其ノ他	洋書	二十冊	同	四年十月
宮部金吾	宮部金吾	洋和書	一十七冊	同	四年十月
南鷹次郎	南鷹次郎	洋書	三百九十一冊	同	四年十月
小川運平	小川丈夫	洋和書	十一冊	同	五年十一月
小川運平	小川丈夫	洋書	二十冊	同	十五年二月
小川運平	作田玄太郎 其ノ他	洋書	四冊	同	六年九月
村田庄次郎	八田三郎 其ノ他	洋書	三冊	同	七年二月
新渡戸稻造	新渡戸稻造	洋和漢書	四百九十九冊	同	七年十二月
新渡戸稻造	新渡戸稻造	洋和書	二百六十五冊	同	十四年六月

○概況 附屬圖書館

○概況 附屬圖書館

辻重忠	湯地定彦 其ノ他	洋書	四百四十二冊	同	八年十一月
松井精一	田中イク	洋書	七冊	同	八年十一月
吉井豐造	大島金太郎 其ノ他	洋和漢書	三百九十九冊 百八十六冊	同	九年十二月
關谷喜一郎	關谷善吉	洋書	十二冊	同	十二年十二月
三木準	三木龍哉	洋和漢書	十二冊 四十一冊	同	十四年十二月
菅原治作	山村ヤス	洋和漢書	百二十五冊	同	十五年三月
東海林力藏	故東海林博士記念資 金募集發起人總代 星野勇三	洋和漢書	九十六冊 九十七冊	同	十五年十一月
村井義一	シルバ會代表者 中島廣吉	洋和漢書	二十六冊	昭和二年三月	
池田福海	池田清子	洋和漢書	十一冊	同	三年五月
高木泰藏	高木甚藏	洋和漢書	二十八冊	同	三年六月
佐藤クマ	佐藤クマ	和漢書	百五十二冊 三十二冊	同	八年七月

又獎學資金寄附者ノ指定ニヨリ設ケタル文庫左ノ如シ (昭和七年五月現在)

文庫名 種類 員數

佐藤文庫	和漢書	四百四十二冊
橋本文庫	洋和漢書	五十一冊
高岡文庫	洋和漢書	二十三冊
廣井文庫	洋和漢書	百七十九冊
寄宿舎	洋和漢書	百二十四冊

寄宿舎ハ元本學ノ中央ニアリタルモノヲ昭和六年現在ノ地ニ移轉改築シ同年十二月ヨリ生徒ヲ收容セルモノナリ舊舎屋ハ明治三十六年木造二階建二棟延五百五十二坪及附屬平家二百四十一坪五合石造三十坪ヲ建築シ三十六室ヲ設ケ内三十一室ニ毎室四人ヲ收容スルコト、シ他ノ五室ハ自炊制度ノ委員室、集會室及娛樂室等ニ充テ三十八年四月ヨリ舍生ヲ收容セルヲ初メトシ爾後學部増設ノ準備トシテ附屬大學豫科生ノ定員亦増加スルニ至リ大正八年九月木造二階建一棟延二百二十坪十四室ヲ増築シ更ニ二十一年四月ニ至リ木造二階建一棟延三百七十二坪二十四室及食堂木造平家三十坪炊事場石造平屋十六坪等ヲ増築セルモノナリ昭和六年ノ力移轉改築ヲナスニ當リテハ過去多年ノ經驗ニ徴シ利便及結構等ニ就キ大ニ考慮改善セルモ其坪數等ニ至リテハ舊舎屋ト殆ント異ル所ナシ

今其ノ設備ノ大要ヲ擧グレハ主ナル舎屋ハ木造二階建四棟ニシテ延坪合計千四十八坪アリ之ヲ四寮六十六室二分チ内六十室ヲ舍生室ニ充テ寢臺、卓子及雜品棚二個ヲ備付ケタル外洗面器ヲ取付ケ湯水ヲ送ル設備ヲナシ且鏡ヲ置キテ整容ニ備ヘ他ノ六室ハ之ヲ圖書室、理髮室、娛樂室、卓球室等ニ使用シ居レリ

○概況 寄宿舎

○概況 寄宿舎

右ノ外玄關及事務所、宿直室、巡視室、小使室、湯呑室等ヨリナル
 木造平家一棟 約四十七坪
 講堂其他木造二階一棟 延九十六坪
 食堂及配膳室木造平家一棟 百〇八坪
 炊事場石造平家一棟 四十坪
 浴室、洗濯室等木造一棟 二十六坪
 汽罐室木造一棟 四十二坪
 炊夫室及物置 約二十七坪
 便所、渡廊下 約百二十六坪

等アリテ總計延坪千五百六十坪ニ及ヘリ
 從來本寄宿舎ハ大學寄宿舎トシテ學生生徒ヲ併セ收容シ來リタルモ豫科生ノ増員ニ伴ヒ入舎希望ノ者漸ク増加シ來リ殊ニ學年初ニ於テハ豫科新入生ノ希望サヘ之ヲ滿ス能ハサル狀況ナルヲ以テ大正十三年度ヨリ豫科生ノミヲ收容スルコト、シ建物ヲ豫科ニ移管スルニ至レリ
 大正十五年四月勉學上弊害アルヲ認メ一室ノ收容人員四人ヲ二人ニ改メタルモ新入生等ニシテ適當ナル宿所ヲ得難ク入舎ヲ希望スル者多キヲ以テ未タ右改正定員ヲ勵行スルニ至ラス
 本年五月三十一日現在在舎生數左ノ如シ

第三學年 第二學年 第一學年 計
 五七 七三 一〇四 二三四

土地建物及船舶

一、土地

所	用	所	在	地	積	價	格
本部	數地	札幌市北八條西五丁目			三四、三〇六・九一六	三三九、六三八・四五八	
農學部	數地	同	北八條西六丁目		四四、三五一・七〇五	三五四、八一三・六四〇	
醫學部	數地	同	北八條西六丁目		五一、一三五・三六〇	五一、一三五・三六〇	
工學部	數地	同	北八條西五丁目		二〇、〇七五・四三〇	一〇〇、三七七・一五〇	
理學部	數地	同	北八條西六丁目		六、五六八・三九五	五二、五四七・一六〇	
寄宿舎	數地	同	北八條西六丁目		五、二七〇・〇〇〇	一五、八一〇・〇〇〇	
職員官舎	數地	同	北八條西五、六丁目		四、三九六・七八〇	四六、六〇五・八六八	
植	園	同	北二、三、四條西八、九 十丁目		三六、五〇六・七四二	七三〇、一三四・八四〇	
忍路臨海實驗所	數地	後志國忍路郡鹽谷村字忍路			二、七五三・〇〇〇	三一、九四・七四〇	
第一農場	數地	札幌市北八條西六丁目			一八九、四〇六・五二三	三七八、八一三・〇二六	
第二農場	數地	同	北八四五丁目		二二七、〇四四・六五四	二八二、二五八・〇五〇	

○概況 土地建物及船舶

○概況 土地建物及船舶

區別	種別	建築物	坪數	價	
附屬地	朝鮮演習林敷地	全羅北道茂朱郡	四九、五四〇、五七二、〇〇〇	二、三六八、五八	
	臺灣演習林敷地	臺中州能高郡	二〇、九八一、八八四、八六〇	三、七八四、八六〇	
	和歌山演習林敷地	東牟婁郡七川村	一、二九四、一八八、〇〇〇	二、六九〇、四、三〇〇	
	附屬地	札幌市自北一條至北十五條 自西一丁目至十三丁目	六二、六六四、〇〇七	五七六、五〇八、八六四	
	計		三五七、一六四、三三七、九六〇	七、八九三、九〇三、九三四	
	本部	第三農場敷地	札幌郡札幌村字レツレツ	九五三、二四二、〇〇〇	九五、三四二、〇〇〇
		第四農場敷地	札幌郡豐平町大字平岸村字簾舞	一、九四二、八四二、〇〇〇	二七一、九九七、八八〇
		第五農場敷地	夕張郡角田村字ウエンベツ	一、五二〇、〇〇〇、〇〇〇	二二一、八〇〇、〇〇〇
		第六農場敷地	夕張郡角田村字アノロ	二、一四三、〇四三、二五〇	五三五、七三三、三八〇
		第八農場敷地	空知郡富良野町及山部村	一、一三七三、二三七、八六九	一、三六四、七八八、五四四
		余市果樹園敷地	後志國余市郡余市町大字山田村	一一、〇二一、五五五	九、〇一六、一六六
		理學部附屬臨海實驗所敷地	釧路國厚岸郡厚岸	六四、二七九、〇〇〇	五六七、九〇〇
		理學部附屬臨海實驗所敷地	同	三〇〇、三〇〇	六〇〇、六〇〇
理學部附屬臨海實驗所敷地		釧路國厚岸郡厚岸	三九二、〇〇〇	三九二、〇〇〇	
官舎敷地		室蘭市舟見町九八番地	九三〇、〇〇〇	四、二六五、〇〇〇	
海藻研究所敷地		雨龍郡幌加内村	七二、七九〇、二五二、九八九	七二七、九〇二、五四〇	
雨龍演習林敷地		勇拂郡苦小牧字オテーネ	六、八二二、五六〇、〇〇〇	五四、五八〇、四八〇	
天鹽第一演習林敷地		中川郡常盤村、中川村	五八、九六〇、七五九、五三一	四二二、七三三、三一六	
天鹽第二演習林敷地	天鹽郡幌延村	六八、二三七、七五八、九三〇	四七八、一六一、九一三		
立苗圃敷地	久春内郡三濱村	五九、七二二、三四六、〇〇〇	三〇〇、八四八、五〇〇		

備考 朝鮮演習林敷地ハ朝鮮總督府ヨリ國有林 四九、五三五、四八五坪借入
臺灣演習林敷地ハ臺灣總督府ヨリ國有林 二〇、九七八、一〇〇坪借入
理學部附屬臨海實驗所敷地ハ北海道廳地方費有林ヨリ 五八、五九〇坪借入

二、建物

區別	種別	建築物	坪數	價
本部	事務所建		二、九一八、一四二	三八七、六五九、八一
	倉庫建		四六〇、五〇〇	四、五八〇、四五〇
	工場建		七九八、三三三	一一、三四八、三五六
	雜屋建		一、二〇四、〇〇七	一一、五二一、〇三八
	事務所建		六六五、四六三	九七三、九七九、一三九

○概況 土地建物及船舶

○概況 土地建物及船舶

農學部			醫學部			工學部			理學部			官舎				
倉庫	工場	雜屋	事務所	工場	倉庫	事務所	倉庫	事務所	工場	事務所	倉庫	事務所	雜屋	住宅	雜屋	
二八七・三五〇	二四〇・七〇〇	一八〇・二五七九	一三・二五六九八一	三二六・六八三	三四四・三三三	二・五七四・二〇一	四・四〇一・一〇四	一三五・〇〇〇	五〇一・五六二	三・二九三・二三四	八四・〇〇〇	五二七・四七一	一・〇三六・六四六	六六・九四四		
七二・四九三・四八九	四二・〇一五・三五一	一九二・五七三・八五五	二・七五七・四二一・七八四	六一・〇四〇・二六五	八八・九二八・八三〇	四一五・三〇三・七六八	一・〇七四・一九一・九六〇	二七・一五二・六五〇	七五・一四七・二〇〇	八五六・六二六	二八・三七・〇〇〇	九八・九三七・六三〇	九〇・五三六・二〇七	二・四九八・二六七		

○概況 土地建物及船舶

植物園			寄宿舎			忍路臨海實驗所			厚岸臨海實驗所			海藻研究所			
事務所	住宅	倉庫	雜屋	工場	事務所	雜屋	事務所	事務所	住宅	工場	事務所	事務所	雜屋	住宅	事務所
一八二・八八八	八三・六五二	一五・〇〇〇	三六四・七五五	一一・五〇〇	一・二六六・七五〇	四八七・五〇〇	一〇四・〇〇〇	五一・七五〇	二五一・七五〇	一〇・〇〇〇	四二・一六六	五二・一二五	三八・二五〇	四三・一七三	
五四四・一七七	八三六・二七四	二二七・七〇三	五〇・四六六・三八三	三・〇九七・三七〇	五八・八六一・七六〇	二九・五二六・九六〇	一三・三七七・一〇〇	八八・〇三四〇	七二・六二六・五二〇	三・四三三・一二〇	六・〇一九・〇六〇	六・五六一・一七〇	一・六七八・〇〇〇	四・四二一・八〇〇	

○獎學資金

寄贈金名義	寄贈ノ目的	寄贈年月	金額	寄贈者
故穂積貞三獎學資金	學生生徒賞與金及圖書機械購入ノ爲	明治四十三年七月	五十分利公債證書 四十分利公債證書 百圓	穂積 陳重
佐藤博士就職二十五年記念獎學資金	學生生徒ニ貸與又ハ給與ノ爲	明治四十五年六月	五十分利公債證書 二千圓	佐藤博士就職二十五年記念祝賀會委員長 南 鷹次郎 外千三百三十四名
同	農業經濟學圖書購入ノ爲	大正元年八月	五十分利公債證書 千圓	同
同	學生生徒ニ貸與又ハ給與ノ爲	大正二年三月	四十分利公債證書 五百圓	同
故森源三獎學資金	同	明治四十五年六月	四十分利公債證書 千圓	故森源三獎學資金募集委員 宮部 鷹次郎 外百三十名
吉井博士開講二十五年記念獎學資金	農藝化學圖書購入ノ爲	大正二年十月	五十分利公債證書 四百圓 勸業債券 二百圓	吉井博士開講二十五年記念祝賀會委員長 大島金太郎 外四百七十八名
鈴木武真就職二十五年記念獎學資金	農學圖書購入ノ爲	大正四年七月	四十分利公債證書 三百圓	鈴木 武真
橋本博士在職二十五年記念獎學資金	畜産學圖書購入ノ爲	大正六年一月	勸業債券 二千二百圓	橋本左五郎

寄贈金名義	寄贈ノ目的	寄贈年月	金額	寄贈者
佐藤博士獎學資金	學生生徒ニ貸與及給與又農業經濟學圖書購入ノ爲	大正七年十二月	五十分利公債證書 一萬圓	塚本源三郎
內村鑑三謝恩記念獎學資金	學生生徒ノ入學獎勵金充用ノ爲	大正八年六月	五十分利公債證書 千圓	內村 鑑三
故野村龍吉獎學資金	畜産學ニ關スル圖書購入ノ爲	大正八年九月	勸業債券 六百圓	野村龍太郎
故吉井博士記念獎學資金	圖書ヲ購入シ故吉井博士記念文庫増補ノ爲	大正九年二月	五十分利國庫債券 六百圓	大島金太郎 外七百二名
大島博士獎學資金	農藝化學研究ノ爲	大正十一年一月	四十分利公債證書 四千五百圓 五十分利公債證書 五百圓	大島 金太郎
故有島ヤス子記念獎學資金	學力可其品行方正ナル學生生徒貸與ノ爲	大正十一年一月	四十分利公債證書 四千五百圓	有 島 武 郎
廣井博士還歴記念獎學資金	土木工學科ニ於テ學術研究及獎勵ノ使途ニ充ツル爲	大正十一年十二月	五十分利公債證書 三千圓	廣 井 勇
高岡博士在職二十五年記念獎學資金	農業經濟ニ關スル雜誌ノ發行若ハ同學ニ關スル學術研究ノ爲	大正十二年三月	五十分利公債證書 三千八百圓	高 岡 熊 雄
鈴木武真獎學資金	學生生徒ニ貸與又ハ給與ノ爲	大正十三年一月	五十分利公債證書 五百圓	鈴木 武 真
片岡殖結婚記念獎學資金	農藝化學ニ關係アル圖書購入ノ爲	大正十三年十月	五十分利公債證書 千圓	片岡 唯 一 喜 郎

○獎學資金

○獎學資金

故田所ミキ子記念 北大生物化學賞資金	本學内生物化學研 究者ノ表彰ノ爲	昭和二年七月	北海道拓殖債券 二千圓	田所哲太郎
廣井博士還曆記念 獎學資金	土木工學科ニ於テ 學術研究及獎勵ノ 使途ニ充ツル爲	昭和五年八月	二千圓	東京帝國大學工學部土木工 學教室内廣井工學博士記 念事業會委員長 中山秀三郎
故山田陽清博士 記念獎學資金	工學部指定ノ圖書 購入ノ爲	昭和六年七月	五分利公債證書 千圓	故山田陽清博士記念事業會 吉町太郎 外二百七十六名
ゲオルゲ、グラツセル 獎學資金	本學學生生徒ノ獎 學ノ爲	昭和七年二月	五十圓	ゲオルゲ、グラツセル
故井伊谷春平教授記念 獎學資金	工學部指定ノ圖書 購入ノ爲	昭和七年七月	五分利公債證書 一千五百圓	故井伊谷春平教授記念事業 實行委員長 大賀 應二 外四百三十二名
男爵佐藤昌介記念 獎學資金	學資ニ窮スル有爲 ノ學生生徒ニ給與 又ハ貸與ノ爲	昭和七年十一月	五分利公債證書一 萬六千六百五十圓	佐藤前總長記念實行委員長
故佐藤又市 記念	圖書購入ノ爲	昭和八年七月	五分利公債證書 百圓	佐藤マ
筒井武獎學資金	土木工學ニ關スル 圖書購入ノ爲	昭和九年十二月	五分利公債證書 百圓	筒井武

出版

明治三十六年以降出版シタル紀要目錄左ノ如シ

○札幌農學校紀要 第二卷 第一號

不常牛乳ノ灰ノ成分ニ就テ	農學士	橋本左五郎
日本産泡吹蟲科昆蟲誌	農學士	松村松年
日本産水棲半翅類ニ就テ	理學博士	松村松年
スコリチニ(小蠹蟲科ノ一部)日本種ニ就テ	理學博士	新島善直
日本産蠶蝦昆蟲誌	理學博士	松村松年
同	農學士	素木得一
燈心ノ成分ニ就テ	農學士	大島金太郎
日本産繖形科植物ニ寄生スル「ブクシニア」ニ就テ	農學士	三宅勉
同	農學士	伊藤清藏
世界ノ蠶業競争ト日本蠶業	農學士	伊藤清藏

○東北帝國大學農科大學紀要 第三卷 第一號 附圖二版

日本産蠶斯科昆蟲誌	理學博士 松村素木	松村素木	松村素木	松村素木
幼齡やつめノ血管系ノ發生夙期ニ就テノ批評	農學士 八田三郎	八田三郎	八田三郎	八田三郎
北海道産小蠶蟲及其ノ森林被害關係	林學士 新島善直	新島善直	新島善直	新島善直
日本産禾本科植物ニ寄生スル銹菌ニ就テ	農學士 伊藤誠哉	伊藤誠哉	伊藤誠哉	伊藤誠哉
樺太産昆蟲研究(第一)	理學博士 松村松年	松村松年	松村松年	松村松年
絹絲蟲ノ解剖及生理ニ關スル研究	附圖七版	附圖七版	附圖七版	附圖七版
一、家蠶ニ於ケル絹絲ノ生成及絹絲腺ノ構造	農學士 田中義麿	田中義麿	田中義麿	田中義麿
麥類及其ノ雜種ニ於ケル花粉母細胞ノ核分裂ニ關スル細胞學上ノ研究	附圖四版	附圖四版	附圖四版	附圖四版
日本ニ於ケル牛族ノ頭骨ニ關スル研究	農學士 井口賢三	井口賢三	井口賢三	井口賢三
鯨節ノ微ニ關スル研究	附圖五版	附圖五版	附圖五版	附圖五版

同

薩預ノ「ムチン」ニ關スル研究

第六號

れまがりたけ筍ノ炭水化物ニ關スル研究

農學博士 大島金太郎

れまがりたけ筍ノ非蛋白質窒素化合物ニ關スル研究

農學士 田所哲太郎

鱈卵膜ノ化學的性質ニ就テ

農學士 三宅康次

同

日本産「ピストスピテン」及「アコセフアリンホン」ノ研究(浮塵子ノ種類)

第七號

理學博士 松村松年

同

大豆及菜豆ノ發芽期ニ於ケル「ベントーザン」及「メチールベントーザン」ノ消長ニ就テ

第八號

農學士 三宅康次

「カラクタン」定量法ノ改良ニ就テ

農學士 三宅康次

同

朝鮮、對馬及鳥取産牛ノ骨頭ニ關スル研究

第五卷

第一號

附圖五版

農學士 井口賢三

同

亞麻莖浸水ニ關スル研究

第二號

農學士 田所哲太郎

生食品ノ酵素的作用ニ就テ	同	第三號	農學士	田所哲太郎	
臺灣ニ於ケル貝殼蟲寄生菌ニ就テ	同	附圖二版	理學博士	宮部金吾	
家蠶ニ於ケル遺傳質ノ考究	同	第四號	農學士	澤田兼吉	
家蠶ニ於ケル遺傳質ノ「カツプリング」及「レバルシヨン」ニ就テ	同	附圖一版	農學士	田中義麿	
日本産「カハトンボ」科ノ蜻蛉ニ就テ	同	第五號	附圖一版	農學士	田中義麿
日本産浮塵子亞科及或さじよこばい亞科ノ新種	同	第六號	附圖一版	農學士	小 熊 捍
アルカリ土壌中ニ普通ナル鹽類カ水稻ノ生育ニ及ボス影響	同	第七號	農學士	松 村 松 年	
加穀乳ノ結晶ニ關スル研究	同	第八號	理學博士	三 宅 康 次	
更ニ蠶ニ於ケル「レヂエープリケーシヨン」ニ就テ	同	第九號	附圖八版	農學士	里 正 義
同	同	第六卷 第一號	農學士	田 中 義 麿	
同	同	第二號	農學士	田 中 義 麿	

豆類種實中「クレアニン」ノ存在ニ就テ	同	第三號	農學博士	大島金太郎	
本邦ニ於ケル酸性土壌ノ膠質性ニ就テ	同	農學士	有 泉 方 松		
日本産草蜻蛉科ニ就テ	同	第四號	農學士	田 所 哲 太 郎	
螢島賊ノ研究	同	附圖三版	理學士	岡 本 半 次 郎	
「ヒバツノマタ」ノ成分ニ就テ	同	第五號	農學士	佐 々 木 望	
本邦ニ於ケル酸性土壌ノ膠質性ニ就テ(其ノ二)	同	第六號	農學士	高 橋 榮 治	
相模灣ヨリ獲タル開眼頭足類ニ屬スル三新種	同	附圖一版	理學士	田 所 哲 太 郎	
同	同	第七號	附圖三版	佐 々 木 望	
馴鹿ノ喉囊ニ關スル知見	同	附圖三版	獸醫學博士	小 倉 鈿 太 郎	
所謂内寄生性芥癬ニ就テ	同	農學士	農 學 士	山 根 甚 信	
「エイアシヤイア」牛種ニ於ケル耳ノ畸形ノ遺傳ニ就テ	同	獸醫學博士	獸醫學博士	小 倉 鈿 太 郎	
同	同	農學士	農 學 士	山 根 甚 信	
同	同	第八號	附圖五版	農學士	山 根 甚 信

馬族ノ「エルゴット」ニ就テ	農學士	吉田新七郎
孵卵期ニ於ケル鳩ノ嚙嚙ニ就テ	農學士	吉田新七郎
鼠及兎ノ胃線ニ就テ	農學士	吉田新七郎
同	同	同
豌豆及稻ニ於ケル開花時ノ遺傳ニ就テ	農學士	星野勇三
同	同	同
たらばがに及たこの窒素化合物ニ就テ	農學士	高橋榮治
二三ノ海産動物中へたいん存在ニ就テ	農學士	高橋榮治
同	同	同
我國私有林業ノ改良ニ就テ	林學士	穴戸乙熊
同	同	同
穀實ノ物理學的性質間ニ於ケル相關現象及其ノ實用的意義	農學士	明峰正夫
同	同	同
蠶ニ於ケル遺傳的研究	農學士	田中義麿
同	同	同
「ばるさ、ちあぼにか」ノ寄生ニ因ル染井吉野櫻、梅並其ノ他ノ櫻屬樹ノ一新病害ニ就テ	農學士	逸見武雄
同	同	同
岡山、山形及硫球産牛ノ頭骨ニ關スル研究	農學士	井口賢三

日本蚜蟲科ノ研究	同	第六號	附圖二版	理學博士	松村松年
北海道國有林ノ管理ニ就テ	同	第七號		林學博士	穴戸乙熊
○北海道帝國大學農科大學紀要 第八卷 第一號	附圖一版	第一號		理學博士	松村松年
日本有用食用蚜蠅科ノ新類ニ就テ	同	第二號		農學士	逸見文雄
日本産食用薯塊類ノ炭水化物ニ關スル研究	同	第三號	附圖三版	農學士	小熊捍
赤楊ニ寄生スル一新介殼蟲ニ就テ特ニ其ノ變態ト解剖ヲ論ス	同	第四號	附圖三版	農學士	エ・ヘ・テフロート
○北海道帝國大學農學部紀要 第八卷 第四號	附圖三版	第四號		農學士	田所哲太郎
ジャバロヒニス 爪哇鹿鹿其ノ他ノ哺乳類ノ妊娠子宮並成齡哺乳類ノ骨髓ニ於ケル血液生成ニ就テノ研究	同	第五號		農學士	田所哲太郎
植物細胞ニ關スル膠質化學的研究	同	第六號		農學博士	高橋榮治
紅藻類ノ粘質物ニ關スル研究	同	第九卷 第一號	附圖三版	農學博士	高橋榮治

本邦産植物炭疽病菌ニ關スル知見	同	第二號	附圖二版	農學博士	逸見武雄
馬ノ精液ノ理化學的性狀特ニ精蟲ノ生理ニ就テノ研究	同	第三號	附圖一版	農學博士	山根甚信
馬ノ大腸ノ一畸形ニ就テ	同	第四號		農學博士	山根甚信
蓮種中「ラフィノース」ノ存在ニ就テ	同	第五號	附圖六版	農學博士	逸見文雄
日本ニ於ケル牛族ノ研究	同	第六號	附圖一版	農學博士	井口賢三
植物炭疽病菌ニ關スル知見補充	同	第十卷 第一號		農學博士	逸見武雄
蠅螂ノ特殊染色體	同	第二號		農學博士	小熊捍
北海産材料ノ「タンニン」含有量	同	第三號	附圖九版	農學博士	田所哲太郎
紫外分光機ニヨル「有機膠質ニ對スル鹽類顔現現象」ノ研究	同				
「メチールフルフロール」及「オキシメチール・フルフロールフロロケルシッド」ノ「スペクトル」反應ニ就テ				農學博士	田所哲太郎

家蠶ニ於ケル絹絲分泌ノ形態學的研究	同	第四號	附圖三版		山内源登
發生中ノ卵ノ實驗的研究	同	第五號	附圖二版		
一、兩棲類ニ於ケル年齢ト外界				農學士	犬飼哲男
生物化學上ニ於ケル呈色反應ノ「スペクトル」ニ就テ	同	第六號	附圖六版	農學博士	田所哲太郎
日本粘液胞子蟲類ノ研究	同	第七號	附圖二版	農學士	藤田經信
苹果ノ若キ果實ノ早落現象ニ就テ	同	第十一卷 第一號		農學士	並河功
幌筵島植物誌	同	第二號		理學士	工藤祐舜
「アラズモバラ・ハルステイ」ニ關スル研究	同	第三號	附圖六版		西村眞琴
本邦産單房銹菌屬	同	第四號	附圖三版	農學博士	伊藤誠哉
北樺太植物研究(第一報)	同	第十二卷 第一號	附圖十二版	理學博士	工藤祐舜

氣象要素ノ樹木生長ニ及ボス影響ニ就テ	同	第二號	附圖十四版	中島廣吉
本邦ニ於ケル芋樹腐爛病ト其ノ病原菌ナル「バルサ・マリ」ニ關スル研究	同	第三號	附圖四版	富樫浩吾
糯米粳米澱粉ニ於ケル膠質性ノ差異ニ就テ	同	第十三卷 第一號	附圖三版	農學博士 田所哲太郎 農學士 佐藤正一
特ニ議會討議ノ上ヨリ觀タル米國土地問題ノ經過	同	第二號	農學博士 中島九郎	
天南星ニ於ケル性ノ轉移現象ニ就テ	同	第三號	附圖一版	農學博士 前川徳次郎
麥芽根ノ化學的組成特ニ「ホルデニン」ニ就テ	同	第十四卷 第一號	農學博士 橋谷義孝	
玉葱ノ「ヘミセルロース」ニ就テ	同	第二號	農學博士 坂村徹	
特ニ榮養液ノ緩衝能ヲ考察シタルくろかびノ培養ニ就テ	同	第三號	理學博士 田所哲太郎 農學士 中村幸彦	
米蛋白質「オリゼニン」ノ糯粳ニヨル理化學性ノ差異ニ就テ	同			

亞麻ノ立枯病菌炭疽病菌ノ生理ニ關スル比較研究	同	第四號	農學博士 渡邊修吉	
「アルホロートル」類似ノ「クツタラウシ」湖産山椒魚ニ就テ	同	第十五卷 第一號	附圖三版	農學博士 柄内吉彦
有尾兩棲類ノ泌尿生殖器系統	同	第二號	附圖四版	理學博士 佐々木望
樺太産蝶蛾類ノ列舉ト其ノ新種及亞種ノ記載	同	第三號	附圖四版	農學士 山極三郎
臺灣ノナガキクヒムシニ就テ	同	第四號	附圖四版	理學博士 松村松年
日本産カマキリモドキ科ニ就テ特ニ其ノ形態學的特質	同	補遺	農學得業士 桑山覺	
きむのすべらんぎうむやまてーノ寄生ニ起因スル萃樹赤星病ニ關スル研究	同	第五號	附圖四版	農學士 村山釺造
「メチルペントーザン」ノ定性法ニ就テ	同	第十六卷 第一號	農學博士 福士貞吉	
「メントーザン」及「メチルメントーザン」ノ定量法ニ關スル研究	同	第二號	農學博士 大島金太郎 農學博士 近藤金助	

米ノ品種ニヨル蛋白質「オリゼニン」ノ理化學的特異性ニ就テ	農學博士	田所哲太郎
糯稈米間ニ於ケル澱粉理化學性ノ差異ニ就テ(二)	農學博士	中村幸彦
同	農學博士	渡邊修吉
爬蟲類ノ發生ノ研究	農學博士	田所哲太郎
同	農學博士	犬飼哲男
一、トカゲノ最初期發生情狀ニ就テ	農學博士	小飼哲男
爬蟲型類ノ染色體ノ研究	農學博士	小飼哲男
同	農學博士	小飼哲男
一、鳩ノ染色體ノ性的相異	農學博士	小飼哲男
日本産粘液胞子蟲ノ研究	農學博士	藤田經信
同	農學博士	藤田經信
「ブラズモバラ・ハルスステイ」ノ研究(二)	農學博士	西村眞琴
同	農學博士	西村眞琴
花器ノ脫離及剝落ニ關スル知見	農學士	並河功
同	農學士	並河功
小麥ペンタプロイドバスタードニ於ケル形態的性質及染色體數ト	農學博士	杉内吉彦
同	農學博士	杉内吉彦
小鷲赤銹病ニ對スル抵抗力トノ關係ニ關スル研究	農學博士	木原均

同	農學博士	三宅捷
菟藟マンナンノ化學的並物理化學的研究	農學博士	三宅捷
同	農學博士	三宅捷
五種ノ松蝨ト其ノ寄生蟲並食肉性昆蟲ニ就テ	農學博士	松村松年
同	農學博士	松村松年
日本産姬蜂科ノ研究(第一報)	農學士	内田登一
同	農學士	内田登一
植物種子ノ各蛋白質間ニ於ケル理化學性ノ差異ニ就テ	農學博士	田所哲太郎
(第一報) 等電點ヲ異ニスル米ノ各種蛋白質間ニ於ケル理化學性差異	農學士	伊藤半右衛門
同	農學士	伊藤半右衛門
同	農學士	渡邊修吉
同	農學士	渡邊修吉
北海道ノ牛馬ニ寄生スル蟻	獸醫學得業士	小倉喜佐次郎
同	獸醫學得業士	小倉喜佐次郎
同	水產學得業士	高田幸二
同	水產學得業士	高田幸二
「ダフリカカラマツ」ノ天然更新ニ關スル研究	農學士	後藤收藏
同	農學士	後藤收藏
日本領土産新種及新亞種ノ蛾ノ記載	理學博士	松村松年
同	農學博士	松村松年

植物種子ノ各種蛋白質間ニ於ケル理化學性ノ差異ニ就テ(第二報)

農學博士 田所哲太郎

動物種族ニアル血精及筋肉ノ化學的特異性ニ就テ(第一報)

農學博士 渡邊修吉

動植物性別ノ蛋白質化學的研究(第一報)

農學博士 安倍慎

同

農學博士 田所哲太郎

同

農學博士 渡邊修吉

同

農學博士 大島幸吉

同

農學博士 寺田慎一

同

農學博士 桑山 覺

同

農學博士 村山 釀造

沈澱數ニ及ホス還元劑ノ影響ニ就テ

農學博士 澤山 智

同

農學博士 石川 潤一

同

農學博士 廣瀬 國康

同

農學博士 田所哲太郎

植物種子ノ各種蛋白質ニ於ケル理化學性ノ差異ニ就テ(第三報)

農學博士 田所哲太郎

同

農學博士 吉村 克二

日本及近海ニ於ケル二鮫頭足類圖譜

理學博士 佐々木 望

同

農學博士 平塚 直秀

同

農學博士 高橋 榮治

同

農學博士 白濱 潔

バクシニアストラム屬分類誌資料	同	農學士	平塚直秀
日本産苞蛾亞科ニ就テ	同	第四號 附圖二版	
日本産縞螟蛾亞科ノ分類學的研究	同	農學士	澁谷甚七
日本産姬蜂科ノ研究(第二報)	同	第五號	
臺灣産螟蛾科及分類學的研究	同	農學士	内田登一
氣象要素ノ樹木生長ニ及ボス影響ニ就テ	同	第二十二卷 第一號 附圖九版	
動植物性別ノ蛋白質化學的研究(第二報)	同	第二號 附圖六版	
同(第三報)	同	林學博士	中島廣吉
醸造用大麥ニ關スル化學的研究	同	農學博士	田所哲太郎
鞣製化學教室(第四報)	同	農學士	安部 慎
		農學士	渡邊修吉
		農學士	中村幸彦

一、酒精ヲ溶媒トスル各種鞣製劑ノ鞣皮性	同	第四號	農學士	中西洋
二、「クロム」鹽ノ化學的研究	同	第四號	農學士	宋 濤
鞣製化學教室(第五報)	同	第五號		
「スルフイトセルローゼ」ノ化學的成分ニ關スル新研究	同	第五號	農學士	ゲオルグ・グラツセル
複鹽ノ成生、鹽基度ノ上昇、逆鞣製並ニ再鞣製等ノ耐熱性及ボス影響	同	第五號	農學士	ゲオルグ・グラツセル
「セラチン」及ビ生皮ノ各種鹽類ニヨリ受クル影響ト同時ニ鞣製劑ノ作用	同	第五號	農學士	ゲオルグ・グラツセル
各種鞣製劑トソノ鞣製の効果ニ就キテ(第一報、第二報)	同	第六號	農學士	大木 洋
鞣製化學教室(第六報)	同	第六號	農學士	ゲオルグ・グラツセル
人工鞣製劑ノ合成(第二報)	同	第六號	農學士	ゲオルグ・グラツセル

皮ニ關スル化學的研究	ドクトル・フィロソフイエ	ゲオルグ・グラツセル
一、酸及ビ「アルカリ」ニ依ル加水分解	農學士 田口 鎮雄	
皮ニ關スル化學的研究	宋	
二、石灰漬及ビ脱灰漬ノ皮ノ化學的組成ニ及ボス影響	ゲオルグ・グラツセル	
「メチレン・ヂナフトール」ノ鞣皮性	農學士 中 四 洋	
鹽基性「クロム」鹽調製ニ際シテ重「クロム」酸鹽ノ還元作用	ゲオルグ・グラツセル	
同	廣 瀨 國 康	
乳牛ニ及ボス紫外光線ノ影響ニ就テ	ゲオルグ・グラツセル	
同	長 濱 敏 夫	
鞣製化學教室(第三報)	農學博士 井 口 賢 三	
南日本産「タンニン」ニ就テ	農學士 三 田 村 健 太 郎	
鞣成劑ノ合成(第一報)		
「オキシベンゾール」族	ドクトル・フィロソフイエ	ゲオルグ・グラツセル
「クロム」革ニ生ズル白斑ノ定性ニ關スル研究		
原料皮ノ研究		

「パイン」ニ依ル「カゼイン」分解作用ニ關スル理化學的研究補遺特ニ該酵素作用ノ基礎的聚質	同	第四號	農學士 佐 藤 正 一
並ニ該酵素作用ニ及ボスシアン化水素ノ促進作用ノ機構ニ就テ	同	第五號	農學士 河 野 廣 道
日本産短吻象鼻蟲類	同	第二十五卷 第一號	附圖三版 農學士 内 田 登 一
日本産姬蜂科ノ研究(第三報)	同	第二號	農學士 内 田 登 一
變性蛋白質ノ化學的研究(第一報)	同	(第二報)	農學博士 田 所 哲 太 郎
同	同	第三號	農學士 吉 村 克 己
同	同	第四號	農學士 田 所 哲 太 郎
日本産野螟蛾亞科(鱗翅目)ノ既知並ニ未記錄種ニ就テ	同	第三號	農學士 渡 邊 修 吉
同	同	第四號	附圖三版 農學士 内 田 登 一
日本産姬蜂科ノ研究(第四報)	同	第二十六卷 第一號	附圖三版 農學士 内 田 登 一
同	同	(第五報)	
同	同	(總論)	

北海道及樺太植物誌 1 羊齒類植物及裸子植物	第二號	附圖一版	理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
北海道及樺太植物誌 2 單子葉植物 香蒲科 莎草科	同	同	同
北海道及樺太植物誌 3 單子葉植物 天南草科 蘭科	同	同	同
北海道及樺太植物誌 4 双子葉植物、離辨花區三白草科—蓼科	同	同	同
榎松並蝦夷松材ノ品質殊ニ彈性及強度ニ關スル比較研究	第二十七卷 第一號		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物性蛋白質ノ析出	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
各種鞣製劑トソノ評價	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物皮ニ關スル研究	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物皮ト「セラチン」ニ關スル研究	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
金屬鹽類ノ「セラチン」沈澱作用ニ及ボス中性鹽ノ影響	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
クロム酸還元ニ關スル屈折率(光線)ノ研究	第二號		林學博士 大澤 正 之
クロム鹽類ノ鞣製化學的研究	同		同
「セラチン」並ニ動物皮ニ對スル複合鞣製劑ノ作用ニ就	同		同
キテ復合鞣製ニ關スル化學的試驗報告	同		同
米ノ成熟ニ關スル化學的研究	第三號		農學士 大木 洋
くものすかび屬智識ニ對スル一頁獻(第一報)	第二十八卷 第一號	附圖四版	農學士 市 瀨 正 毅
くものすかび屬ノ智識ニ關スル一考察(第二報)	第二號		農學士 田 所 哲 太 郎
醉素ノ化學力學ニ於ケルシユッツ氏法則及類似反應式ヲ否定ス	第二十九卷 第一號	附圖四版	農學士 安 倍 慎
「チヨッキリ」亞科「アシナガオトシミア」及ビ「オトシミア」亞科ノ生活史ノ研究	第二號		農學士 山 本 義 彦
日本産「オトシミア」亞科ノ研究	第三號	附圖三版	農學士 山 本 義 彦
同	同	同	農學士 中 島 顯 三
同	同	同	農學士 河 野 廣 道
同	同	同	農學士 河 野 廣 道
同	同	同	農學士 河 野 廣 道

北海道及樺太植物誌 1 羊齒類植物及裸子植物	第二號	附圖一版	理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
北海道及樺太植物誌 2 單子葉植物 香蒲科 莎草科	同	同	同
北海道及樺太植物誌 3 單子葉植物 天南草科 蘭科	同	同	同
北海道及樺太植物誌 4 双子葉植物、離辨花區三白草科—蓼科	同	同	同
榎松並蝦夷松材ノ品質殊ニ彈性及強度ニ關スル比較研究	第二十七卷 第一號		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物性蛋白質ノ析出	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
各種鞣製劑トソノ評價	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物皮ニ關スル研究	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
動物皮ト「セラチン」ニ關スル研究	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
金屬鹽類ノ「セラチン」沈澱作用ニ及ボス中性鹽ノ影響	同		理學博士 宮部 工 藤 祐 金 吾
クロム酸還元ニ關スル屈折率(光線)ノ研究	第二號		林學博士 大澤 正 之
クロム鹽類ノ鞣製化學的研究	同		同
「セラチン」並ニ動物皮ニ對スル複合鞣製劑ノ作用ニ就	同		同
キテ復合鞣製ニ關スル化學的試驗報告	同		同
米ノ成熟ニ關スル化學的研究	第三號		農學士 大木 洋
くものすかび屬智識ニ對スル一頁獻(第一報)	第二十八卷 第一號	附圖四版	農學士 市 瀨 正 毅
くものすかび屬ノ智識ニ關スル一考察(第二報)	第二號		農學士 田 所 哲 太 郎
醉素ノ化學力學ニ於ケルシユッツ氏法則及類似反應式ヲ否定ス	第二十九卷 第一號	附圖四版	農學士 安 倍 慎
「チヨッキリ」亞科「アシナガオトシミア」及ビ「オトシミア」亞科ノ生活史ノ研究	第二號		農學士 山 本 義 彦
日本産「オトシミア」亞科ノ研究	第三號	附圖三版	農學士 山 本 義 彦
同	同	同	農學士 中 島 顯 三
同	同	同	農學士 河 野 廣 道
同	同	同	農學士 河 野 廣 道
同	同	同	農學士 河 野 廣 道

本邦產禾本科植物寄生葉枯病菌子囊時代	同	農學博士	伊藤誠哉
中部千島植物群落概説	同	農學士	栗林數衛
中部千島ノ植物地理學的研究	同	農學士	館脇操
培養液ノ濃度及pH實在酸性度ニ關シ玉蜀黍幼植物ノ根ニヨル	第三十卷 第一號 附圖一版	農學博士	羅宗洛
「アムモニア」及ビ硝酸鹽ノ吸收ニ就テノ研究	第二號	農學博士	高橋榮治
貯藏及發芽ニ於ケル大麥蛋白質ノ移動ニ就テ	同	農學士	白濱潔
臺灣產尖姬蜂亞科ニ關スル知見	同	農學博士	內田登一
臺灣產長小蠹蟲科ノ研究(追補其ノ三)	同	林學博士	村山釀造
麵粉アスターゼノ本質ニ關スル研究	同	農學博士	伊藤光治
日本產偽瓢蟲科ノ研究	同	農學士	太田勇愛

「ピツケル」ノ作用ニ關スル研究	第三十一卷 第一號	農學博士	澤山智
クロム鞣製ニ關スル物理化學的研究	同	農學博士	澤山智
大豆ノ蛋白質及脂肪ニ就テ	同	農學士	中島顯三
本邦產水生菌科ノ研究	第三十二卷 第一號	農學士	永井政次
水生菌ニヨル稻苗腐敗病ニ就テ	同	農學博士	伊藤誠哉
二三寄生菌ノ發育ニ及ボス脂肪溶性「ビタミン」ノ影響ニ關スル研究	第三號	農學博士	伊藤誠哉
酵母「カラターゼ」ニ關スル研究	同	農學士	永井政次
「ピシウム」菌ニヨル稻苗腐敗病ニ就テノ研究	同	農學博士	伊藤誠哉
	同	農學士	德永芳雄
	第四號	農學博士	松山茂助
	第五號	農學博士	伊藤誠哉
	附圖五版	農學士	德永芳雄

日本産土蜂科修正 附新種及ビ新形ノ記載	同	第六號	附圖二版	農學博士	内田登一
稻泥負蟲ノ形態並ニ生態ニ關スル研究併テ分類學上ノ見解ヲ論ズ	同	第三十三卷 第一號		農學博士	桑山覺
ザウテル氏ノ臺灣昆蟲採集品(姬蜂科)ニ就テ	同	第二號		農學博士	内田登一
日本産アナキザウムシ亞科ノ研究	同	第三號	附圖二版	農學博士	河野廣道
柞蠶ノ發生ニ關スル研究	同	第四號	附圖五版	農學士	齋藤三郎
北海道産蜘蛛	同	第五號	附圖四版	農學士	齋藤三郎
オクラ、黃蜀葵ノ種間雜種ニ就テ實驗遺傳學的並ニ細胞學的研究	同	第三十四卷 第一號	附圖八版	農學博士	手島寅雄
日本産天牛科ノ知見	同	第二號	附圖五版	林學博士	松下眞幸
高等植物ニ於ケル再生現象知見寄與	同	第三十五卷 第一號		農學博士	掛下謹次郎
		第二號			

寒天ノ本體エテリアルサルフェートニ就テ	同	第三號	農學博士	高橋榮治	
臺灣産小蠹科ノ研究(追補其ノ四)	同	第四號	林學博士	村山醸造	
酵素ノ加水分解作用ニ於ケル一般反應式ヲ提唱ス	同	第三十六卷 第一號	農學博士	中島顯三	
アリウシヤン群島植物誌ニ對スル貢獻	同	第二號	農學博士	鎌田寅八	
粟白髮病ノ菌學的並ニ病理學的研究	同	第三十七卷 第一號	農學博士	樋村誠	
二三ノ禾本科植物油脂ノ化學的研究	同	第二號	農學博士	伊藤牛右衛門	
稻萎縮病ノ研究	同	第二號	農學博士	福士貞吉	
○北海道帝國大學工學部紀要 第一冊 第一號					
完全拘束桁ノ兩端ニ於ケル「モーメント」並軸張力ノ研究			工學博士	鷹部屋福平	
彎曲桁ノ振動			工學博士	山田陽清	

建築架構ノ靜力學的研究 同	第二號	工學博士 鷹部屋福平 工學博士 鷹部屋福平 理學士 池田芳耶
兩端ニ於テ廻轉變位完全ニ可能ナル場合ノ拘束桁ノ軸張力ニ就テ 熱源ガ一樣ニ分布セル媒質中ニ於ケル熱ノ傳導ニ就テ 同	第三號	理學博士 池田芳耶 理學士 伊藤直茂 工學士 兒島直
媒電板上ノ圓形火花放電		理學博士 池田芳耶
更ニ圓形火花放電ニ就テ		理學士 伊藤直茂
中空圓柱ノ熱ニ依ル歪力ニ就テ		理學博士 池田芳耶
機械的作表法ニ依ル建築矩形架構ノ解法	第四號	工學博士 鷹部屋福平 理學博士 加藤錢耶
「ポルテラー」ノ積分方程式ノ解ニ就テ	同	理學博士 池田芳耶
完全拘束ノ「ガラス」薄板ノ一樣ナル壓力ニ依ル破壞裂目ニ就テ	同	理學博士 池田芳耶
再ビ機械的作表法ニ依ル建築矩形架構ノ解法ニ就テ	第五號	工學博士 鷹部屋福平 理學士 伊藤直
低壓瓦斯中媒電板上ノ放射形放電		

高周波電源ニ對スル低壓瓦斯放電 同	第二冊 第一號	工學士 淺見義弘
放電ノ研究 同	第二號	工學士 鳥山四男 工學士 鳥山四男 工學士 篠原卯吉
表面電荷圖ノ應用 同	第三號	理學博士 池田芳耶 工學士 加藤錢耶 工學士 森元吉
高電壓ニ於ケル電壓電流ノ瞬間値ノキネマトグラフ		理學博士 池田芳耶 工學士 加藤錢耶 工學士 森元吉
高壓用變壓器内ノ電氣振動		理學博士 池田芳耶 工學士 森元吉
變壓器内ノ電氣衝擊ノ傳播ニツイテノ實驗的研究 同	第四號	理學博士 池田芳耶 工學士 森元吉
高層建築矩形架構ノ解法ト荷重影響ノコンタールライン表示法ニ就テ 等剛比ヲ有スル高層架構ノ垂直竝ニ水平荷重ニ因ル應力ノ研究 同	第五號	工學博士 鷹部屋福平 工學博士 鷹部屋福平 工學博士 鷹部屋福平

電流ニ依ル導體ノ溫度上昇

「フューズ」ノ熔解ニ關スル實驗式ノ數學的考察

液體絶緣物中ニ於ケル電荷圖

砂ノ内の崩壞運動ニ關スル實驗的研究

不齊ナル電場内ノ放電

壓力測定ニ應用シタル光彈性效果ニ就テ

一般轉鏡儀ノ横又線ノ「トレシー」整正法ニ於テ從來誤解セラレタル整正值ノ正解並ニ新整正法

高層摩天閣架構ニ於ケル風壓計算ノ新解法ニ就テ

乾燥砂ノ崩壞面ニ關スル實驗的研究

三次元ノ問題トシテ取扱ヘル砂ノ内の崩壞運動ニ就テ

同

第三號

（理學博士）池田芳郎

（理學博士）米田勝彦

（理學博士）池田芳郎

（理學博士）米田勝彦

（理學博士）鳥山四男

（理學博士）鷹部屋福平

（理學博士）森元吉

（理學博士）鷹部屋福平

（理學博士）新郷高一

（理學博士）鷹部屋福平

（理學博士）鷹部屋福平

液體絶緣物中ノ放電

同

第四號

（工學博士）鳥山四男

（工學士）澤茂夫

假想らゝめん・しゆてゝべ法ト靜力學ニ屢々現ハレル一次方程式ノ二三ノ性質ニ就テ

同

第五號

（工學博士）鷹部屋福平

（工學士）鷹部屋福平

（工學士）酒井忠明

（工學士）新郷高一

（工學士）篠原卯吉

一般轉鏡儀ノ横又線ノ整正可能條件ト整正量諸公式ノ精度

○北海道帝國大學理學部紀要

同

第一卷 第一號

三次空間ニ於ケル二次曲線ノ射影幾何學ニ就テ

同

第二號

（理學士）河口商次

二ノ線型微分方程式ニヨリ構成サレル線型積分方程式ニ就テ

射影幾何學ニ就テ其六、三次元空間ニ於ケル曲面論及ビソレトフビニノ理論トノ關係

（理學博士）池田芳郎

或ル羈級數ノ單葉性ニ就テ	同	第三號	理學士	河口商次
一實變數ノ函數族ニ就テ	同	第三號	理學士	能代清
一般集合體 T_n ニ於ケル非ほろのむ移變ニ就テ	同	第二卷 第一、二號	理學士	福原滿洲雄
或解析函數ノ單葉性ニ就テ	同	第二卷 第一、二號	理學士	細川藤右工門
線型微分方程式ノ特異點ニ就テ	同	第二卷 第一、二號	理學士	能代清
重べくとる移變ニ就テ	同	第二卷 第一、二號	理學士	福原滿洲雄
無限次代數體ノ構成ニ就テ	同	第三號	理學士	穗刈四三二
單葉函數ノ定理ニ就テ	同	第三號	理學士	守屋美賀雄
フインスラー空間ニ於ケル共形不變量	同	第三號	理學士	能代清
切觸變換ヲ許容スル空間ニ於ケル接觸	同	第三號	理學士	細川藤右工門
リツカチノ微分方程式ノ特異點ニ就テ	同	第四號	理學士	細川藤右工門
幾何學原理ニ於ケル四點ノ分離ニ關スル公準	同	第四號	理學士	福原滿洲雄
擴張サレタ變換群ニ從屬スル移變ニ就テ	同	第三卷 第一號	理學士	稻垣武
		第三卷 第一號	理學士	穗川四三二

ウニテール幾何學ニツイテ			理學士	本部均
數學空間ニ於ケル微分幾何學			理學博士	河口商次
I. ベクトリアルトテンソリアル	物 理 學	第一卷 第一號	理學博士	河 口 商 次
同期電機ノ單相知絡			理學博士	池 田 芳 郎
「週期的函數ヲ係數トシ且小ナルパラメーターヲ有スル微分方程式ノ積分ニ關スル問題トシテノ同期電機ノ單相知絡現象」			工學士	森 元 吉
オツシログラフニヨル線條放電ノ研究			理學士	伊 藤 直
リヒテンベルクノ模様ト之ヲ生セシメタ火花ト二三ノ相關ニ就テ		第二號	理學士	中 谷 宇 吉 郎
線條放電圖ノ研究續報		第二號	理學博士	伊 藤 直
伊藤氏線條放電ニツイテノ實驗的研究(第一報、第二報)		第三號	工學士	米 田 勝 彦
平面網ニヨル液滴ノ廻折		第三號	工學士	米 田 勝 彦
平面網ニヨル液滴ノ廻折	同	第四號	工學士	米 田 勝 彦
平面網ニヨル液滴ノ廻折	同	第四號	工學士	米 田 勝 彦
雪ノ物理的研究 第一報		第五號	理學博士	中 谷 宇 吉 郎
一九三三年札幌ニ於テ觀測シタル雪ノ結晶及其ノ氣象狀態トノ關係		第五號	理學士	飯 島 恒 夫

雪ノ物理的研究 第二報 札幌及十勝岳ニ於テ 一九三三—三四年ノ冬ニ觀測シタ雪ノ結晶ノ分類及説明	同	第六號	理學博士 中谷 宇吉 耶
生物化學上ニ於ケル雌雄兩性間ノ差異ニ就テ(第一輯)	化學 第一卷 第一號	第一號	理學博士 橋 倉 勝 治
硫黃ノ折出狀態ニ就テ	同	第二號	農學博士 田 所 哲 太 耶
生物化學的見地ヨリ觀タル性的差異 數種ノ稀土類鹽ノ吸收帶ノツレ	同	第二號	理學博士 富 永 齊
稀土類鹽ノ吸收スペクトルノズレニ就テ 補遺	同	第二卷 第一號	農學博士 田 所 哲 太 耶
生物化學的見地ヨリ觀タル性的差異 第三報	同	第一號	理學博士 太 泰 康 光
糲糯米澱粉ノ理化學的差異ニ就テ 第三報	地質學礦物學 第一卷 第一號	第一號	理學博士 太 泰 康 光
九州天草島ノ白堊紀層化石ニ就テ	同	第一號	理學博士 田 所 哲 太 耶
四國ニ於ケル結晶片岩系ノ岩石學的研究	同	第二號	理學博士 田 所 哲 太 耶
撫順石油頁岩鑛床ノ研究	同	第二號	理學士 上 床 國 夫

北海道上部白堊紀甲殼類二種	同	第三、四號	理學博士 長 尾 巧
北海道上部白堊紀層ヨリ發見セルアナブチクス及アブチクスニ就テ	同	第三、四號	理學士 大 石 三 耶
信濃國北小谷産中生代植物化石	同	第一號	理學博士 大 石 三 耶
岡山縣成羽地方レイチツク植物化學	同	第一號	理學博士 大 石 三 耶
石油頁岩ノ高壓力ニ因ル石油ノ生成	同	第一號	理學博士 大 石 三 耶
京都府舞鶴炭坑ジュラ紀植物化學	同	第一號	理學博士 大 石 三 耶
北海道産第三紀及白堊紀甲殼類化石	同	第二號	理學博士 長 尾 巧
南樺太及北海道産白堊紀軟體動物化石	同	第二號	理學博士 大 石 三 耶
山口縣産レイチツク植物化石	同	第二號	理學博士 大 石 三 耶
長門國於福嶺山附近ノ接觸變質鑛床	同	第二號	理學博士 大 石 三 耶
北海道ニ於ケル上部白堊紀含油地層ニ就テ	同	第二號	理學博士 大 石 三 耶
日本下部白堊紀層ノツィカシア、カリナタノ新變種	同	第三號	理學博士 上 床 國 夫
瑞西スコヒ産タンブライトノ光學恒數ニ就テ	同	第三號	理學博士 大 立 目 謙 一 耶
本州宮古地方白堊紀化石	同	第三號	理學博士 長 尾 巧

本邦産灰重石ノ屈折率ニ就テ	同	第四號	理學士	原田準平
北海道轟嶺山産新マンガン礦物「轟石」			理學士	吉村豐文
北海道十勝産アルカリ流紋岩ニ就テ			理學士	根本忠寛
北海道十勝國南部海岸ノホルンフェルス中ノ變成石灰質團塊ニ就テ			理學博士	鈴木木醇
北海道産含曹達輝石及曹達角閃石英片岩ニ就テ			理學博士	鈴木木醇
本邦ニ於テ新ニ發見セラレタルベクトライトニ就テ	植物學	第一卷 第一號	理學士	原田準平
趨菌ニ於ケル泡狀細胞ノ實驗的研究			理學博士	坂村徹
邦産藻類考察(第一報)			理學士	山口千之助
無菌培養ニ於ケル玉蜀黍幼植物ニヨル尿素ノ吸收	同	第二號	林學得業士	山口千之助
邦産スゲ屬新種	同		理學士	秋山茂雄
邦産藻類考察(第二報)	同		理學士	山田幸男
からすむぎ屬ノ遺傳分析ニ關スルモノグラフ	同	第三號	理學士	松浦幸一
ほんだわら屬及じょうもく屬植物ノ胚發生學的研究	同	第四號	理學士	猪野俊平
邦産藻類考察(第三報)			理學博士	山田幸男

邦産すば屬植物要説	同	第二卷 第一號	理學士	秋山茂雄
邦産藻類考察(第四、五報)	同	第二號	理學博士	山田幸男
邦産藻類考察(第五報)	同	第三號	理學博士	山田幸男
あなみどろ細胞原形質研究寄與	同	第四號	理學博士	坂村徹
麹菌ノ球形細胞形成ニ於ケル水素イオン濃度ノ意義			理學博士	坂村徹
及二三重金屬鹽ノ重要作用ニ就テ	同		理學士	吉村フシ
つくばれさう類ニ於ケル染色體形態ノ比較研究	同	第三卷 第一號	理學士	芳賀恣
同		第二號	理學士	芳賀恣
那覇附近ヲ主トシタ硫球ノ海産綠藻類	同	第三號	理學博士	山田幸男
同		第四號	理學士	吉村フシ
特ニ培養液中ノ重金屬不純物ニ關係セル麹菌ノ球形細胞形成	同		理學士	吉村フシ
植物原形質ニ及ボス鹽類作用分析寄與			理學博士	坂村徹
特ニ重金屬ニ關係セル麹菌ノアムモニア硝酸嗜好性			理學博士	坂村徹

同

第五號

群體變異ノ基礎トシテノジノタイプ平行現象説

キヨヅミウツボノ細胞學的研究 其ノ一

ヤッコサウノ核學的研究特ニ減數分裂ニ於ル所謂擴散期ニ就テ

チヤワシタケノヘテロ對合染色體ニ就テ

クロユリノ二生型ニ就テ

オホバナエンレイサウノ染色體研究 其ノ二

染色體クロモネマノ回旋方向ニ就テ

タコガワホトトギス及ビクマンサウニ於ケル染色體ニ次對合ニ就テ

動物學 第一卷 第一號

蜻蛉ノ近似種間ニ於ケル精母細胞染色體ノ比較研究

カナヘビノ繁殖習性ニ就テ

同

第二號

エゾサンセウウチ成體ニ於ケル精原細胞ノ起原及其ノ行動ニツイテ

ラナ・スフエノセフアラ、ラナ・ブラウストリス、ラナ・ビビエ

ンス、ラナ・クラミタンス及ラナ・カテスパイアナノ動脈幹ニ就

テ尙歐洲產ラナ屬トノ比較ニ及ブ

ラナ屬ノ動脈幹研究補遺

マスタラー・オウ・アーツ
グチラー・オウ・アーツ

マイルス・エル・ピール

理學博士 松浦 一

理學博士 松浦 一

理學博士 松浦 一

理學博士 松浦 一

理學博士 權藤 安武

理學博士 松浦 一

理學博士 松浦 一

理學博士 松浦 一

農學博士 小 熊 一

農學博士 犬 飼 哲 男

農學博士 犬 飼 哲 男

農學博士 犬 飼 哲 男

農學士 牧野 佐二 郎

同

第三號

第四大動脈(肺動脈弧)及其ノ脂肪ヲ除去セル Hynobius 幼生ノ變態ニ就テ

日本あまがへるノ産卵性ノ研究

若鳩ニ寄生スル「トリコモナス」ノ一種ニ就テ

同

第四號

蜻蛉染色體ニ關スル知見追補竝ニ脈翅類ニ於ケル染色ノ存在ニ就テ

淡水産水ダニノ生態ニ關スル觀察

Hynobius 幼生ノ第二動脈弧(即チ永留大動脈弧)ノ除去ニヨル第三動脈弧ノ永存ニ就テ

日本産無尾類四種ノ動脈幹ノ構造ニ就テ

頭骨ノ構造ヲ基礎トセル日本北部産山椒魚ノ種類ニ就テ

同

第二卷 第一號

カンタンノ特殊染色體

オホツク海及其附近ノテインテイノイネア

「ヒルミ、ズ」類ノ一新屬新種ノ記載

同

第二號

分布上著名ナライソギンチヤクノ一種デアアドウメネ・ルキエノ日本ニ産スルコト

理學士 市川 純彦

農學博士 犬 飼 哲 男

農學博士 落 合 盛 吉

農學博士 小 熊 捍

農學博士 小 熊 捍

理學博士 内 田 亨

理學博士 内 田 亨

理學士 中 川 純彦

理學士 中 川 純彦

農學博士 犬 飼 哲 男

農學博士 犬 飼 哲 男

農學士 牧野 佐二 郎

農學士 羽 田 良 禾

農學士 山 口 英 二

南千島産蜘蛛類一、捉摺島産真正蜘蛛類
北日本産數種ノ山椒魚ノ染色體數

同

第三號

理學博士 内田 亨
農學士 齋藤 三郎
農學士 牧野 佐二郎

南千島産蜘蛛二、色丹島産真正蜘蛛類

カムチヤツカ近海産水母類

大文字水母ノ一種タウマトスキフス、デイステインクツスノ形態ニ就テ

蛙ニ於ケル罌丸移植ト雌性ニ就テ

同

第四號

理學博士 マイルス・エル・ヒール
農學士 齋藤 三郎
理學博士 内田 亨
理學博士 内田 亨
理學博士 花岡 謹一郎
理學博士 内田 亨

山椒魚ノ皮膚呼吸ニ就テ

日本産多毛類アクロキルス屬ニ就テ

十文字水母ノ二種ノ解剖及ビ十文字水母類ノ日本ニ於ケル分布

スチラルチス及ビ其ノ近似屬ノ訂正及ビ

新種スチラクテラ(スチラクチス)エリイノ記載

同

第三卷 第一號

理學士 後藤 源太郎
理學士 奥田 四郎
理學博士 内田 亨
理學士 花岡 謹一郎
理學士 岩佐 正夫

ワルツプ産端脚類ノ一新種

毛翅類一種ノ雌性「ヘテロガメテイ」

色彩變化ニ富メル哺育性イソギンチャク

鯨寄生ノクジラジラミノ二種

同

第三卷 第二號

理學士 岩佐 正夫
農學士 牧野 佐二郎
理學士 吉條 久男
理學博士 内田 亨
理學博士 岩佐 正夫

サリガニノ染色體

カサカゲロウ科數種ノ染色體

本邦産ノ流水性水ダニ

同

第三卷 第三號

理學士 新山 英二郎
理學士 吉條 久男
理學博士 内田 亨

エゾサンセウチ卵ノ成熟及受精ニ關スル細胞學的研究

多毛類新種ノ記載

日本産ヒルミ、ズ科及其分類ノ改訂

同

第四卷 第一號

農學士 牧野 佐二郎
理學士 奥田 四郎
理學士 山口 英二

アメフラシノ腺ノ顯微鏡的研究

北海道産管住性環形動物ノ數種

生殖腺發生ヨリ視タル有尾類ノ半分化種類ノ一例

性ノ決定ニ關スル染色體ノ役割

日本産海星類ノ形態ニ關スル研究一

理學士 多羅尾 四郎
理學士 奥田 四郎
理學士 花岡 謹一郎
理學士 C. E. マックラング
理學士 林 長二

米國ペンシルベニヤ大學教授

○學位授與

赤色ヒドラトソノ細胞内カロチノイド消化

理學士 桑原滿壽太郎

○學位授與

學位令第二條ニ依リ本學ニ於テ學位ヲ授與セシ者左ノ如シ

農學博士

學位授與年月日	論文題目	族籍	氏名
大正二十一年九月二十日	特ニ議會討議ノ上ヨリ見タル米國土地問題ノ經過	北海道	中島九郎
大正二十一年九月二十日	養蠶労働問題	群馬縣	早川直瀨
大正二十一年五月三十一日	家蠶ニ於ケル絹絲分泌ノ形態學的研究	長野縣	山内源登
大正二十一年五月三十一日	蜜蜂殊ニ日本ノ蜜蜂殊ニ關スル研究	鳥取縣	徳田義信
大正二十三年二月十二日	「リゾクトニアソラニー」ノ生理學的研究	東京府	松本 巍
大正二十三年三月十三日	「テンナンセウ」ニ於ケル性ノ轉移現象ニ就テ	香川縣	前川徳次郎

大正十三年三月十七日	一、鼠「スヒロヘーテ」ノ研究 二、鼠咬症「スヒロヘーテ」ト鼠「スヒロヘーテ」トノ異同	岩手縣	葛西勝彌
大正十三年五月十九日	麥芽根ノ化學的成分殊ニ「ホルテニン」誘導體ニ就テ	鳥取縣	橋谷義孝
大正二十四年七月二十五日	亞麻ノ立枯病菌及炭疽病菌ノ生理ニ關スル比較研究	岩手縣	枅内吉彦
大正二十四年十二月十四日	「カセイソ」ニ關スル研究	福井縣	近藤金助
大正二十四年十二月十五日	花器脫離及剝落ニ關スル知見	北海道	並河 功
大正二十五年一月十六日	蕪藪ノ「マンナン」ノ物理化學的研究	北海道	三宅 捷
大正二十五年十二月二十五日	爬蟲類發生學ヘノ貢獻 第一「もりかなへび」ノ夙期發生現象	長野縣	犬飼哲男
昭和二年一月一日	東亞細亞大陸ニ於ケル家畜牛ノ系統的研究	廣島縣	望月瀧三
昭和二年二月二十二日	細菌ニ依ル蠶ノ敗血症ニ就テ	福岡縣	佐藤利一
昭和二年四月十二日	有尾類ノ尿生殖器系統	東京府	山極三郎
昭和二年四月十二日	麴菌ノ蛋白質分解酵素並澱粉分解酵素ニ就テ	北海道	大島幸吉

○學位授與

○學位授與

九昭和四月五日	九昭和四月五日	九昭和四月五日	八昭和五月二十一日	五昭和五月二十九日	三昭和五月十一日	五昭和五月三日	十昭和三月三十一日	八昭和三月二十五日	七昭和二月二十五日	七昭和五月二日
臺灣産螟蛾科ノ分類學的研究	高等植物根系ニヨル「アムモニヤ」及硝酸ノ吸收ニ就テ	クロム製ニ關スル物理學的研究	特ニ禾本科植物花粉ノ人工發芽ニ關スル花粉ノ生理學的研究	日本産漆ノ酸化酵素「ラクカーゼ」ニ就テ	蟲癭生成芽蟲類及其等ノ蟲癭ノ研究	「リゾープス」屬菌類ノ智識ニ對スル一貢獻	臺灣ニ於ケル赤色土ノ化學研究	臺灣稻ノ育種學的研究	家兎ニ於ケル黃體生成ニ就テ	稻ノ不稔性ノ遺傳ニ關スル研究
青森縣	民中國華	廣島縣	岐阜縣	東京府	岩手縣	京都府	北海道	廣島縣	福岡縣	山形縣
澁谷甚七	羅宗洛	澤山智	後藤一郎	角倉邦彦	門前弘多	山本義彦	澁谷紀三郎	磯永吉	倉重四郎	石川潤一

九昭和四月五日	十昭和二月九日	四昭和六月十六日	一昭和七月二十八日	一昭和七月二十八日	二昭和七月十五日	二昭和七月十五日	三昭和七月三十一日	三昭和七月三十一日	三昭和七月三十一日	四昭和七月十八日
日本産姬蜂ノ研究報告	オランダイチゴ屬ノ遺傳ニ關スル研究	桃樹癌腫病一名枝枯病	薯蕷ノ根塊ノ粘質物ニ就テ	麴ヂヤスターゼノ本質ニ關スル研究	日本産象鼻蟲科ノ研究	泥負蟲ノ形態並ニ生態ニ關スル研究 併セテ分類學上ノ研究ヲ論ズ	蒙古脂肪尾羊ト「ラムアイエー・メリノー」種トノ交配試験	特ニ毛質及ビ毛量ノ遺傳ニ就テ	印度カンクレーシ肩蜂牛ニ關スル研究	合成糞劑ニ關スル研究
埼玉縣	山形縣	山形縣	北海道	北海道	長野縣	北海道	兵庫縣	香川縣	東京府	長野縣
内田登一	市島吉太郎	富樫浩吾	高橋梯藏	伊藤光治	河野廣道	桑山覺	香村岱二	柳川秀興	大木洋	松山茂助

○學位授與

○學位授與

四昭和 四月十八日	大豆蛋白質及大豆油ニ關スル研究	香川縣	中島顯三
九昭和 九月十六日	オクラ、黃蜀葵ノ種間雜種ニ就テ實驗遺傳學的並ニ細胞學的研究	北海道	手島寅雄
二昭和 二月十七日	煙草生體ヨリ揮發スル鹽基物ノ化學的研究並ニ其物質ガ蠶兒ニ及ホ ス中毒現象	靜岡縣	長谷川浩
三昭和 三月八日	鮭卵ノ生化學的及膠質化學的研究	三重縣	高田幸二
四昭和 四月十三日	高等植物ニ於ケル再生現象知見寄與	和歌山縣	掛下謹次郎
四昭和 四月二十一日	本邦在來犁ニ關スル研究	鹿兒島縣	森周六
八昭和 八月八日	中部千島植物	神奈川縣	館脇操
八昭和 八月八日	採織用亞麻ニ對スル施肥問題ノ解決ト其理論的考察	秋田縣	大貫吉之助
十昭和 十月十八日	綠麥芽ノ蛋白質分解脂素ニ關スル研究	北海道	佐藤正一
二昭和 二月九日	二三ノ禾本科植物脂油ノ化學的研究	愛知縣	伊藤半右工門
三昭和 三月十二日	粟さくら病ノ菌學的並病理學的研究	新潟縣	樋浦誠

四昭和 四月二十四日	大日本帝國産叩頭蟲科	三重縣	三輪勇四郎
六昭和 六月十八日	稻ノ萎縮病ニ關スル研究	青森縣	福士貞吉
四昭和 四月十一日	落花生ノ形態學的及生理學的研究	北海道	澁谷常紀
八昭和 八月十五日	清酒ノ火落菌ニ關スル研究	愛媛縣	大谷義夫
林學博士			
大正 七月十三日	氣象要素ノ樹木生長ニ及ホス影響ニ就テ	北海道	中島廣吉
大正 三月十九日	林木ノ生長ト陽光ノ強度トニ關スル數理的研究	山口縣	影山純介
大正 七月十五日	修羅運材ニ於ケル合理的制動法ノ研究	石川縣	三浦第二郎
八昭和 八月三日	だふりかからまつノ天然更新ニ關スル研究	大阪府	後藤收藏
十昭和 十月三十一日	えぞまつ天然更新上ノ基礎要件ト其適用	北海道	佐藤義夫
三昭和 三月十一日	とどまつ及えぞまつ材ノ品質殊ニ彈性及強度ニ關スル比較研究	岐阜縣	大澤正之

○學位授與

○學位授與

昭和十五年三月十一日	朝鮮半島ノ苗圃ニ發生スル或種「コガネムシ」幼蟲ノ形態學及分類學的研究ヘノ貢獻	新潟縣	村山 釀造
昭和十五年九月十一日	溢流堰ノ提寇及表法面ニ於テ流下スル水ノタメニ生ズル靜水壓ノ大サ竝ニ公布ニ關スル研究	東京府	蓮見道太郎
昭和十六年二月二十八日	堰堤ニ於ケル水及流送物ノ落下ニ就テ	島根縣	西 力造
昭和十七年二月十五日	砂丘藤林ニ關スル研究	岐阜縣	原 勝
昭和十八年八月二十八日	日本産天牛科ノ知見	北海道	松下 眞幸
昭和十八年十一月十四日	森林美學ノ基本問題ノ歴史ト批判	北海道	今田 敬一
昭和十八年十一月十四日	天然林ニ於ケルとどまつ稚樹ノ消長ト森林土壤トノ關係ニ對スル研究	島根縣	石原 供三
昭和十九年四月十四日	森林火災保險 特ニ保險料率ニ就テ	廣島縣	八谷 正義
獸醫學博士			
大正十一年九月二十一日	炭疽菌ノ「カプセル」竝各種動物ノ炭疽菌ニ對スル感受性ニ就テノ研究附生理的食鹽水中ニ於ケル炭疽菌ノ運命	福岡縣	右田 百太郎
大正十三年三月十四日	酸菌ノ凝集反應ニ於テノ研究	東京府	田川 謙吉

昭和十三年七月十三日	健康家畜ニ於ケル血液ノ外観學的比較研究	北海道	小華和忠士
昭和十四年一月十一日	馬ノすくれろすとーむむ、ぶるが、れ蟲ニヨル病理學的知見	岩手縣	菊地賢次郎
昭和十四年三月十九日	臺灣牛ノ出血性膀胱炎	山形縣	宮本 曉 誕
昭和十四年六月二十四日	馬ノ早期妊娠鑑定ニ對スル腔検査殊ニ腔粘液ノ顯微鏡的検査價値ニ就テ	茨城縣	黒澤 亮助
昭和十六年四月六日	腺疫連鎖狀球菌竝ニ其ノ特異性ニ就テ	鳥取縣	小倉喜佐次郎
昭和十六年八月十六日	天然痘ト及羊痘トノ原因學的關係並ニ羊痘豫防接種ニ關スル研究	東京府	笠井 久雄
醫學博士			
大正二十二年四月二十七日	大脳皮質中有髓神經纖維出現ニ關スル研究	岐阜縣	平光 吾一
大正二十二年十二月二十四日	小腦發育障害ニ關スル研究	北海道	久保喜代二
大正二十三年二月九日	黃疸出血性「スヒロヘータ」病ニ於ケル急性循環機能不全ニ關スル實驗的研究	三重縣	小田 俊 耶
大正二十三年七月二十九日	組織血液間ニ於ケル水分及食鹽代謝ニ關スル實驗的研究	長野縣	百瀬 宗

○學位授與

○學位授與

大正二十三年七月二十九日	表皮細胞毒「エヒテルモトキシン」ノ病理學的研究	東京府	河合五郎
大正二十四年二月二十三日	實驗的肝創ニ移植セル生活組織ノ運命竝宿地ノ蒙ル影響ヲ叙シテ生活「タムボン」止血機轉ノ解説ニ及ブ	青森縣	神竹之助
大正二十四年二月二十七日	胃ニ到ル神經ト胃潰瘍治療トノ關係	大分縣	熊埜御堂進
大正十四年六月三日	赤外線ノ前房水及血清透過ニ就テ	新潟縣	難波剛平
大正十四年六月十九日	外科的領域ニ於ケル赤血球沈降速度竝其ノ本態的研究	東京府	清水亮
大正十四年十月七日	「レントゲン」線的分析法ニ依ル生物組織ノ原子的構造ニ關スル實驗的研究	千葉縣	廣瀬 奧
大正十四年十月七日	眼諸組織ノ特異性ニ關スル病理學的研究	東京府	佐藤達彌
大正十五年一月二十八日	「グリコエル」溶液ノ水素電極ニ對スル電位ニ及ボス中性鹽ノ作用	東京府	川井左京
大正十五年一月二十八日	一、水「アルコール」混合溶液内ニ於ケル弱電解質ノ解離ニ就テ 二、酸及「アルカリ」ノ化學的構造トノ關係 三、二價ノ酸ニ於ケル化學的構造ト「アルコール」解離度トノ關係 四、「メチルアルコール」内ニ於ケル弱電解質ノ解離	愛知縣	水谷通治
大正十五年三月十九日	蛋白質ノ物理化學的性状ヲ決定スル「フアクター」ニ就テ	北海道	箱崎孝平

大正十五年四月二十日	下水ニ於ケル「バクテリオファージ」ノ出現竝之ノ下水ニ對スル態度ニ就テ	山口縣	中島高一
大正十五年七月一日	無鉤纖蟲ノ發育ニ關スル研究	千葉縣	磯部美知
大正十五年七月二十一日	最近ノ「バクテリオファージ」結合ニ關スル實驗的研究	北海道	木村眞之助
大正十五年七月二十一日	硬固結締織ノ「クロモトロービー」ニ就テ	東京府	藤井保
大正十五年十二月二十五日	腦下垂體ノ分泌ニ關スル組織化學的研究	北海道	高橋 皓
昭和二年六月二日	一、等張溶液中ニ於ケル食鹽ノ吸收ニ就テ 二、高張性並低張性溶液ニ於ケル水分ノ腸内吸收ニ就テ	佐賀縣	大島康夫
昭和二年六月二日	一、白鼠ニ於ケル癌腫ノ内分泌腺器竝生殖腺ニ及ボス影響ニ就テ 二、膽石症ニ關スル實驗的研究 三、類上皮細胞及巨噬細胞形式ニ對スルくろまとふおーれんの意義 四、癌白鼠ニ於ケル腎臟ノ病理組織學的變化ニ就テ	北海道	鳥海照雄
昭和二年十二月十二日	臟器浸出液ノ血液及造血臟器ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究	愛知縣	田中一雄
昭和二年十二月十七日	膠質水酸化鐵ノ種々ノ電解質ニヨル沈澱ニ關シテ	北海道	高松泰三
昭和二年十二月十七日	「バクテリオファージ」ノ紫外線ニ依ル影響竝其ノ理化學的性状ニ關スル研究	栃木縣	水野 薰

○學位授與

二昭和 二月十七日年	膠質不則性沈ノ攻究	北海道	眞柳英馬
三昭和 三月七日年	眼内液體及腦脊髄液ノ血管ノ藥理學的性質	茨城縣	松岡喬
三昭和 三月二十三日年	白鼠腎臟出血後ノ增殖殊ニ絲球體ノ數及大サニ就テ	北海道	苑瀧實
四昭和 四月十二日年	水素「イオン」濃度ト電氣的二重層トノ關係ニ就テ	大阪府	山取瀧三
四昭和 四月十二日年	去勢ノコーベル氏腺ニ及ホス影響	東京府	中島謙太郎
七昭和 七月二十五日年	腦下垂前著腺細胞ノ核分割ニ就テ	東京府	馬島廣
七昭和 七月二十五日年	同種血球凝集現象ヨリ觀タル人體諸腺分泌液ノ個人性ニ就テ	千葉縣	白井三郎
八昭和 八月三日年	動物體內ニ於ケル「アルコール」成生	山形縣	青木惠盛
十昭和 十一月一日年	腸管ノ葡萄糖及水分ノ吸收機轉ニ就テ	北海道	松本剛太郎
十昭和 十一月一日年	種痘免疫ニ關スル實驗的研究	川神奈 縣	重田常清
十昭和 十一月十四日年	痘瘡並ニ牛痘「ウイルス」ニヨリ家兎腎丸ノ病理組織的變化ニ就テ	福島縣	大藤熊吉

十昭和 十一月十四日年	腎臟血管ノ藥理	東京府	尾崎正道
十昭和 十二月六日年	内分泌腺越幾斯並「ヒスタミン」ノ腺外分泌ニ對スル作用ノ實驗的研究	北海道	小野純一
一昭和 一月二十七日年	頸髓ノ前角細胞ノ分野ニ就テ並横隔神經起始核細胞ノ分野ニ就テ	東京府	矢ヶ崎勘七
三昭和 三月八日年	諸種藥物ノ腎臟瓦斯代謝ニ及ホス影響	長野縣	城下良平
三昭和 三月八日年	子宮粘液ノ週期性水素「イオン」波動	岩手縣	阿部慎吾
四昭和 四月三日年	テレル氏現象ト細菌ノ窒素代謝トノ關係ニ就テ	兵庫縣	岡本詰次
四昭和 四月三日年	蛋白質ノ狀態化學	静岡縣	安中清次郎
四昭和 四月十七日年	腸管吸收機轉ト其酸素消長ニ就テ	東京府	鮫島龍水
五昭和 五月十七日年	「スピロヘーテ」ニ對スル生體内剖地トシテノ腎丸ノ價値 「スピロヘーテ」ニヨル腎丸ノ變化並ニ腎丸内ニ於ケル「スピロヘ ーテ」ノ分布 種々ナル「スピロヘーテ」ノ「アレルギ」現象ニ就テ	群馬縣	新井俊雄
六昭和 六月十三日年	人血清内ニ存在セル同種血球凝集原ニ就テ	宮城縣	大内出

○學位授與

昭和十三年六月十三日	所謂「アボキシチス・カルカネイ」ニ就テ	秋田縣	松野朝造
昭和十三年七月十三日	副鼻腔蓄膿症(特ニ其膿汁)ノ消化作用ニ及ボス影響	千葉縣	淺岡惠太郎
昭和十三年七月十三日	多核肝細胞ノ意義 附大單核肝細胞ノ意義	北海道	齋藤節
昭和十三年七月十三日	網膜發生學上ノ一特種現象ニ就テ	新潟縣	阿部英世
昭和十三年八月十六日	網膜像ニ就テ	東京府	肥田野行
昭和十三年十月十八日	呼吸道ニ於ケル抵抗ノ呼吸ニ及ボス影響	和歌山縣	木下良順
昭和十三年十月二十三日	蛋白質ノ定性的反應ニ關スル攻究	北海道	尾形榮
昭和十三年十月二十三日	實驗的貧血恢復期ニ於ケル着色係數及「カタラーゼ」係數ノ觀測 並ニ其意義ニ就テ	島根縣	越智躬澄
昭和十三年十一月五日	乳腺ノ發育及退縮殊ニ乳汁分泌ノ生理ニ就テ	宮城縣	平田勇吉
昭和十三年十一月一日	膽汁内尿素排泄ニ關スル實驗的研究	廣島縣	倉木周三
昭和十三年十一月五日	家兎(レイプス・クニクルス)ノ毛様神經節細胞ニ就テ	山口縣	繼新

昭和十三年十二月十七日	骨端化骨現象及骨組織再生作用ニ及ボス血管外鞘交感神經切除ノ影響	千葉縣	伊藤金三郎
昭和十三年十二月十七日	腦血管ノ藥理	京都府	兵藤憲二
昭和十三年十二月八日	蜘蛛膜下腔ノ異物排除機轉ニ關スル實驗的並ニ解剖學及組織學的研 究	宮城縣	小山重正
昭和十三年一月十一日	一、痘毒免疫性血清ニヨル局所的被動性免疫ノ研究 二、天然痘ニ關スル眼疾患豫防ノ實驗的研究	長野縣	鎌倉政市
昭和十三年三月十九日	異種赤血球ノ靜脈内注射ニヨレル免疫ニ際シテ起ル家兎急性死ノ原因 的檢索	東京府	森重靜夫
昭和十三年三月十九日	創傷治療ノ物現化學的知見補遺	北海道	竹森弘
昭和十三年三月十九日	ゴルジ装置ニ立脚セル甲状腺ノ實驗的研究	鹿島縣	山下秀之助
昭和十三年三月十九日	角膜種痘免疫ノ成立ニ對スル新見	新潟縣	野村男也
昭和十三年四月二十三日	肝臟ノ門脈單位ニ就テ	熊本縣	中林重實
昭和十三年四月三日	兩性電解質「アムポリテ」ノ狀態化學	北海道	柴藤貞一郎
昭和十三年四月三日	南瓜ノ「カロチノール」ノ本態ニ就テ	北海道	安齋眞篤

○學位授與

○學位授與

八昭和 八月八日 年	八昭和 八月八日 年	八昭和 八月八日 年	七昭和 七月三十一日 年	七昭和 七月十六日 年	七昭和 七月十六日 年	六昭和 六月十八日 年	六昭和 六月六日 年	六昭和 六月三日 年	六昭和 六月三日 年	六昭和 六月三日 年
沃度代謝ニ就テ	血液ニ關スル實驗的研究	先天敵毒性角膜炎ノ血液學的研究	子宮血管ニ於ケル「クロモトロビー」ノ研究 附「クロモトロビー」ヨリ觀タル實驗的動脈硬變症ノ本態ニ就テ	副甲狀腺「ホルモン」ノ血液諸成分ニ及ボス影響ニ就テ	猩紅熱連鎖球菌ノ研究	腦組織ヲ宿地トスル正常組織ノ移植實驗	「ピリルビン」ノ新定量法及ビフアンテンベルグ氏法ノ批判	肝臟機能ニ就テ(第一回報告)	鳥卵ニ關スル研究	「リポイド」可溶性物質ノ腸管吸收機轉ニ就テ
栃木縣	石川縣	栃木縣	山形縣	福島縣	東京府	静岡縣	栃木縣	三重縣	愛媛縣	熊本縣
石川九	小原憲一	茂木宣	栗本春吉	大島四郎	森脇襄治	平野子平	桑川秀武	水谷喜次郎	多々良卓一	金子吉文

七昭和 七月十九日 年	七昭和 七月十九日 年	四昭和 四月十一日 年	四昭和 四月十一日 年	三昭和 三月二十七日 年	二昭和 二月二十六日 年	二昭和 二月二十六日 年	二昭和 二月二十六日 年	二昭和 二月二十六日 年	二昭和 二月二十六日 年	十昭和 十一月九日 年
生體內吸收試驗ニヨリ檢シタル臟器蛋白ノ血清學特異性ニ就テ	所謂種痘後腦脊髓炎ニ關スル實驗的研究	肺結核患者ノ基礎新陳代謝竝ニ二三藥物ノ之ニ及ボス影響	腸管ニ於ケル葡萄糖吸收曲線ニ就テ	骨折時ニ於ケル假骨形成ノ組織發生竝ニ假骨ノ軟骨組織ニ關スル實驗的研究	體液ノ表面張力ニ關スル知見補遺	「ヘモアグルチノイド」ノ「アヴィテイト」ニ就テ	實驗敵毒ニ於ケル免疫ノ發展ニ對スル初期硬結ノ意義	發熱ト「カタラーゼ」及肝臟トノ關係	神經節細胞ノ銀反能ニ就テ	胃機能ニ及ボス「インシュリン」作用ノ研究
秋田縣	青森縣	秋田縣	山形縣	東京府	新潟縣	東京府	長野縣	京畿道	東京府	山和縣
佐藤良藏	松田操	菊地清一	濱田貞一郎	横正男	權平豐三郎	吉田義雄	氣賀澤猛保	任明宰	鹽谷壽	瀧本庄藏

○學位授與

八昭和五日年	肋膜腔内水力吸收機轉ニ就テ	北海道	植田潔
八昭和五日年	急性中耳炎ニ關スル「アンチイールス」ノ局所治療的價值竝ニ其ノ局所免疫作用及特異性ニ對スル實驗的批判	山形縣	隱明寺盛善
八昭和五日年	銀反應ニ依ル腎臟ノ研究	福井縣	關健藏
八昭和五日年	ゴルヂー氏内網裝置ニ就テ	東京府	前田順平
九昭和五日年	徽毒患者血清ノ異種血球凝集反應ニ就テ	青森縣	五井陽
一昭和九日年	諸臟器内尿素組織化學的研究	北海道	柿田俊光
一昭和九日年	血球凝集阻止帶現象發現機轉研究補遺	北海道	小原正生
一昭和二六日年	鳩痘免疫血清中ニ含マレタル滅殺素ノ鳩痘免疫ニ於ケル價值竝ニ其ノ新證明法ニ就テ	岐阜縣	淺井幸
一昭和二六日年	家兎血清中ノ「ワツセルマン」氏反應物質ニ關スル研究補遺	北海道	高橋了造
二昭和四日年	副腎皮質ノ銀反應ニ就テ	北海道	園田千榮
三昭和六日年	膽汁酸ヨリ見タル膽汁分泌ノ實驗的研究	山梨縣	坂本勇

三昭和二日年	膽汁ノ反應調節作用ニ就テ	北海道	小川信一
三昭和二日年	癩ニ於ケル皮膚反應	北海道	林文雄
三昭和二日年	膠質ノ安定度ニ關スル研究	北海道	河邨百合人
四昭和六日年	非特異性凝集反應ノ本態ニ就テノ研究	新潟縣	梅田芳次郎
四昭和六日年	免疫血清ニ於ケル抗體ノ作用ト抗體作用阻止	鳥取縣	景山直
四昭和十五日年	新陳代謝異常ト甲状腺機能	山形縣	須賀井正謙
四昭和十五日年	「コレステリン」新陳代謝ト腦下垂體ノ關係ヲ論ジテ之ト他種内分泌腺トノ相互關係ニ及ブ	北海道	武田勝男
四昭和三十日年	腸管ノ葡萄糖吸收ニ及ボス「アルコール」ノ影響	三重縣	片山總太郎
四昭和三十日年	「コレラ」菌培養ニ於ケル「メヂウム」ノ反應變化ノ機轉ニ關スル研究	青森縣	木村正一
四昭和三十日年	赤血球膠着現象竝ニ此レニ隨伴スル特異溶血ノ本態ニ關スル研究	新潟縣	宮川知平
四昭和三十日年	笈狀骨緻密質ノ構造ニ就テ	岩手縣	横川貞夫

四昭和三十年	網狀織内被細胞系統填塞ト胆汁酸分泌トノ關係	山梨縣	三神壽
四昭和三十年	氣管支喘息患者ノ瓦斯代謝竝ニ其ノ頸部交感神經節狀索切除術ニ依ル瓦斯代謝ノ變遷ニ就テ	北海道	三宅演
六昭和九年	「トラホーム」性組織ニ於ケル微生物ノ培養ニ於テ	北海道	野上尙志
六昭和九年	炭肺ト肺結核(炭鑛ノ肺結核)	新潟縣	白川玖治
六昭和五年	血精結核補體結合反應ニ關スル研究	秋田縣	山科清三
六昭和六年	前房水、血清、尿及腦脊液ノ紫外線吸收ニ就テ	長野縣	田村茂美
六昭和六年	靜脈性空氣栓塞死ノ實驗的研究	新潟縣	山本修吾
六昭和三十年	創傷治療ニ關スル研究	富山縣	奥田義正
八昭和二十六年	人工氣胸ト組織反應ニ關スル研究	秋田縣	木村亮藏
九昭和四年	赤血球注射ニヨル家兎急性死ニ際シテ起ル各徵候ニ就テ	茨城縣	直江六三郎
九昭和四年	動物ノ油脂ニ關スル研究	福島縣	根本六郎

九昭和四年	植物性機能検査ニ對スル灌流實驗ノ可否	岡山縣	服部光平
九昭和六年	我が國ニ於ケル工業性鉛中毒ニ就テ	京都府	櫻田儀七
九昭和六年	一新寒性溶血毒ノ研究	宮城縣	豐島勝男
九昭和二十八年	鷄ノ動脈硬變症ニ就テ	新潟縣	田村要太郎
十昭和十七年	腎臟結核ノ病理發生ニ關スル實驗的研究	青森縣	窪田歷三郎
一昭和二十八年	血清ノ酸結合ト蛋白誤差	北海道	吉川弘一
一昭和二十八年	豚大腦表面形態發育ノ研究	青森縣	中澤晉吉
一昭和二十八年	蛙皮ノ電氣分極容量ニ對スル麻醉藥ノ作用ニ關スル研究	宮城縣	佐々木清輝
二昭和十七年	窒息ニ關スル研究	宮城縣	佐々布武
二昭和十七年	肝膽道疾患ニ於ケル胆汁酸分泌ニ就テ	北海道	藤川芳三郎
二昭和十五年	食品蛋白質ニ關スル研究	栃木縣	石原亮平

○學位授與

昭和十七年 二月十五日	皮膚ヲ通シテノ電解質擴散速度ニ及ボス「カチオン」並ニ非電解質ノ影響ニ就テ	東京府	清野信昌
昭和十七年 二月十五日	外科的結核ニ於ケル牛型結核菌ノ感染ニ就テ	山形縣	松澤靖介
昭和十七年 二月二十六日	蛙皮ノ電氣分解量ト興奮トノ關係	埼玉縣	齋藤省三
昭和十七年 二月二十六日	Magnesiumionumphosphatノ結晶生成ニ關スル研究	北海道	鮎川武一郎
昭和十七年 二月二十六日	家兎胃ノ葡萄糖吸收ニ就テ	北海道	神保恒春
昭和十七年 三月一日	營養素ノ扁桃腺ニ及ボス影響ニ就テ	東京府	猿渡二郎
昭和十七年 三月一日	細菌性「カゼイナーゼ」及ビ抗「カゼイナーゼ」ノ種屬特異性ニ就テ	福島縣	大庭榮雄
昭和十七年 三月一日	血液血管作用並ニ子宮作用ニ及ボス發熱ノ影響ニ就テ	北海道	大村喜作
昭和十七年 三月三十一日	胎兒毒並ニ胎兒浸出液ノ分娩發表ニ及ボス影響	北海道	三井孝夫
昭和十七年 四月十二日	家兎腸管ニ於ケル Amino 酸ノ吸收ニ就テ	栃木縣	石川房吉
昭和十七年 四月十二日	筋纖維ト腱纖維トノ連接ニ就テ	大分縣	中臺元治

昭和十七年 五月十七日	胃液分泌機能ト血液「クロール」及ビ「ナトリウム」トノ相互關係ニ就テ	千葉縣	村松正雄
昭和十七年 六月一日	結核ニ於ケル血液脂肪並ニ類脂肪量特ニ人工氣胸ノ及ボス影響ニ就テ	静岡縣	宮澤孝
昭和十七年 六月二十三日	「インザクカルミン」ノ腎臟排泄ノ組織學的研究	富山縣	宮林慶介
昭和十七年 八月一日	「モルフイン・スコボラミン」痲醉ト酸鹽基平衡	三重縣	澤田平十郎
昭和十七年 八月十六日	循環血量ニ對スル肝臟ノ意義	北海道	安保壽
昭和十七年 九月二十六日	白血球像ヨリ觀タル蟲樣突起炎	埼玉縣	根岸喜代助
昭和十七年 九月二十六日	組織固定液反應ノ差異ト組織色素嗜染性トノ關係ニ就テ	北海道	加藤康吉
昭和十七年 九月二十六日	蛙皮ノ電氣分極容量ト溫度關係	滋賀縣	辻茂三
昭和十七年 九月二十八日	牛痘「ウイルス」ノ培養ニ關スル基礎的研究	北海道	角江重雄
昭和十七年 十二月十二日	痘毒沈降反應ノ本態ニ關スル研究	北海道	不破秀三
昭和十七年 十二月十二日	虛脫肺ニ於ケル血管ノ「レ」線學的研究	新潟縣	平澤有路

○學位授與

○學位授與

昭和二十七年十二月二十六日	イオンノ濃度ニ關スル生化學的攻究	兵庫縣	難波董
昭和二十七年十二月二十六日	婦人子宮頸管分泌液ヨリ培養セル濾過性微生物 Microorganism filter- sus. In.ノ研究	長崎縣	松本茂雄
昭和二十八年一月十八日	腦毒ノ研究	川神縣	町田三郎
昭和二十八年一月十八日	産婦人科領域ノ資料ニ依ル各種液體ノ紫外線吸收「スペクトル」ニ 關スル研究	新潟縣	廣田戸七郎
昭和二十八年一月二十八日	沃度代謝ト消化器トノ關係	青森縣	高杉年雄
昭和二十八年二月十七日	「グアニジン」ノ生體ニ及ボス影響	山和縣	華岡雄太郎
昭和二十八年二月十七日	氣管支喘息ノ外科	東京府	玉眞俊雄
昭和二十八年二月十七日	副腎皮質抽出液注射ノ生體ニ及ボス影響	山梨縣	小野修
昭和二十八年二月十八日	血清ノ所謂乾物質ニツキテノ研究	北海道	西島龍
昭和二十八年三月八日	死胎兒稽留ニ關スル實驗的研究	新潟縣	田村吉之助
昭和二十八年三月八日	動物試驗ニ依ル結核菌早期證明法ニ關スル一考察	北海道	水島宣

昭和二十八年三月八日	人腦ノ Clastum ノ形態學的研究	北海道	福島正義
昭和二十八年三月八日	腎臟ノ酸素消費量ト其ノ流血量	樺太	和田文治郎
昭和二十八年四月一日	小腸ニ於ケル尿素吸收ニ關スル研究	東京府	大木文雄
昭和二十八年四月十三日	兒童營養指數ノ研究	岩手縣	南浦邦夫
昭和二十八年四月十三日	大脳嗅結節ニ存在スル顆粒細胞群ニ就テ	宮城縣	鎌田嚴
昭和二十八年四月二十日	イオンノ活動性ニ對スル電解質ノ作用ニ就テ	岡山縣	川島淳
昭和二十八年五月十三日	實驗的腸閉塞論	青森縣	竹村文祥
昭和二十八年五月十三日	組織球性細胞ニ於ケル銀反應ノ消長ニ就テ	北海道	渡邊金次郎
昭和二十八年五月十三日	痘毒免疫血清ノ滅殺素ノ作用ニハ補體ヲ必要トスルコトノ證明	北海道	飯田博
昭和二十八年五月二十二日	異種菌間ノ徑口免疫ニ關スル基礎的研究	石川縣	塚田治作
昭和二十八年八月八日	血壓ノ腓液分泌ニ及ボス影響ニ就テ	北海道	西村榮吉

○學位授與

○學位授與

七昭和 七月一日年	鹽母ヲ以テセル血清學的研究	福島縣	黒澤 俊祐
七昭和 七月二十七日年	遊離骨膜移植ニ關スル實驗的研究	石川縣	篠原 一幸
八昭和 八月一日年	「アンチヒリン」ノ藥理學的知見補遺	北海道	佐藤 幸吉
八昭和 八月八日年	「トラホーム」ニ於ケル喰菌現象ト血糖ニ就テ	熊本縣	徳永 守成
八昭和 八月八日年	唾液腺ノ機能ト其流血量トノ關係	北海道	泉 恒雄
八昭和 八月八日年	炭礦夫ノ基礎新陳代謝ニ關スル研究	青森縣	武内 太三郎
九昭和 八月一日年	感受性臟器ト病原體増殖ニ關スル原因的研究	岩手縣	本多 末雄
九昭和 八月一日年	蓄電器放電及充電法ニヨル運動神經興奮傳導速度測定法並蛙坐骨神經ニ於ケル其實驗結果ニ就テ	青森縣	中 村 勉
九昭和 八月八日年	Cholepept トシテノ組織特ニ皮膚ノ意義ニ就テ	栃木縣	田 谷 利男
九昭和 八月八日年	Corpus Luyssi ノ比較解剖學的研究	新潟縣	小野 昌信
九昭和 八月八日年	實驗的腎炎ニ於ケル特種鹽素排泄關ニ關スル研究	北海道	重松 保彦

九昭和 八月十日年	痘毒ニ對スル臟器組織ノ親和性ニ就テノ研究	北海道	田 中 壽
九昭和 八月十日年	紫外線照射血輪血ノ研究	熊本縣	深 水 助入
十昭和 八月十四日年	「ヒヨリン」ニ關スル實驗的研究(生體內ノ「ヒヨリン」ニ就テ)	北海道	青 木 徹
十昭和 八月十八日年	臨牀的心理検査法ニヨル進行性癱瘓症ノ研究	宮城縣	石 橋 俊實
十昭和 八月十八日年	内分泌腺ノ組織化學的研究	千葉縣	伊 藤 平格
十昭和 八月十八日年	肺血管ニ對スル「アドレナリン」ノ作用特ニ氣管支筋ヘノ影響ヲモ考慮セル實驗的研究	群馬縣	井 田 敏雄
十昭和 八月十八日年	生體酒精ニ關スル實驗的研究	北海道	谷 藤 八太郎
十昭和 八月十八日年	塵埃吸入ト肺炎双球菌經氣道感染トノ關係ニ就テノ實驗的研究	北海道	佐々木 憲介
一昭和 九月六日年	腸結核ト肝結核トノ關係並ニ腸結核力肝臟ノ組織像ニ及ボス影響	新潟縣	佐 藤 次郎
一昭和 九月二十六日年	利膽劑ノ肝臟組織呼吸ニ及ボス影響ニ就テ	徳島縣	中 川 日出雄
一昭和 九月二十六日年	水芭蕉ノ有毒物質ニ關スル藥理學的研究	大阪府	久野 順二郎

○學位授與

一昭和 二月二十六日	二十日鼠ニ於ケル實驗的「ウイタミン」A欠乏症及ビ「ウイタミン」C欠乏症特ニ眼症狀ノ發現ニ就テ	福岡縣	淺野修
二昭和 二月七日	「バラチフス」B菌ノ腸管免疫ニ關スル研究	北海道	豊福豊
三昭和 二月七日	利膽作用ガ肝臟異物排除機能ニ及ボス影響ニ就テ	山梨縣	飯室進
四昭和 三月五日	毛髮ノ性別及ビ「チスチン」硫黃ノ含有量ニ就テ	三重縣	久野英一
五昭和 三月五日	摘出結核腎ノ病理解剖學的研究	千葉縣	波戸定吉
六昭和 三月九日	膿ノ毒性ニ關スル實驗的研究	大分縣	増村隆也
七昭和 三月九日	手術後患者ノ基礎代謝營養狀態並ニ基礎代謝ニ及ボス「インシュリン」ノ影響	青森縣	長内丑右衛門
八昭和 三月十四日	糞便滲出液ト腸内病原菌トノ生體ニ及ボス共力作用ニ就テ	北海道	青木市太郎
九昭和 三月十六日	異種血精注射ニヨル過敏症様「シヨック」ノ研究	秋田縣	川又選太郎
一〇昭和 三月十六日	胎兒「レ」線撮影ノ研究	新潟縣	小川玄一
一一昭和 三月十六日	腸管葡萄糖吸收ト水素「イオン」濃度	山梨縣	神島辰雄

一昭和 三月九日	溶血血清ノ溶血阻止力	石川縣	水上秀雄
二昭和 三月九日	ヘス氏示差瞳孔鏡ニヨル瞳孔反應ノ研究	東京府	大山恭次郎
三昭和 三月九日	食物ト菌ノ毒力トノ關係	東京府	谷口正弘
四昭和 三月九日	「アベルチン」注射ト肝臟機能トノ關係ニ就テ	山形縣	小林辰雄
五昭和 三月二十二日	皮膚腺神經(蛙)ノ刺戟生理學的研究	宮城縣	鈴木一郎
六昭和 三月二十二日	腰薦部後椎穹骨缺損ニ關スル研究	長野縣	伊藤平
七昭和 三月二十二日	痘每補體結合反應並ニ沈降反應ノ特异性ノ吟味	茨城縣	山口夷甫
八昭和 三月二十日	利尿劑ノ膽汁分泌ニ及ボス影響並ビニ該分泌ト水血症トノ關係ニ就テ	北海道	久保茂雄
九昭和 三月二十日	葡萄狀球菌ノ生物學的研究補遺	埼玉縣	吉原啓市
一〇昭和 三月七日	狂犬病補體結合反應ノ本態的研究	福岡縣	平井喜雄
一一昭和 三月七日	組織呼吸及ソレト組織ノ形態學的變化おきたーゼ反應及水素いおん濃度トノ關係	山梨縣	中村弘

七昭和二十日年	七昭和二十日年	五昭和十四日年	五昭和十四日年	五昭和十六日年	四昭和八日年	四昭和八日年	三昭和十一日年	二昭和十四日年	二昭和十四日年	二昭和十四日年
「オホトリカプト」中毒ノ實驗的研究	種痘「アレルギー」ニ關スル新知見	女性並ビニ雌性生殖器結核ニ關スル臨床的並ビニ實驗的研究	非病原性異種細菌(變形菌)ニ依ル免疫學的研究	蛙皮ノ電氣分極容量ニ對スル稀土鹽類三價陽イオンノ作用及其ノ膠質化學並細胞透過性學ヨリ觀タル義解ニ就テ	腦脚内核ノ比較解剖學的研究	實驗的窒素息血液中ノ「ヒヨリン」様物質ノ消長ニ就テ	「ウレアーゼ」反應ノ化學力學ニ關スル研究	大腸ニ於ケル吸收作用ニ就テ	諸種組織ノ眼前房内移植ニ關スル實驗的研究	吸着阻止ノ方法ニ關スル研究
北海道	山形縣	茨城縣	福井縣	宮城縣	北海道	靜岡縣	廣島縣	兵庫縣	靜岡縣	廣島縣
南部敏三	今川六郎	石井碩	杉本榮一	蓬田清治	松本健爾	西田貫道	田村準一	前川昌三	丹羽松一	谷川昇

七昭和二十日年	七昭和二十日年	八昭和十五年	八昭和十五年
食餌ト膽汁並ヒニ膽汁酸分泌トノ關係ニ就テノ實驗的研究	尿中ニ於ケル「チスチン」ニ關スル研究	B. C. G. 接種動物ノ異種細菌感染防禦ニ關スル實驗的研究	腸「チフス」ニ於ケル腸内細菌ノ研究殊ニ腸チフスノ經過ニ及ホスウエルシエ氏菌ノ影響ニ就テ
埼玉縣	北海道	東京府	岩手縣
深谷慶治	神谷虎二	田村正	富澤武雄

○學生及生徒姓名

第一 大學院學生

農學部ニ屬スル學科ヲ修ムル者		農業微生物ノ研究	(昭五、六、二)	入學	醫學士	吉村	貞彦	北海道
昆蟲學	(昭六、五、四)	入學	醫學士	渡邊	千尙	關		
農政學	(昭六、五、四)	入學	醫學士	伊藤	俊夫	北海道		
農產製造學	(昭六、五、一八)	入學	農學士	劉伯	文	中華		
醫學部ニ屬スル學科ヲ修ムル者		內科	(昭八、一一、一三)	入學	醫學士	原	順	吉
法醫學	(昭八、一一、一三)	入學	醫學士	瀧	谷	一	順	吉
小兒科	(昭八、一二、二七)	入學	醫學士	實	藤			保
病理解學	(昭九、五、五)	入學	醫學士	有	泉	金	源	山
衛生學	(昭九、五、二八)	入學	醫學士	中	島	吉	已	京
小兒科	(昭九、六、三〇)	入學	醫學士	斗	夕	澤	賢	治
內科	(昭九、六、三〇)	入學	醫學士	改	田	丈	夫	北
產婦人科學	(昭九、一〇、二六)	入學	醫學士	高	橋	一	雄	北
外科	(昭九、一一、一二)	入學	醫學士	清	水	重	也	三
法醫學	(昭九、一一、二七)	入學	醫學士	清	水	重	也	三

內科	(昭一〇、四、一〇)	入學	醫學士	有	末	四	耶	北
理化	(昭八、六、二六)	入學	理學士	牛	澤	道	耶	北
有機化學	(昭八、六、二六)	入學	理學士	梅	澤	純	夫	塔
海星類ノ形態學的研究	(昭九、五、七)	入學	理學士	林	良	二	富	山
脊椎動物ノ發生學的研究	(昭九、五、一八)	入學	理學士	廉	嶋	武	夫	北

第二 農學部學生

農學科

第三年目

澤田 吉忠	北海道	清水信太郎	東京	藤森 和夫	長野	橋本 敏一	大阪	久光	衛	北海道
安孫子 孝一	北海道	安藤千代藏	北海道	加藤 慶治	北海道	菊地幸永治	秋田	小立 文彦	東京	
石川 忠彦	秋田	片山 廣	京都	王 仲彦	關西	小野 美雄	山梨	佐野 清	東京	
森田 弘	關西	南郷 茂里	東京	宇田川 德雄	千葉	和田 忠雄	北海道	山口 輝武	新潟	
曾我 滿義	愛知	富本 誠	北海道							
横田 廉一	滋賀	座間 四郎	千葉							

昭和九年入學

阿部 久也	北海	星野 達三	北海	井口 眞造	宮城	今井 謙三	山形	徐 先	盛岡
貝塚 久夫	神奈川	兒玉 宗敏	宮崎	國分 貞雄	宮城	香宗我部 修	東京	三上 馨	宮城
宮澤 正宣	新潟	中野 舜司	北海道	西村 直祐	京都	大河内 正明	東京	大幸 正二	石川
佐伯 千春	鳥根	齋藤 知行	北海道	澁谷 紀起	北海道	渡邊 一郎	山形	渡邊 將	山形
山吹 藤男	北海道	吉宮 幸彦	北海道						

昭和九年入學

和田源二郎 北海道

昭和十年入學

足立 龍愛	鳥取	福地 文平	北海道	一柳 直通	神太	飯久保 昌一	兵庫	井上 琢司	群馬
加地 眞	北海道	金 命	群	北村 武重	高知	小玉 資雄	北海道	小島 寛	北海道
楠 隆	關井	松平 悌	東京	大泉 正尙	北海道	齋藤 元一	北海道	坂元 喬	青森
佐藤 健次郎	岩手	須田 虎雄	北海道	杉 穎夫	東京	高橋 俊行	東京	武内 英男	北海道
田野崎 罔夫	岩手	辻 秀人	岡山	上田 虎夫	大阪	安井 三郎	岡山		

農業經濟學科

第三年目

昭和八年入學

足羽 進三郎	北海道	稻 盛	鹿島	吉見 一郎	宮城	菊池 健作	岩手	前田 健二	北海道
眞木 日出光	岡山	望月 信威	北海道	村田 學	鹿島	下川 重義	長野	住田 純三	北海道
瀧本 久雄	北海道	田下 健治	北海道	塚島 眞治	北海道	渡邊 一美	關	渡部 哲男	北海道

昭和九年入學

渥美 慶彦	北海道	石川 正春	秋田	小岩 武	北海道	洪 達	群	河内山 計治	山口
工藤 元	北海道	黒澤 眞雄	北海道	前田 三郎	北海道	關口 阿喜四郎	埼玉	鹽 澤	清 大阪
竹浪 秀明	北海道	渡邊 正三	新潟	山崎 壽	關	柳内 正三	北海道		

昭和九年入學

中村 三郎 北海道

昭和十年入學

大刀 豐	北海道	藤井 一夫	關島	飯塚 馨	群馬	池 善英	新潟	伊東 三郎	千葉
岩崎 寛治	北海道	神 英雄	北海道	水谷 正憲	關島	永野 宗	宮城	南部 直富	青森
桶本 勝登	廣島	齋藤 敬三	宮城	澁江 東雲	北海道	曾我 俊一	岐阜	末松 和彦	北海道
鈴木 徳彌	神奈川								

農業生物學科

第三年目

昭和七年入學

米澤 二夫 京都

昭和八年入學

張際 中滿洲

第二年目

昭和八年入學

岡田四五郎 東京

昭和九年入學

段永 嘉爾洲

第一年目

昭和十年入學

鈴木直治 神奈川

小村達夫 島根

農藝科化科

第三年目

坂口 精島 取

澤本孝久 東京

成田武四 大分

岩田健一 北海道

西圭一 神奈川

小宮書之助 關

安文 關

高橋喜夫 東京

太田嘉四夫 關

牛澤啓二 北海道

兼子正 北海道

星野龍策 新潟

笠原秀夫 北海道

永井肇造 東京

岡崎正一 高知

山田實 北海道

堀俊郎 新潟

加藤長策 大阪

內藤正一 北海道

奧田教廣 新潟

橫井一 愛知

昭和七年入學

中本泰夫 鳥取

昭和八年入學

瀧美喜代治 千葉

昭和九年入學

飯塚英夫 長野

昭和十年入學

川上成多 神奈川

第二年目

昭和七年入學

中島決 埼玉

昭和九年入學

清水光一 東京

昭和十年入學

橋本靖彦 福井

昭和七年入學

阿部揆一 北海道

昭和九年入學

伊藤信夫 新潟

昭和十年入學

宮坂助久 長野

昭和七年入學

曾我雅人 神奈川

昭和九年入學

山本秀郎 岩手

昭和十年入學

安達忠雄 北海道

昭和七年入學

岩井巖 北海道

昭和九年入學

○學生及生徒姓名 農學部 農藝化學科

○學生及生徒姓名 農學部 林學科

藤本 周郎 關 羽賀 正新 關 原 現吉 東京 飯田 毅 宮城 石井 昌長 北海道
 石崎 七郎 愛媛 加太 孝男 東京 加藤 修二 秋田 川島 次夫 東京 兩角 信次 北海道
 中埜 章吉 愛知 岡 克明 山口 岡澤 右二 東京 奧田 時哉 關 佐藤 錠二 宮城
 外岡 鐵男 神奈川 高田 虎之助 東京 高橋 信也 北海道 田中 真一 北海道 田中 新二 京 都
 斗ヶ澤 宣久 岩手 矢田 興之助 北海道 山村 利夫 京都 山谷 幸之助 北海道 安田 虎一 石川

林 學 科

第三年目

昭和八年入學

小松 正光 秋田 松山 望 東京 水谷 光雄 北海道 大味 新學 北海道
 澤田 博 北海道 杉山 茂 宮城 高橋 四郎 北海道 高 樋 勇 長野

第二年目

昭和八年入學

阿出川 正雄 東京 濱武 規夫 北海道 平野 孝二 京都 木村 茂 青森 宮田 泰 北海道
 内藤 旭 愛知 中田 功 北海道 中川 力 東京 中野 正彦 北海道 小 熊 米 雄 北海道
 高松 重親 東京 若山 滋 山口 矢内 健三 福島 電王 長 富 福 洲

曳地 政雄 北海道

昭和九年入學

濱武 規夫 北海道

中田 功 北海道

若山 滋 山口

第一年目

昭和十年入學

青木 弘 北海道 伊達 信義 東京 濱崎 好美 德島 今村 一喜 廣島 小林 國夫 三重
 中澤 孝信 北海道 岡崎 正一 北海道 菅沼 進幸 北海道 武田 武臣 神 太 玉木 捨巳 北海道
 田中 英治 北海道 豐山 千蔭 青森 渡邊 杉吉 耶 島 根

畜産學科第一部

第三年目

昭和七年入學

大條 方義 宮城

昭和八年入學

下條 菊五郎 東京 林 達 男 長野 伊福部 勳 鳥取 關 增 祿 瀨 洲 神野 悅三 滋 賀
 松本 重二 夏 秋田 大池 清福 岡 大原 久友 富山 瀧本 八郎 北海道 土田 鶴吉 秋田
 山崎 嘉四男 和歌山 横地 稔 京都

第二年目

昭和八年入學

長尾 九八郎 青森

昭和九年入學

淺野 秀雄 愛知

飯田 隆 北海道

井上 康雄 福 岡

糟谷 武輝 兵 庫

前野 正久 北海道

○學生及生徒姓名 農學部 畜産學科第一部

○學生及生徒姓名 農學部 畜産學科第二部

丸杉孝之助 關 松野 政吉 北海道 岡田 重治 兵庫 大山 恭夫 廣島 佐久間 大三 佐賀
仙田 久芳 北海道

第一年度

本野 正一 京都 昭和九年入學
山田 精一 北海道

昭和十年入學

廣瀬 可恒 兵庫 石橋 恭一郎 岡山 石波 郁夫 神奈川 鎌田 壽一 德島 小林 正薰 北海道
小山 智雄 滋賀 三村 耕 北海道 園田 治三郎 東京 菅野 盛一 東京 鈴木 敏夫 千葉
高井 久芳 新潟 竹内 榮一 北海道 富岡 治郎 秋田

畜産學科第二部

第三年度

昭和八年入學

早川 晋八 岐阜 日比 重元 東京 岸田 益雄 北海道 小島 悅吉 東京 大屋 正二 島根
關 毅 一 岩手

第二年度

波多野 弘 岩手 昭和九年四月入學 平賀 即稔 福島 村瀬 信雄 北海道 嵯峨 隆 北海道 佐々木 忠秋 田
澁谷 周平 東京

第一年度

昭和十年三月入學

間 悌三 新潟 濱田 輔一 北海道 一浦 與一 京都 伊藤 周一 秋田 金口 量太 慶島
關根 頗堯 埼玉 鈴木 啓介 愛知 山下 正亮 北海道

專攻生

牛 學 常 堯 關 洲
應 用 菌 學 希 有 光 中 華
馬 學 施 光 燿 中 華
農 業 微 生 物 學 黃 朱 農 中 華

第三 農學實科生徒

第三年度

安部 正毅 北海道 田 繫 福 關 洲
井 口 恂 北海道 家 入 生 雄 熊本 稻 川 利 男 岐阜 伊 藤 正 輔 山口 橋 本 佳 三 北海道
金 田 潤 一 新潟 菊 田 武 芳 關 島 今 野 善 雄 宮 城 森 口 四 郎 北海道 井 藤 正 一 岩 手
仲 芳 夫 北海道 中 野 源 治 北海道 中 尾 寅 造 北海道 內 藤 孝 彦 三重 盛 田 廣 青 森
宮 本 武 三 郎 千葉 大 橋 八 郎 岩 手 小 野 壽 滿 雄 北海道 小 貫 八 郎 關 島 四 澤 眞 澄 關 岡
島 本 正 一 兵庫 清 水 竜 太 郎 長 野 末 光 俊 雄 愛 媛 富 田 寬 武 北海道 橫 內 正 之 北海道

○學生及生徒姓名 農學部 專攻生 農學實科

○學生及生徒姓名 農學實科 研究生

後澤 憲志 青森	米野 尙三 山形	吉村 重文 北海道	渡邊 誠一 熊本
天井 友吉 北海道	荒木 勝彦 山形	江口 俊一 北海道	藤尾 誠一 北海道
濱崎 元 北海道	石田 正夫 富山	伊藤 博造 北海道	上島 安 北海道
小間 良彦 北海道	前田 幸一 北海道	水谷 守男 北海道	諸留 操 北海道
太田 進 北海道	大瀧 美生 新潟	大槻 知治 北海道	大和田 武 關島
櫻田 榮作 青森	佐藤 忠市 北海道	曾我 實惠 北海道	鈴木 正男 北海道
高野 胤雄 東東	德本 尙史 愛媛	山田 四郎 北海道	山下 和夫 山梨
特李 春 材 滿洲			特楊 鼎 新滿洲
安齋 孟 北海道	第一學年	藤岡 新平 岡山	古田 盛三 秋田
平田 政由 北海道	廣海 敬一 北海道	堀越 浦雪 北海道	石橋 哲郎 富山
歸山 界雄 北海道	栗村 正夫 山形	前田 親志 北海道	松下 文夫 北海道
永井 博 北海道	永宮 宏 北海道	中橋 勇四郎 北海道	中山 剛 北海道
大隈 安 北海道	齋藤 金次 北海道	平 曠 志 北海道	高久 長三 北海道
上田 健夫 北海道	山田 繼男 山形	吉田 典市 石川	特馬 聯 芳 中華
特王 玉 成 中華	特周 鴻 文 中華	特杜 鵬 凌 中華	特俞 保 權 中華
			特張 文 周 滿洲
農學得業士	福井 重紀 北海道		

第四 林學實科生徒

藤田 重清 北海道	萩原 力雄 群馬	長谷川 之道 宮城	樋口 哲男 北海道	今村 良一 高知
石岡 修一 青森	石山 麟太郎 北海道	貝塚 皓 神奈川	金澤 賢藏 北海道	栗林 正 北海道
桑山 武夫 秋田	三上 保 青森	三田 正三 關島	三浦 友三郎 青森	宮坂 幸夫 長野
中島 洵 北海道	大島 正夫 北海道	佐藤 英 北海道	佐藤 庄一郎 山形	十河 正典 香川
杉山 甫 北海道	田口 陽雄 北海道	高原 常保 秋田	田村 慎一郎 北海道	坪井 一郎 新潟
堤 正宮 新潟	內越 留男 北海道	特杜 鵬 凌 中華		
藤 信夫 石川	第二學年	深間 正之 北海道	濱田 仲 北海道	邊見 三郎 宮城
今井 善二 北海道	石田 智樂 北海道	糸川 信夫 廣島	岩田 滋 北海道	加治 忠雄 北海道
加來 惟幸 大阪	加藤 謙三 北海道	菊地 陸郎 岩手	近藤 直康 關島	松本 光 宮城
三木 勇 北海道	皆川 多氣夫 關島	宮越 浩二 北海道	村上 正 關島	中村 正夫 山形
大橋 孝 北海道	太田 藤一 關島	柴田 佐義 北海道	村上 正 關島	竹越 俊文 北海道
武内 秀三 北海道	豐島 國次郎 新潟	對馬 健一 青森	上野 正雄 關島	若林 榮一 北海道
山下 勝正 北海道	吉田 正治 北海道			
青木 正 北海道	第一學年	福原 五郎 青森	神和 雄 北海道	後藤 鈴男 北海道

○學生及生徒姓名 林學實科

○學生及生徒姓名 醫學部

橋本 正雄	北海道	井東 彰	長野	伊藤 昇一	北海道	岩見 清	秋田	和泉 吉	秋田
金子 正夫	秋田	木村 榮	北海道	北村 暢	北海道	熊谷 猛	宮城	三浦 浩	北海道
宮本 武	北海道	水本 八彌	北海道	盛田 均	北海道	逢坂 正雄	青森	中村 哲四郎	北海道
大津留 裕	大分	坂卷 正道	長野	坂野 了一	北海道	齋藤 起夫	宮城	澤田 秀郎	北海道
澁谷 勇二	北海道	重夫 薰	愛媛	谷 脇 弘	高知	立山 昌雄	秋田	山本 一男	北海道
特敷 匡之	中華	曹慶和	中華						

第五 醫學部學生

第四學年

昭和七年入學

阿部 祐吉	山形	天野 俊三	栃木	藤田 二郎	北海道	降旗 武臣	長野	福井 純	東京
樋口 勝良	關井	原田 政典	山形	服部 東次郎	奈良	早坂 修	北海道	林 秀夫	新潟
橋場 輝芳	北海道	半澤 信一	北海道	伊藤 紀克	北海道	岩淵 治三郎	岩手	伊藤 正夫	北海道
北村 政彌	長野	加藤 三郎	北海道	笠松 秀二	北海道	木村 政良	東京	川又 健吉	北海道
河野 通俊	兵庫	松下 太積	山形	森下 美之	和歌山	水姓 龍夫	鳥取	三山 英二	北海道
水谷 繁雄	關井	村形 友治	山形	森田 良美	秋田	眞野 潔	愛知	町田 達	高知
持田 陽一	北海道	水上 勝太郎	北海道	宮澤 正衛	群馬	塗師 善作	北海道	中村 芳正	青森
名須川 佐一	北海道	中島 俊一	關島	西野 効	北海道	折笠 雄次郎	關島	鈴木 勝美	山梨
猿渡 篤義	鹿島	佐藤 光世	北海道	瀬戸 國男	北海道	鈴木 弘	關島	田邊 恒義	德島

高橋 五郎	北海道	高井 英一	群馬	高橋 清藏	山形	床井 恒	栃木	田中 二郎	埼玉
高見 信義	北海道	豐田 春滿	山形	打田 直	北海道	植木 巖	北海道	鷺塚 三郎	北海道
山田 淳一	石川	吉田 一	北海道	山田 效	北海道	矢口 敏安	長野	吉川 萬雄	京都
番場 伸一	埼玉	昭和六年入學		加藤 英夫	北海道	小池 道雄	關井	田下 福造	新潟
枋内 寛	北海道	昭和五年入學		横内 兼松	北海道				
有賀 光俊	北海道	千葉 文平	宮城	竹脇 富士雄	北海道	山本 原二	北海道		
野口 曉	北海道	昭和四年入學							
澤田 伊悦	秋田	佐藤 鄰美	大分						
		昭和二年入學							
第三學年									
昭和八年入學									
新井 恒人	長野	朝霧 貞雄	秋田	藤田 英夫	北海道	藤平 一光	關井	菱山 豐一	北海道
平松 勤	北海道	平石 啓太郎	愛媛	正田 二郎	秋田	兵藤 保男	京都	今井 正夫	東京
池田 庸德	關井	伊藤 義正	關井	木村 彌一	神奈川	朽木 正義	北海道	小町 正次	北海道
海保 弘義	北海道	菊池 欽彌	北海道	小林 安治	埼玉	黒子 丈夫	千葉	小林 正長	長野
倉上 政博	埼玉	上條 和一郎	長野	河野 明丸	北海道	水上 定一	北海道	丸田 吉人	新潟

○學生及生徒姓名 醫學部

○學生及生徒姓名 醫學部

松家 豐 <small>北海道</small>	森山 武雄 <small>青森</small>	松本 喜久二 <small>北海道</small>	三井 二男 <small>北海道</small>	永井 壽一 <small>北海道</small>
中尾 豐作 <small>北海道</small>	根井 外喜男 <small>北海道</small>	新田 一雄 <small>北海道</small>	中山 二郎 <small>新潟</small>	小野江 爲正 <small>岐阜</small>
小原 德行 <small>北海道</small>	折笠 彰 <small>福島</small>	櫻井 正夫 <small>北海道</small>	征本 武雄 <small>北海道</small>	齋藤 敬治郎 <small>山形</small>
佐瀬 互 <small>福島</small>	佐々木 一 <small>宮城</small>	滋賀 秀明 <small>東京</small>	澤野 富士太郎 <small>奈良</small>	菅原 英夫 <small>山形</small>
下川 勇 <small>北海道</small>	鈴木 正壽 <small>山形</small>	高橋 武雄 <small>北海道</small>	立野 誠吾 <small>北海道</small>	飛澤 實 <small>秋田</small>
竹山 初男 <small>新潟</small>	戸田 策郎 <small>山形</small>	種村 一郎 <small>北海道</small>	魚住 新 <small>北海道</small>	内田 壽傳 <small>外喜石川</small>
若松 不二夫 <small>北海道</small>	山田 大秋 <small>北海道</small>	結城 豐 <small>山形</small>	養田 芳次郎 <small>群馬</small>	
今井 忠雄 <small>北海道</small>	昭和七年入學	村上 正 <small>青森</small>	仲山 良二 <small>北海道</small>	櫻林 繁 <small>山梨</small>
佐々木 芳郎 <small>北海道</small>	昭和六年入學	谷口 茂 <small>北海道</small>		
森 喜一 <small>北海道</small>	昭和九年入學			
秋田 重秋 <small>北海道</small>	天辰 干城 <small>鹿児島</small>	阿部 明 <small>福島</small>	遠藤 莊一 <small>秋田</small>	藤原 徹太郎 <small>岡山</small>
藤田 藤雄 <small>北海道</small>	深井 謙輔 <small>埼玉</small>	林 路彰 <small>北海道</small>	樋渡 喜一 <small>福島</small>	羽田 幸雄 <small>東京</small>
花井 新之助 <small>山形</small>	久永 二期 <small>山形</small>	原岡 壬吉 <small>大分</small>	外園 武夫 <small>宮崎</small>	池田 滿穂 <small>山形</small>
近藤 祐一 <small>山形</small>	小林 勇 <small>山形</small>	金上 弘 <small>青森</small>	加藤 彬芳 <small>神奈川</small>	鎌田 元得 <small>山形</small>
益田 祐治 <small>山口</small>	松山 晃夫 <small>和歌山</small>	水落 善文 <small>和歌山</small>	松村 猛夫 <small>東京</small>	三島 信二 <small>北海道</small>

長濱 文雄 <small>北海道</small>	中村 與一郎 <small>北海道</small>	中里 和夫 <small>山形</small>	仁保 正次 <small>新潟</small>	中井 實 <small>北海道</small>
大脇 健介 <small>北海道</small>	大久保 進 <small>北海道</small>	越智 泰澄 <small>島根</small>	大浦 直二 <small>北海道</small>	大内 康夫 <small>福島</small>
岡部 健吉 <small>愛知</small>	大野 四郎 <small>茨城</small>	小野 彌久 <small>福島</small>	堺 進 <small>北海道</small>	篠原 正幹 <small>北海道</small>
芝田 實千鶴	珠玖 捨男 <small>滋賀</small>	坂本 鷹雄 <small>佐賀</small>	佐藤 忠昭 <small>東京</small>	須藤 久 <small>北海道</small>
鈴木 武夫 <small>群馬</small>	齋藤 完一 <small>栃木</small>	佐藤 弘隆 <small>宮城</small>	志村 達夫 <small>山梨</small>	鳥海 正三 <small>千葉</small>
高橋 新吾 <small>山形</small>	寺本 忠 <small>北海道</small>	照井 孝太郎 <small>秋田</small>	土田 寅夫 <small>秋田</small>	高山 英美 <small>秋田</small>
浦田 儀助 <small>山形</small>	和田 康夫 <small>東京</small>	山本 太喜 <small>岐阜</small>	吉田 正敏 <small>北海道</small>	山川 晋 <small>山梨</small>
遊座 文治 <small>茨城</small>	山田 稔 <small>北海道</small>	吉武 正司 <small>秋田</small>	弓削 徳三 <small>北海道</small>	
昭和七年入學				
畑山 國五郎 <small>北海道</small>	昭和八年入學			
神田 明男 <small>北海道</small>	宮城 行雄 <small>北海道</small>	正木 利世 <small>東京</small>		
昭和二年入學				
杉本 良次 <small>愛知</small>	昭和一學年			
	昭和十年入學			
天野 義也 <small>青森</small>	荒木 弘郎 <small>茨城</small>	青山 亮 <small>秋田</small>	阿部 克衛 <small>岩手</small>	雨宮 義文 <small>山梨</small>
遠藤 季雄 <small>宮城</small>	福居 重雄 <small>北海道</small>	合掌 義二 <small>福井</small>	細越 正一 <small>北海道</small>	飛鋪 洋三 <small>東京</small>
平野 新治 <small>東京</small>	本田 勉康 <small>東京</small>	石倉 肇 <small>北海道</small>	岩治 勝男 <small>福井</small>	石井 守政 <small>神奈川</small>

○學生及生徒姓名 醫學部

○學生及生徒姓名 醫學部 專攻生

石崎 學 <small>神奈川</small>	飯田 正衛 <small>新潟</small>	池田 實 <small>熊本</small>	北野 博一 <small>岐阜</small>	小泉 勝雄 <small>秋田</small>
嘉戸 達也 <small>島根</small>	神部 弘二 <small>神奈川</small>	草地 正三 <small>北海道</small>	笠松 繁雄 <small>北海道</small>	加藤 輝雄 <small>山形</small>
近藤 秀夫 <small>愛媛</small>	笠間 尙武 <small>神奈川</small>	岸本 三郎 <small>北海道</small>	熊倉 中 <small>栃木</small>	南浦 邦知 <small>岩手</small>
宮田 久壽 <small>神奈川</small>	宮内 紀之助 <small>新潟</small>	野口 恂 <small>北海道</small>	西堀 東治 <small>北海道</small>	大原 融 <small>廣島</small>
大野 辰雄 <small>福島</small>	沖 幸一 <small>廣島</small>	大島 壽男 <small>栃木</small>	新谷 政治 <small>北海道</small>	佐藤 玉治 <small>秋田</small>
澤田 哲治 <small>秋田</small>	佐々木 高光 <small>北海道</small>	鈴木 泰藏 <small>秋田</small>	杉田 守忠 <small>北海道</small>	鈴木 桂 <small>静岡</small>
佐久間 均一 <small>福島</small>	鹽田 浩政 <small>東京</small>	滋賀 秀正 <small>東京</small>	白石 祐義 <small>宮城</small>	鈴木 善範 <small>北海道</small>
佐藤 誠一 <small>福島</small>	佐藤 一彦 <small>神奈川</small>	篠川 均 <small>富山</small>	菅原 義一 <small>北海道</small>	島田 祐二 <small>石川</small>
武田 勝見 <small>福島</small>	武山 泰一 <small>宮城</small>	高橋 照信 <small>東京</small>	豊田 哲夫 <small>香川</small>	德中 祐二 <small>石川</small>
高橋 秀雄 <small>北海道</small>	富永 一 <small>東京</small>	白井 信男 <small>岐阜</small>	上田 直紀 <small>北海道</small>	田嶋 行平 <small>福井</small>
山崎 武夫 <small>岐阜</small>	横道 武雄 <small>北海道</small>	横内 敬一 <small>北海道</small>	渡邊 正義 <small>千葉</small>	
本間 吉一 <small>北海道</small>	昭和九年入學	戸澤 郡八郎 <small>東京</small>		
金子 晃 <small>北海道</small>	昭和八年入學			
法醫學、外科學	專攻生	千葉醫學士 南部 敏三 <small>北海道</small>		
		醫學士 佐々木 佐武郎 <small>北海道</small>		

醫學士 青景 金吾 <small>廣島</small>	醫學士 林武 士 <small>鹿見島</small>	醫學士 木村 安人 <small>北海道</small>	醫學士 關野 一 <small>静岡</small>	醫學士 山田 時一 <small>廣島</small>	醫學士 園田 正治 <small>静岡</small>	醫學士 小野 江為 信 <small>岐阜</small>	醫學士 川西 兼敏 <small>鹿見島</small>	醫學士 山内 伴治 <small>青森</small>	醫學士 大圖 球治 <small>新潟</small>	醫學士 日本齒科醫學士 千葉醫學士 金澤醫學士
醫學士 慈惠醫學士 青景 金吾 <small>廣島</small>	醫學士 醫學士 林武 士 <small>鹿見島</small>	醫學士 醫學士 木村 安人 <small>北海道</small>	醫學士 醫學士 關野 一 <small>静岡</small>	醫學士 醫學士 山田 時一 <small>廣島</small>	醫學士 醫學士 園田 正治 <small>静岡</small>	醫學士 醫學士 小野 江為 信 <small>岐阜</small>	醫學士 醫學士 川西 兼敏 <small>鹿見島</small>	醫學士 醫學士 山内 伴治 <small>青森</small>	醫學士 醫學士 大圖 球治 <small>新潟</small>	醫學士 醫學士 日本齒科醫學士 千葉醫學士 金澤醫學士

第六 工學部學生 第一部類

昭和五年入學	昭和八年入學
三木 森雄 <small>富山</small>	今井 琢麿 <small>北海道</small>
有江 義晴 <small>北海道</small>	石井 興良 <small>北海道</small>
板倉 正治 <small>北海道</small>	加瀬谷 昭男 <small>北海道</small>
	石崎 貞美 <small>北海道</small>
	川上 正三 <small>北海道</small>

○學生及生徒姓名 工學部 第一部類

○學生及生徒姓名 工學部 第二部類

菊地隆	北海道	小林嘉道	關	桑山三郎	新潟	三宅文夫	栃木	宮森虎夫	北海道
道祖土良一	埼玉	須藤靖	北海道	谷脇謙	高知	寺島重雄	北海道	渡邊逸郎	北海道
山田順治	富山	山下源松	北海道	米本實	北海道				
荒井千秋	長野	昭和九年入學		深山壽夫	北海道	畑生和雄	關	畑谷正實	北海道
平手久之助	北海道	遠藤佐武郎	北海道	石川正男	北海道	板垣正男	山形	樺島正二	東京
北村誠一	新潟	本間三郎	北海道	近藤清一	北海道	森芳夫	北海道	森田義育	北海道
村田正元	北海道	中村作太郎	山形	松下政敏	北海道	櫻井豐三	北海道	佐藤肇	北海道
佐藤十五郎	北海道	嶋村健次郎	東京	小川博三	岩手	竹崎忠雄	福島	當銀清一	北海道
堂垣内尚弘	北海道	昭和十年入學		高木良一	北海道				
古林正章	北海道	服部正一	北海道	飯塚廣人	北海道	神勤	東京	角坂仁忠	新潟
中山敏雄	北海道	小林莊七郎	兵庫	黒地政美	北海道	三宅健一	徳島	宮本勇	北海道
大柿諒	北海道	四島國造	北海道	野坂純三	北海道	小笠原正三	北海道	大橋康次	北海道
高橋淳二	北海道	大久保和彦	三重	坂弘次郎	北海道	佐藤清一	北海道	田島喜好	福井
		高橋健二	東京	立花文勝	兵庫	若島正	北海道	渡邊光	茨城

第一部類

昭和五年入學

羽金興六郎 福島

齋藤貞雄 北海道

昭和七年入學

昭和八年入學

相川鎮雄	北海道	赤池武美	北海道	藤田幸隆	北海道	原佐多夫	東京	長谷川惇	東京
長谷川誠三	富山	伊藤格郎	秋田	黒木晋也	北海道	前原平	關	三田村正二郎	北海道
村岡克己	愛知	岡野穰	東京	齋藤真人	石川	高橋正	北海道	高崎繁	北海道
武田信男	北海道	坪井貴志男	關山	塚田正夫	富山	土屋光三	神奈川	和田榮作	關
		昭和九年入學							
相庭良光	北海道	秋澤政雄	北海道	池盛秀	鹿島	池田弘	北海道	鎌谷士	北海道
加勢清志	北海道	前野良久	北海道	森田榮哉	秋田	村岡成人	東京	中村小彌太	東京
中村正	北海道	並河敏新	新潟	西川次郎	和歌山	小笠原義顯	和歌山	岡新次	東京
折原偉佐夫	北海道	佐藤文造	岩手	佐藤信之丞	北海道	高橋政治	北海道	竹内毅	長野
津田元信	關	瓜生義臣	富山	脇坂博貴	北海道	結城玄藏	東京		
		昭和十年入學							
阿部一貞	北海道	荒井司	東京	大樂敬知	京都	石田正一	北海道	石谷節三	鳥取
伊藤陸三	滋賀	伊藤杉藏	長野	飯泉博	茨城	梶田文雄	北海道	加藤博俊	北海道
前川信	東京	牧野紀典	富山	中榮喜久雄	石川	奈良勳	東京	岡本敏一	福島
諏訪善綱	秋田	高田豊	北海道	高野孝	北海道	辻重信	北海道	津山不二男	三重
植岡靜雄	東京	山本徳雄	和歌山	吉岡正二	鳥根	吉岡義周	富山		

○學生及生徒姓名 工學部 第二部類

第三部類

市原英夫 北海道	昭和七年入學	清水梅吉 和歌山	林養一 東京	泉彦太郎 京都
近藤茂直 北海道	昭和八年入學	牛澤時郎 北海道	小立武彦 東京	村上定夫 茨城
青木一紀 栃木	昭和八年入學	菊池家貞 宮城	坂口博長 長野	澤田義方 新潟
一ノ瀬康夫 神奈川		岡佐喜男 北海道	田村喜之 廣島	田中清史 山口
能島恒二 北海道		武田一毅 熊本	吉武次郎 東京	
下村修二 北海道		富田繁 北海道	昭和九年入學	
德尾政治 東京		藤原敏雄 北海道	藤原三郎 青森	花岡浩長 長野
深澤正一 北海道		猪股登山 梨	砂金正男 北海道	加藤茂夫 北海道
今井秀夫 栃木		黑川正一郎 北海道	松木秀司 北海道	松永春雄 群馬
北川重二郎 北海道		盛田五一 北海道	長井啓二 北海道	太田正二 山形
三股信夫 北海道		菅谷弘山 形	昭和十年入學	宇川彰長 長野
城座正明 北海道		石井芳夫 北海道	宮木宗威 北海道	加藤春雄 石川
藤森鋼寬 長野		大泉淳 東京	杉山正俊 愛知	澤田市郎 石川
三浦祐世 北海道		大泉淳 東京	高橋靜雄 北海道	谷口勇 北海道
		高橋靜雄 北海道	山内喜四郎 和歌山	山高克郎 愛知
		山根武郎 鳥取	吉田文雄 北海道	島庄司 北海道
		昭和七年入學		殖栗誠司 新潟
		昭和八年入學		吉田富穂 岩手

第四部類

小田靜夫 北海道	昭和七年入學	山根武郎 鳥取	吉田文雄 北海道	岩田敏男 北海道
杉本保治 北海道		石田光明 福井	石塚長雄 新潟	小林吾妻 北海道
渡邊達郎 北海道		木村恒矣 北海道	木下甲子男 長野	三戸邦雄 北海道
		中島幸展 北海道	大谷木賢二 北海道	富樫正一 北海道
		高頭新吉 北海道	武内耐 北海道	
		上山健二 北海道	山崎富二松 北海道	
		昭和九年入學		
		古川太郎 滋賀	井上享 北海道	伊藤一正 北海道
		關野徹 東京	熊谷不二雄 青森	倉重正武 東京
		中黒成五 石川	西田稻次郎 北海道	落合忠七 北海道
		尾池英夫 香川	重松敏夫 北海道	繁富一雄 北海道
		須田誠 茨城	末崎輝雄 北海道	山口武雄 北海道
		林邦雄 北海道		
		藤田武郎 東京		
		川上壽一 關西		
		皆川昇 北海道		
		鹽谷正 北海道		
		築城武美 大分		
		相上讓一 北海道		
		龜井敏郎 東京		
		毛利銓一 東京		
		小田桐正一 北海道		
		白鳥正紀 北海道		

○學生及生徒姓名 一理學部 數學科

三四四

昭和十年入學
 權平 守司 新潟 本多 賢輔 愛知 細谷 哲郎 宮城 五十嵐 芳雄 山形 伊井 巖 福井
 石黒 吉治 北海道 伊藤 長次 福井 上山 正道 栃木 片岡 文雄 北海道 川村 勇 兵庫
 貴志 和男 北海道 北林 保正 北海道 松本 正 北海道 三宅 節二 岡山 宮田 進 北海道
 門前 弘道 岩手 小原 敬助 岩手 小谷 幸雄 東京 小谷 嘉香 北海道 佐々木 一 東京
 澤田 良嘉 北海道 重光 彌 東京 上原 肇 静岡 由宇 大作 兵庫 遊佐 義寛 和歌山

第七 理學部學生

數學科

第五年目

昭和六年入學

掛谷 大三 廣島

第三年目

昭和八年入學

日野 利十 秋田 酒井 政雄 京都

黑崎 達徳 島 田中 照道 鹿児島

第二年目

昭和九年入學

大久保 武男 福岡

奥村 敬次郎 北海道

舊姓(岡山) 坂本 新次 千葉

物理學科

第五年目

昭和六年入學

澤田 潔 京都

第四年目

昭和七年入學

常深 基 鹿児島

第三年目

昭和八年入學

長谷川 安之助 栃木

第二年目

昭和二入學

山崎 四郎 和歌山 小池 義夫 福島 澤田 孝士 北海道

澤本 三郎 東京

菅井 榮松 新潟

鳥山 俊英 宮城

吉田 正夫 北海道

水澤 魁郎 新潟

藤田 正美 北海道

外岡 慶之助 岩手

伊達 雄次郎 島根

中村 勝彦 東京

吉川 英夫 静岡

藤田 正美 北海道

外岡 慶之助 岩手

石川 文雄 北海道

井手 三郎 長崎

結城 玉江 神奈川

小田 桐弘 青森

帶金 學 静岡

金子 丞 新潟

永井 惣吉 新潟

安原 利男 徳島

深倉 好美 北海道

紀國谷 芳雄 北海道

○學生及生徒姓名 理學部 物理學科

三四五

○學生及生徒姓名 理學部 化學科

三四六

昭和九年入學
 宮原將平 佐賀 大野陽朗 山梨 高崎晃昇 東京 角 寧 北海道
 村川穗高 愛媛 出津野建藏 和歌山 伊藤博 北海道 戶田康明 東京 一場久美 群馬
 丸山修三 新潟

第一年目

昭和十年入學
 花島政人 靜岡 尾田敏男 大阪 橫瀨政之助 茨城 福島久雄 北海道 江口勝 北海道
 佐々木信雄 東京 佐々木倫太郎 北海道 佐藤健一郎 茨城 齋藤秀夫 廣島 木島德一郎 群馬
 宮崎友喜雄 佐賀 鳴原助義 宮城 聽講生
 橫田ゆり 高知

化學科

第三年目

昭和八年入學
 福本剛一 兵庫 江面芳郎 栃木 平野謙吉 廣島 加藤純 東京 小林重一 青森
 小林昇之助 愛知 村田平 大阪 奧村重雄 大阪 大迫明德 東京 若山誠治 北海道
 山脇正人 高知 高杉直幹 青森

第二年目

昭和九年入學
 生島正次 京都 田尻惟一 熊本 菅孝男 北海道 土井健一 宮城 奧田五郎 北海道
 米代季治 宮城 富田彰 埼玉 西富士太郎 北海道 阿坐上信治 北海道 阿部佐久也 山形
 立岡末雄 滋賀 蟻川榮作 富山 鯨井正治 埼玉 村井東助 東京 梅島久 關山

第一年目

昭和十年入學
 岩田榮一 大阪 岩島正 東京 伊東祐壽 島根 飯島友夫 長野 碓山昇 神奈川
 千葉安治 宮城 小倉啓克 東京 楠本七郎 北海道 吉田貞幸 愛知 前川靜彌 奈良
 佐藤宗光 北海道 木村信耶 栃木 北村三郎 滋賀 三谷光雄 北海道 島崎英一 長野
 志甫傳逸 富山

地質學鑛物學科

第六年目

佐藤文男 岡山 昭和五年入學

第三年目

千葉福壽 宮城 昭和八年入學 石橋正夫 秋田 大杉 微 關

第二年目

○學生及生徒姓名 理學部 地質學鑛物學科

三四七

○學生及生徒姓名 理學部 植物學科

昭和九年入學
 高橋英太郎 廣島 下河原壽男 北海道 山下一男 岡山 三浦博雅 東京 三木杉巳代治 廣島
 第一年目
 昭和十年入學
 井上武 東京 今村善郷 長野 土井正民 佐賀 津中治 大阪 藤谷鴻 山口
 植物學科

第四年目
 昭和七年入學
 松島眞次 長野

第三年目
 昭和八年入學
 加藤定吉 愛知 中村義輝 福井 村岡忠孝 東京

第二年目
 昭和九年入學
 瀧澤仙次 長野 野田光藏 福岡 齋藤英次 廣島

第一年目
 昭和十年入學
 堀江格郎 北海道

安田忠之 北海道 聽講生

動物學科

第三年目
 昭和八年入學
 藤田康 東京 金澤潤助 秋田 河合三郎 香川 大森順 東京 大野量平 愛媛

第二年目
 昭和九年入學
 堀江秀光 東京 小寺周一 東京 千葉卓夫 宮城

第一年目
 昭和十年入學
 今村泰二 兵庫 今井外史 富山 吉村善郎 愛知 山本嘉一郎 岩手

第八豫科生徒

第三學年 農類一組
 安藤忠次 東京 日淺洋太郎 福岡 堀川平四郎 北海道 星泰夫 北海道 飯守三郎 和歌山
 池田豐一 福島 石川正吉 山形 伊藤民男 北海道 柏木季雄 群馬 加藤雅量 廣島

○學生及生徒姓名 理學部 動物學科 豫科

○學生及生徒姓名 豫科

川村 眞 東京	川 浪重四郎 東京	小林 義廣 北海道	兒島 修三 三重	小鹽 進作 北海道
草島 喜三彌 北海道	眞島 勇雄 山形	松森 敏雄 岡山	三浦 清 東京	長澤 太郎 北海道
中野 富雄 京都	小田 昇 北海道	小野寺 友二 宮城	坂部 英夫 愛知	齋藤 榮 北海道
先本 勇吉 北海道	佐々木源左工門 宮城	菅野 靜馬 福岡	杉山 綠宮 城	高島 顯二 東京
高橋 弘 東京	谷口 正太郎 栃木	渡邊 正新 瀨	山田 正福 島	山口 甚三郎 新潟
山中 敏夫 京都	米坂 龍男 北海道			
農類 二組	赤羽 紀雄 和歌山	明峰 英夫 北海道	茅野 三男 山梨	原田 宏 大分
服部 輝一 三重	星 勇 福島	今關 克己 千葉	今野 徹男 山形	和泉 守衛 新潟
狩野 仁吉 宮城	菊池 修二 岩手	小林 剛三 京都	今野 信次 北海道	熊澤 正三 三重
宮崎 清奈 長	長嶺 安則 秋田	中榮 欽吾 石川	中島 信次 北海道	中村 洋吉 北海道
中田 直敏 秋田	小川 正晃 北海道	岡村 七二 秋田	小野寺 卯 北海道	奧山 晃三 北海道
瀨戸 三郎 北海道	白勢 承二 新潟	田所 達雄 秋田	武貞 篤一 兵庫	瀧澤 義郎 新潟
玉谷 武夫 北海道	田中 博通 愛知	富永 資文 香川	黑葛原精一郎 東京	米屋 勉 北海道
吉山 昌男 鹿兒島				
農類 三組	荒川 宗一 北海道	朝比奈 英三 東京	深味 春輝 秋田	林 敏雄 青森
青木 亮山 山口	細川 定治 北海道	藤田 孝郎 東京	井田 豐秋 埼玉	池田 博石 川
平井 季夫 奈良	草薙 碩夫 香川	甲斐 武正 宮崎	菊池 三郎 東京	小島 眞 廣島
井藤 久夫 富山				

牧野 忠夫 東京	湊 正雄 北海道	三浦 淳史 北海道	森 新吉 香川	長沼 勇 秋田
中川 正義 北海道	成田 朋人 宮城	西村 正 北海道	岡 昌 東京	坂尾 英一 北海道
齋藤 長一 北海道	佐々木 信夫 北海道	佐藤 安 北海道	末永 美隆 福岡	菅沼 保治 愛知
鈴木 悅郎 福岡	武井 茂夫 千葉	谷口 信一 北海道	友枝 幹夫 福岡	塚本 隆一 福岡
渡部 正三 廣島	安井 光太郎 島根	横田 長光 新潟		
醫類 一組	藤山 大藏 山形	檜山 登 北海道	長谷川 汪 東京	羽田 春 兎 千葉
林田 良治 北海道	井戸垣 強 北海道	飯塚 義彦 秋田	伊藤 祐一 宮城	城 進 次 東京
加藤 久太 北海道	楠野 正雄 北海道	片山 球 滋賀	桑原 麟兒 大分	麥 倉 元 北海道
宮澤 秀之 北海道	村上 恒夫 愛媛	南部 正次 北海道	奈良 勝典 北海道	長島 新 東京
中井 義仁 北海道	中村 龍策 山口	奥平 作五郎 東京	荻田 友雄 大阪	小野 淳信 福岡
白石 忠雄 福岡	佐藤 龍雄 北海道	清水 勝美 北海道	齋藤 利信 東京	田中 豐典 北海道
角田 國光 群馬	植竹 久雄 神奈川	梅原 誠 東京	魚住 二郎 北海道	渡邊 初男 北海道
安田 豐登 廣島	山崎 勝郎 北海道	柳本 貞夫 北海道		
醫類 二組	箱石 昇司 岩手	濱里 泰長 崎	平池 正 北海道	平野 五郎 新潟
船川 幡夫 兵庫	伊勢 春雄 北海道	掛川 康次 北海道	上西 清治 北海道	片山 良一 愛知
池田 洋二 神奈川	小池 皓 北海道	松田 一郎 北海道	森鼻 正美 兵庫	持尾 長年 福岡
兒玉 侍郎 北海道	永井 寅男 北海道	長岡 一雄 山形	新述 東太郎 廣島	大鐘 晶 福岡
村上 眞士 廣島				

○學生及生徒姓名 豫科

○學生及生徒姓名 豫科

酒澤勇二郎 兵庫	倉田宗章 北海道	小林一雄 埼玉	石田登穂 福井	後藤正久 山形	安井寛治 北海道	澁川正嘉 北海道	岡田勝愛 新潟	榊口正雄 新潟	岩田榮藏 北海道	細見憲吉 兵庫	藤島則夫 東京	阿部良哉 北海道	矢倉安太郎 北海道	田中正之 北海道	島影琢磨 北海道	萩野辰夫 關西	
三箇清治 北海道	永田安彦 北海道	古田土筆 福木	石積景至 北海道	藤田顯雄 北海道	吉田哲夫 大阪	鈴木初次 群馬	岡山隆夫 千葉	守部政喜 北海道	柿崎英一 青森	五十嵐清 北海道	深谷龍太 北海道	穴釜正吉 北海道	工類一組	屋代英也 山形	館江希秀 神奈川	鈴木幸朗 關西	大原達廣 島
齋藤正景 東京	中村象夫 北海道	小森豐 福島	紙谷芳明 北海道	船山榮一 山形	吉本千禎 福井	諏訪貞雄 北海道	小野二郎 關西	中村稔 兵庫	金曾吉夫 北海道	石戸谷信 青森	島山貞男 北海道	坂内昌夫 新潟	白淵勇 北海道	高橋德明 關西	大野公吉 東京	大野辰夫 關西	
關川禮三 新潟	根田道郎 岩手	近藤重喜 北海道	笠原良男 福井	布施敏一郎 神奈川	高橋俊弘 北海道	齋藤武 岩手	仲谷泰吉 北海道	笠間伊三雄 北海道	石原敬三 神奈川	平松壽 大阪	土居正典 高知	和野江爲則 岐阜	高久芳衛 福木	小野江爲則 岐阜	高橋德明 關西	高橋辰夫 關西	
芝原浩 島根	佐藤一義 宮城	倉澤宗男 長野	木村一郎 茨城	猪瀬正夫 茨城	田中行男 北海道	關口正勝 北海道	野口正興 埼玉	川俣壽榮雄 北海道	伊藤計三 山形	本多辰也 關西	藤原健一 北海道	渡邊正二 北海道	田原與三吉 新潟	長内孝 北海道	長内孝 北海道	長内孝 北海道	

湯川龍二 北海道	鹿野達三 東京	武田泰政 北海道	味村照夫 北海道	服部博太郎 北海道	伊東正信 岩手	松田義久 北海道	萩原信悟 關西	關亨 福島	高田慶 北海道	山口勇次郎 北海道	淺野眞一 北海道	石田哲郎 北海道	葛西晴雄 岩手	村田正 東京	中山敬一 東京			
遊佐志治磨 北海道	篠田修吉 東京	竹内靖 北海道	安生三雄 福木	廣田一耶 北海道	伊藤吉耶 北海道	中川精一耶 新潟	沖田利夫 北海道	關口精一 北海道	高橋清一 岩手	柳澤三耶 新潟	濱口典成 三重	石井海市 北海道	木田駿吾 石川	長尾保義 青森	小幡稔實 岩手			
吉田徹耶 北海道	荒井格 茨城	石田正巳 北海道	金吉正義 北海道	中井信孝 島根	大倉武雄 東京	鈴木安夫 宮城	卜部昭典 廣島	服部本務 東京	巖經之 北海道	三輪一郎 東京	中村力 新潟	大倉恒雄 新潟	服部本務 東京	橋野安正 北海道	伊藤盛也 群馬	小峰康正 東京	中村健次 北海道	岡啓次郎 東京
末廣英二 北海道	福井博 關西	石渡正雄 東京	近藤悌藏 山形	中野勇 北海道	佐々木武基 埼玉	玉澤廣 山口	矢部功彦 東京	星野昌平 群馬	角和良造 神奈川	村上忠夫 千葉	中野龍雄 愛知	大野丈太郎 千葉	星野昌平 群馬	橋野安正 北海道	伊藤盛也 群馬	小峰康正 東京	中村健次 北海道	岡啓次郎 東京

○學生及生徒姓名 豫科

○學生及生徒姓名 豫科

大澤 哲夫 關島	大島 稔 新潟	坂井 稔 關島	流石 英紀 山梨	關 義治 東京
島内 睦男 北海道	下村 得治 北海道	鈴木 幹彦 樺太	上東 正友 北海道	梅田 信和 和歌山
和知 俊郎 關島	和田 晃山 山口	山下 正典 北海道	吉村 文五郎 新潟	
秋貞 眞一 山口	荒蒔 嘉幸 茨城	福島 正秋 北海道	長谷川 昭 東京	平澤 秀江 山形
今任 重彦 關島	鐘 道夫 岩手	梶原 勇雄 兵庫	蠣崎 道男 北海道	神戶 昇 北海道
加藤 眞佐彦 東京	日下 紀彦 三重	牧之瀨 隆夫 北海道	村岡 五郎 東京	中島 新十郎 長野
中村 謙二 岩手	中野 昌愛 知	及川 盛也 岩手	大爺 榮一 關山	小山田 盛方 山形
齋藤 忠一 高知	征原 二郎 北海道	征元 宇一郎 秋田	佐藤 和彦 北海道	島田 素三 神奈川
嵩 終三 神奈川	鈴木 兼七 關島	高橋 萬右衛門 岩手	富樫 政雄 北海道	富本 朝之 東京
富塚 謹次 秋田	塚本 敏 關島	築地 明 熊本	浦野 修治 和歌山	山田 賢治 北海道
山本 隆次 千	山内 義雄 北海道	山崎 繁		
淺間 一彦 山形	農 類 三組	遠藤 常雄 盛岡	江渡 光男 青森	藤田 芳英 北海道
福地 宏平 北海道	古谷 將 北海道	五十嵐 明正 兵庫	石川 定一 千	石谷 類造 鳥取
菅 間 威 北海道	笠原 最季 栃木	菊池 眞 岩手	駒澤 欣一 北海道	今 盛次 北海道
丸山 喜久男 愛知	松岡 毅 長野	三股 正年 北海道	宮下 特五郎 北海道	守本 一雄 山口
長井 三四彦 北海道	中山 保千 千葉	西内 健一郎 宮城	能登 健三 北海道	岡 彦一 和歌山
關田 道雄 高知	下條 親 關島	鹽田 弘行 鹿島	庄子 喜次 宮城	杉浦 邦紀 東京

○學生及生徒姓名 豫科

鈴木 繁隆 北海道	竹内 靖弘 關山	工 靜男 北海道	梅津 勝弘 岩手	鶴塚 五郎 東京
山中 隆太 兵庫	吉田 鐵夫 北海道	醫 類 一組		
天辰 鶴吉 鹿島	福田 光雄 青森	橋本 巖 北海道	早瀬 次作 北海道	林田 信男 關島
飯田 保 栃木	石田 隆明 關井	石川 政孝 秋田	伊東 忠人 北海道	川口 憲良 青森
川守田 勇一 岩手	北村 浩 關島	眞壁 恭人 北海道	増田 晋二 愛媛	松本 正俊 熊本
村中 俊明 北海道	中江 孝治 北海道	中島 泰 栃木	中村 敏夫 北海道	野口 秀男 埼玉
及川 富士雄 岩手	岡田 達 北海道	大木 良作 千葉	長村 善臣 大分	嵯峨 亮司 秋田
齋藤 正太郎 山形	關 守長 野	清水 文敏 宮城	白井 重信 關島	菅原 巳記雄 秋田
庄司 希光 宮城	田中 太郎 長野	寺尾 義人 東京	宇津木 喜雄 東京	若狹 謙吉 北海道
山口 昂 大分	山下 良雄 北海道			
荒川 午郎 北海道	醫 類 二組	遠藤 清嗣 宮城	冬木 德三 群馬	後藤 定 北海道
羽田 忠五郎 新潟	有馬 洋 東京	井上 越夫 茨城	神村 瑞夫 北海道	加藤 悌次 石川
栗原 東洋 千葉	今井 欣一 北海道	松本 秀雄 北海道	森 佑 宮城	中村 治雄 北海道
中澤 英夫 新潟	西谷 錦雄 北海道	沼田 富弘 熊本	小笠原 啓二 愛知	岡 登喜郎 三重
押味 賢吾 北海道	音羽 博次 盛岡	相良 丈夫 奈良	齋藤 政男 北海道	齋藤 行正 島根
五月女 讓二 栃木	佐々木 龍藏 青森	佐藤 滋郎 岩手	清水 省吾 鳥取	篠崎 正典 奈良
菅原 古人 宮城	高田 徳 關島	高橋 折三 秋田	常葉 彰 神奈川	鶴羽 正次郎 北海道

○學生及生徒姓名 豫科

山崎 善陽 長崎	吉田 研三 福島	工類 一組	荒木 四郎 群馬	飯塚 隆雄 埼玉	古瀬 欽吾 北海道	廣瀨 典夫 秋田
天谷 嘉壽夫 茨城	荒尾 信義 徳島	蒲 善 證 神奈川	河合 正恭 東京	北川 彌 愛媛	伊藤 三郎 北海道	岩橋 武彦 新潟
神 政 徳 青森	小池 龍夫 北海道	温盛 正雄 北海道	齋藤 正雄 北海道	永幡 桂一 岡山	北川 彌 愛媛	小林 憲太郎 和歌山
粉川 俊之 新橋	高橋 勝夫 北海道	坪谷 素一 北海道	田母神 虎知 福島	谷川 清治 北海道	坂本 三郎 山梨	中野 三郎 北海道
中尾 敦司 兵庫	德嵩 久人 北海道	吉田 五郎 青森	鶴川 憲宣 北海道	山下 重夫 北海道	柴田 正 北海道	柴田 正 北海道
城田 幸彦 群馬	福島 芳明 鳥取	工類 二組	早津 甚一 新潟	稻垣 良穂 新潟	伊藤 雅雄 愛知	吉住 政夫 北海道
吉田 五郎 青森	岩間 喜吉 北海道	長谷川 説雄 千葉	鴨野 松雄 北海道	加藤 越夫 山形	金子 喜太郎 群馬	
	笠木 豊 北海道	陰山 鐵二 新潟	北川 林平 青森	工藤 忠夫 北海道	倉上 幹雄 埼玉	
	久須美 康馬 新潟	北川 鈴二 愛知	三浦 一夫 北海道	元氏 幸雄 北海道	宮下 正久 福島	
	永田 敏雄 愛知	松居 正次 大阪	奈良部 孝 福島	西村 雅吉 北海道	小笠原 松雄 青森	
	大橋 正 東京	中村 虔一 東京	柴田 寛治 北海道	末廣 吉生 北海道	高木 正 北海道	
	田中文三 東京	笹川 一 北海道	山田 的史 北海道	山崎 正 京都	吉池 登 山形	
		渡邊 理 北海道				
		工類 三組				

後藤 秋喜 北海道	林 和夫 神奈川	藤原 榮一 岩手	平山 正 東京
池田 英三郎 山形	今井 義郎 神奈川	荒木 功 熊本	小池 榮一 北海道
栗林 隆 北海道	眞下 章三 群馬	原 一 石川	永田 太郎 山口
中村 雅男 岡山	西本 幸太郎 鳥取	梶井 直晴 新潟	大條 正義 宮城
小川 芳郎 東京	奥原 宗忠 東京	小宮 良一 東京	佐々木 信輔 北海道
新谷 一男 北海道	下山 田久彌 福島	鈴木 隆吉 福島	高橋 敏郎 山形
高田 天 東京	谷口 貞純 東京	田瀬 春三 北海道	山口 功 長野
	第一學年		
	農類 一組		
阿部 公雄 北海道	赤塚 耕三 北海道	有馬 四郎 兵庫	藤原 榮一 岩手
藤戸 貞雄 大阪	五藤 精知 茨城	猪木 匡四郎 香川	井阪 三郎 三重
伊澤 正夫 北海道	石井 和彦 北海道	鎌形 修三 千葉	河村 幸次郎 東京
河内 莞爾 北海道	兒玉 堅造 北海道	近藤 忠和 北海道	栗林 正一 秋田
松山 茂忠 長崎	中村 昌也 山梨	根市 高志 秋田	太田 忠真 北海道
大竹 幸吉 北海道	齋藤 禮治 北海道	櫻井 允 北海道	佐々木 正剛 北海道
薮 一夫 大阪	鈴木 準 千葉	高鳥 一男 新潟	田村 光世 静岡
寺崎 孝一 新潟	富田 敏正 静岡	上野 幸三 北海道	渡邊 真 長野
青柳 茂雄 山梨	農類 二組		
	新井 喜裕 神奈川	有江 義孝 北海道	深澤 八郎 静岡

○學生及生徒姓名 豫科

○學生及生徒姓名 豫科

福島 武雄	伏見 卯兵衛	畑井 俊正	伊吹 良太郎	市來崎 巖	石原 義雄	加藤 祥次	河合 惣吾	小島 喜久	熊井 運司	村 上	明道	中村 直彦	岡村 俊民	盧 慎	大内 毅	櫻井 典	猿丸 貞滿	敷 浪	相田 謙三	鈴木 尙夫	高橋 洋司	鳥居 精一	豐城 秀壽	坪松 茂	上田 英作	宇都野 紀	八 鉄孝	柳川 洋一	農 類 三組	荒又 敏夫	陳 文元	藤澤 重彰	赤林 恂	安 乘	長谷川 溥	平山 雄常	久野 展男	藤原 善一	原岡 勇吉	金 容	小林 茂島	兒玉 五郎	川崎 俊郎	河瀬 英幸	水之江 正則	南 正雄	盛田 武二	松井 榮一	松隈 壽紀	野村 嘉數	大久保 瑛山	押田 正也	中西 貞二	丹羽 行夫	柴田 勝三	清水 堅一	園田 惠三	佐伯 豫一	山宮 豐山	武田 知哉	田中 榮三	田中 良穗	高原 英一	高橋 良平	上田 晃	横瀬 誠之	吉田 百男	鄭 景濤	內田 武彦	飯土用 勉	磯江 駿一郎	伊藤 忠	別所 啓平	海老原 仁			
-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	----	-------	-------	-----	------	------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	--------	-------	------	-------	------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	--------	------	-------	-------	--	--	--

○學生及生徒姓名 豫科

辛島 優一	河邨 文一郎	兒島 欽一	近藤 孝徳	熊谷 之人	真中 肆郎	松田 規六	松本 昌克	松野 正彦	三上 正治	御園生 一哉	茂木 信明	中村 正信	並松 定次	西野 憲次	岡村 信行	齋藤 稔次郎	里 洋三	佐藤 陸廣	清水 浩	清水 貞	尖戸 昌夫	側見 鶴彦	田村 誠一	田中 邦彦	手塚 正	徳田 博士	上野 久仁男	渡邊 四良	矢田 一三	矢野 達富	吉田 明義				安藤 良三	荒川 巖	原田 周次	橋本 典美	林 喬	比嘉 良宗	檜垣 隆興	飯田 龍彦	板倉 靜夫	岩瀬 善彦	河原林 忠男	近藤 忠雄	小西 宏石	中館 祐一	中島 吉人	中村 辰男	小野 英夫	齋藤 勇太郎	柳原 温佐	櫻井 榮松	清水 潤一	鈴木 義夫	高木 雅次	高橋 敬尙	竹本 俊郎	竹村 詮	田崎 斐	田澤 昇	鳥海 正巳	豊田 昌幸	山口 輝泰	山本 二郎	山信田 欣一	横山 博	吉田 芳行	吉尾 正四					相澤 政俊	工 類 一組	淺野 久	芦立 巖	古谷 博	土方 大貳	彦田 勇次	平城 鷹雄	廣瀬 英二	本間 孝一
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	--	--	--	-------	------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	--	--	--	--	-------	--------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------

石田 梯三 秋田	石澤 俊雄 北海道	伊東 祐正 鳥取	柏谷 與市 北海道	河原 清作 北海道
香西 良彦 香川	國松 芳郎 山形	倉橋 努 北海道	黒部 貞一 新潟	水口 彦太郎 岐阜
武藤 弘道 茨城	長城 忠満 愛媛	中野 友雄 北海道	小原 伸之 北海道	小川 幸彦 北海道
大倉 興三郎 東京	大村 逸雄 愛知	坂元 力 鹿島	佐藤 夏比古 東京	杉本 四郎三郎 兵庫
高梨 亨 香手	武富 庄柄 佐賀	竹内 豊三郎 石川	寺田 林平 愛知	戸倉 源次郎 北海道
辻村 眞吾 北海道				
工類 二組	工類 三組			
秋元 良一 北海道	青野 櫻一郎 愛媛	淺川 亮吉 群馬	中馬 章 東京	江原 敬二 群馬
平山 博 北海道	石田 達次郎 秋田	蒲原 輝彦 東京	川上 理郎 群馬	河野 貞吉 愛媛
熊谷 俊夫 北海道	町田 利武 愛知	松本文彦 北海道	見澤 繁光 北海道	森 勝平 北海道
永井 厚 北海道	中島 信行 北海道	中岡 章三 重	沖垣 皓 北海道	奥山 浩一 山形
阪部 一郎 北海道	佐藤 忠正 北海道	關口 隆一 埼玉	下川部 辰夫 北海道	鈴木 和夫 山形
建部 貞幹 新潟	瀧澤 敏行 長野	田村 博俊 北海道	田中 之夫 山梨	谷本 政吉 鳥取
寺内 四計男 栃木	富岡 龍雄 東京	富田 四郎 埼玉	和田 良雄 北海道	山本 竹重 愛知
湯田 重健 福島				
秋吉 卓朗 大分	荒井 道夫 大阪	筑紫 泰三 熊本	遠藤 周宮 城	福本 芳治 鹿島
春川 忠二 岡山	星野 眞佐雄 北海道	池袋 菊彦 宮崎	池谷 理野 岡	今井 良夫 北海道
伊勢 利彦 北海道	伊藤 暢夫 北海道	岩浪 勝治 東京	岩尾 城甫 佐賀	岩崎 寛 東京

第九 附屬土木専門部生徒

第三學年

加藤 貞藏 山形	小池 正男 北海道	久郷 昌夫 富山	三澤 久 北海道	村川 武 北海道
納谷 靖之助 大阪	及川 知 北海道	大熊 唯明 埼玉	齋數 賢次郎 北海道	酒井 忠芳 北海道
佐藤 一二三 山形	佐藤 正八 岩手	東海林 大助 北海道	島津 由藏 北海道	杉本 辰夫 北海道
鈴木 晃 北海道	多田 正具 岩手	玉山 和夫 北海道	田村 喜八 群馬	富田 勇二 東京
山本 義則 岩手				
仲鉢 彌志治 山形	堀 謙治 北海道	今井 芳雄 新潟	石金 清美 北海道	一戸 正典 北海道
伊東 達雄 北海道	岩淵 二郎 宮城	鎌田 哲 北海道	國門 顯章 石川	宮川 勇 新潟
宮野 稔 秋田	盛藤 久清 北海道	室谷 正夫 北海道	仁科 淳 北海道	野口 典夫 北海道
大野 正俊 北海道	佐藤 武 北海道	鹿野 三郎 北海道	島田 鶴雄 北海道	穴戸 仁 岩手
竹内 康和 北海道	丹 龍三郎 北海道	田島 敏男 北海道	山田 辰信 北海道	山内 浩 北海道
相川 實 北海道	赤井 醇 北海道	江口 二郎 北海道	遠藤 章二 北海道	羽田 二郎 北海道
廣瀨 外郎 佐賀	星野 彰 北海道	五十嵐 廉二 岩手	五十嵐 謙一 新潟	五十嵐 正一 北海道
鎌田 三郎 山形	北川 博 北海道	小坂 政雄 北海道	小關 敏夫 北海道	室峰 時光 北海道
中村 久之 富山	中村 良夫 北海道	南部 隆一 北海道	成田 誠二 秋田	大脇 道夫 北海道
佐々木 幸一 青森	島田 芳男 北海道	高野 實 北海道	遠山 隼人 北海道	上村 熊雄 鳥取

○學生及生徒姓名 附屬土木專門部

和田 順一		赤澤 稔		藤田 巖		北野 正一		太田 進		島田 知一		千葉 真之	
北海道	山口 龍典	北海道	朝倉 隆	北海道	飯田 正治	北海道	宮本 秀秋	北海道	齋藤 新一	東京	清水 宗次	岩手	德中 省三
新潟	第一學年	北海道	遠藤 武治	北海道	加藤 義男	北海道	水谷 俊行	北海道	澤野 正壽	北海道	側見 文夫	愛知	鳥居 式雄
		愛知	波多野 信正	青森	川口 信夫	岩手	中野 恭平	北海道	關口 龍郎	北海道	高木 養造		
		北海道	服部 忠雄	北海道	木村 爲一	新潟	大橋 代嗣	宮城	澁谷 源郎	北海道	武田 芳郎		

○學生生徒諸表

學生生徒現在數

種別	農學部									計
	農學科	農業經濟學科	農業生物學科	農藝化學科	林學科	畜產學科第一部	畜產學科第二部	小計	農學實科	
大學院								四		
三年目又	二四	一五	六	二六	二一	一三	六	一〇一	三四	二七
二年目又	三三	一四	七	二五	一四	一三	六	一〇〇	二九	三三
一年目又	二五	一七	三	二五	一三	一五	八	一〇六	二八	三〇
選科生			二		一		三			
専攻生又	一			二		二		五	一	
特別生									八	三
計	七二	四七	一九	八〇	三九	四二	二〇	三一九	一〇〇	九二

○學生生徒諸表 學生生徒現在數

○學生生徒諸表 學生生徒年齡調

工學部														
第一部類			第二部類			第三部類			第四部類					
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
一	二	三	四	六	一	二	三	四	一	二	三	二	三	四
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
二四〇六	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇三	一九〇三	二二〇二	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇四	一九〇四	二二〇四	二二〇一	二二〇四
二四〇六	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇三	一九〇三	二二〇二	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇四	一九〇四	二二〇四	二二〇一	二二〇四
二四〇六	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇三	一九〇三	二二〇二	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇四	一九〇四	二二〇四	二二〇一	二二〇四
二四〇六	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇三	一九〇三	二二〇二	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇四	一九〇四	二二〇四	二二〇一	二二〇四
二四〇六	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇三	一九〇三	二二〇二	二二〇二	二二〇二	二二〇四	一九〇四	一九〇四	二二〇四	二二〇一	二二〇四

○學生生徒諸表 學生生徒年齡調

理學部														
地質學礦物學科			化學科			物理學科			數學科					
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三
二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三
二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三
二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三
二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三	二五〇三

○學生生徒諸表 學生生徒道府縣別

合 計	中 華 民 國 及 滿 洲 國	樺 太	臺 灣	朝 鮮	鹿 兒 島 縣	宮 崎 縣	大 分 縣	熊 本 縣	長 崎 縣	佐 賀 縣
一八	一									
五七	五									
七二	一									
四六										
一八	三									
七六	一									
三九	一									
六〇	一									
一〇〇	九									
九三	三									
三六	一									
六六	二									
二二										
七四										
七〇										
七六										
七九										
二七										
三三										
四五										
一四										
八二										
三九	二									
九五	二									
八〇										
二二三	二六	九	一	六	一五	六	一五	一〇	三	二

○卒業生姓名 (○印死亡)

農 學 士

- 第一期 (明治十三年七月卒業)
- 荒川 重秀 東京
 - 渡瀬 寅次郎 東京
 - 出田 晴太郎 大分
 - 内村 鑑三 群馬
 - 新渡戸 稻造 岩手
 - 榎野 四男吉 新潟
 - 大津 和多理 宮城
 - 中 根 明 北海道
 - 調所 恒徳 東京
 - 細川 文五郎 岡山
 - 渡瀬 庄三郎 静岡
 - 佐藤 昌介 北海道
 - 内 田 滸 北海道
 - 中島 信之 石川
 - 廣 井 勇 北海道
 - 齋藤 祥三郎 新潟
 - 赤壁 二郎 石川
 - 伊吹 鎗造 京都
 - 諏訪 鹿三 北海道
 - 福原 鐵之輔 山口
 - 中根 壽 北海道
 - 大島 正健 北海道
 - 佐藤 勇 北海道
 - 柳本 通義 北海道
 - 高木 玉太郎 東京
 - 藤田 九三郎 東京
 - 高岡 直吉 島根
 - 相山 清利 千葉
 - 尾泉 良太郎 秋田
 - 鶴崎 久米一 長野
 - 熊地 熊太郎 岩手
 - 手島 十郎 京都
 - 小野 兼基 北海道
 - 田内 捨六 高知
 - 南 鷹次郎 北海道
 - 岩崎 行親 東京
 - 足立 元太郎 北海道
 - 黑岩 四方之進 北海道
 - 伊藤 一隆 北海道
 - 小野 喜作 静岡
 - 原田 成貞 茨城
 - 久島 重義 東京
 - 堀 宗一 北海道
 - 武藤 亥三郎 滋賀
 - 頭本 元貞 鳥取
 - 志賀 重昂 愛知
 - 岡 文二 宮城
 - 佐瀬 辰三郎 北海道
- 第二期 (明治十四年七月卒業)
- 宮部 金吾 北海道
 - 高木 玉太郎 東京
 - 藤田 九三郎 東京
 - 岩崎 行親 東京
 - 足立 元太郎 北海道
- 第三期 (明治十五年七月卒業)
- 齋藤 祥三郎 新潟
 - 高岡 直吉 島根
 - 原田 成貞 茨城
 - 小島 喜作 静岡
- 第四期 (明治十七年七月卒業)
- 福原 鐵之輔 山口
 - 菊地 熊太郎 岩手
 - 頭本 元貞 鳥取
 - 佐瀬 辰三郎 北海道

○卒業生姓名 農學士

○卒業生姓名 農學士

- ◎松永 武雄 愛知 ◎結城 祥吾 和島 ◎河村 九淵 東京 ◎武信 由太郎 和島 ◎三增 久米吉 山口
- ◎早川 鐵治 岡山 ◎山下 敬太郎 兵庫
- 第五期 (明治十八年七月卒業)
 - ◎安岡 雋次郎 高知 ◎小寺 甲子二 兵庫 ◎本土 源次郎 長崎 ◎山口 莊三 兵庫 ◎野澤 俊次郎 靜岡
 - ◎今 外三郎 青森 ◎安田 英吉 島取 ◎長谷川 豐太郎 東京 ◎榎 忠一 新潟 ◎小野 三郎 福井
 - ◎下島 幸吉 福島 ◎大町 信宮 城
- 第六期 (明治二十年七月卒業)
 - ◎谷 清 遠島根 ◎波邊 勇太郎 大分 ◎伊達 直温 北海道 ◎友高 善嗣 福井 ◎石橋 朗 東京
 - ◎和田 健三 長崎 ◎柳内 儀之進 北海道 ◎水野 喜太郎 北海道 ◎中川 太郎 山口
- 第七期 (明治二十一年七月卒業)
 - ◎平野 象一 石川 ◎藤村 信吉 北海道 ◎清水 由松 福井 ◎寺尾 熊三 兵庫 ◎三輪 一 福岡
 - ◎兩角 熊雄 熊本 ◎石川 貞治 岡山 ◎莊島 熊六 佐賀 ◎内村 達三郎 東京 ◎堀 正太郎 島取
 - ◎關口 長一 群馬 ◎廣瀬 八三郎 大分 ◎西川 忠太郎 東京 ◎岡 元 輔 宮城 ◎木村 繁四郎 青森
 - ◎池田 政吉 鹿見島 ◎牟田 武一 佐賀
- 第八期 (明治二十二年七月卒業)
 - ◎足立 五郎 靜岡 ◎橋本 左五郎 北海道 ◎瀨尾 鍋吉 北海道 ◎目黒 末之丞 宮城 ◎赤羽 雄一 長野
 - ◎榑 原 仲 愛知 ◎秋山 長俊 北海道 ◎長崎 常 北海道 ◎藤田 經信 東京 ◎中村 鐵太郎 島根
 - ◎今村 猛雄 北海道 ◎横山 壯次郎 北海道 ◎長屋 平太郎 北海道 ◎井倉 辛喜知 岐阜 ◎高林 甲子郎 山口
 - ◎和田 太吉 福井 ◎藤根 吉春 岩手

- ◎清水 郁藏 山口 ◎鐸木 近吉 福島 ◎池内 德孝 愛媛 ◎星野 和太郎 北海道 ◎宮崎 太郎 北海道
- ◎吉村 喜一郎 北海道 ◎荒井 寅治 北海道
- 第九期 (明治二十四年七月卒業)
 - ◎村越 銑之輔 北海道 ◎角田 啓司 北海道 ◎安田 彦 北海道 ◎小倉 延足 北海道 ◎田口 於菟吉 東京
 - ◎小田切 榮三郎 北海道 ◎河原 丑輔 山口 ◎池田 貫道 佐賀
- 第十期 (明治二十五年七月卒業)
 - ◎大島 金太郎 北海道 ◎出田 新大分 ◎松澤 辰三郎 北海道 ◎菊地 捍 北海道 ◎鹿討 豐太郎 北海道
 - ◎莊司 力松 北海道 ◎河南 休男 東京 ◎沼田 正直 東京 ◎小川 二郎 北海道 ◎伊藤 廣幾 北海道
 - ◎谷井 恭吉 北海道 ◎加藤 忠治 千葉 ◎須田 金之助 山形 ◎近藤 仙吉郎 新潟 ◎柏井 德一 福岡
- 第十一期 (明治二十六年七月卒業)
 - ◎山田 幸太郎 北海道 ◎黑澤 信良 岩手 ◎尾見 五郎 北海道 ◎川上 謙三郎 新潟 ◎小川 三策 岐阜
 - ◎伊東 一二 東京 ◎末田 新松 北海道
- 第十二期 (明治二十七年七月卒業)
 - ◎高岡 熊雄 北海道 ◎高橋 良直 北海道 ◎千石 興太郎 北海道 ◎坂井 菊松 北海道 ◎齋藤 和福 井
 - ◎黑澤 良平 宮城 ◎石井 小太郎 岩手 ◎松村 松年 北海道 ◎萱場 三郎 北海道 ◎山口 萬男 東京
 - ◎西谷 清次郎 北海道
- 第十三期 (明治二十八年七月卒業)
 - ◎平塚 直治 北海道 ◎枋内 壬五郎 北海道 ◎清水 元太郎 愛知 ◎湯淺 中夫 北海道 ◎大脇 正諄 北海道
- 第十四期 (明治二十九年七月卒業)
 - ◎平塚 直治 北海道 ◎枋内 壬五郎 北海道 ◎清水 元太郎 愛知 ◎湯淺 中夫 北海道 ◎大脇 正諄 北海道

○卒業生姓名 農學士

○卒業生姓名 農學士

吉澤 誠藏 長野	○中村友太郎 北海道	○星 祥之助 北海道	吉野得一郎 愛知	加賀林庄吉 北海道
岡田 虎輔 北海道	河田 惠治 北海道	成田 軍平 北海道	増田 貞吉 福岡	
時任 一彦 北海道	藤田 昌熊 本	○相澤 元次郎 北海道	菊地 幸次郎 北海道	○東條 秀介 山口
酒井 宮橋 東京	小谷 武治 北海道	宮地 貫道 北海道	芳賀 龜太郎 北海道	廣瀬 渡 北海道
菊地 土之助 茨城	齋藤 謙吉 青森	三輪 龍揚 熊本	○鶴卷 恒太 新潟	○相馬 經治 青森
山田 玄太郎 北海道	○小川 運平 石川	○齋藤 吉夫 北海道	○山田 秀雄 北海道	○大槻 由巳 福島
佐々 茂雄 北海道	湯地 定彦 北海道	篠崎 眞秀 鹿島	○辻 重 忠 高知	安藤 乙次郎 神奈川
名越 正助 鹿島	戸津 高知 宮城	高橋 安太郎 東京	○平山 八十五 東京	石橋 三郎治 北海道
○合志 修敬 熊本	大山 利秀 鹿島			
第十七期 (明治三十二年七月卒業)				
○毛利 鐵之助 岐阜	明峰 正夫 北海道	安東 義喬 北海道	西垣 恒矩 京都	笠原 十司 長野
牧野 環 北海道	○大野 悦太郎 北海道	中尾 節藏 鳥取	○岩谷 讓吉 北海道	○奈 良 淨 北海道
○西田 藤次 滋賀	遠藤 萬三 新潟	荒尾 光雄 熊本	○青柳 定治 北海道	○大川 石松 靜岡
○後藤 鐵藏 福島	飯塚 幸四郎 群馬	仁木 信雄 北海道	若林 功 北海道	土肥 竹次郎 北海道
○齋藤 角太郎 宮城	○仲谷 一馬 大阪	菊池 謹彌 北海道	○攝待 初太郎 岩手	菅 菊太郎 愛媛
大久保 七熊 北海道	佐藤 昌 北海道			
(明治三十二年十月卒業)				

原 信吉 北海道

伊藤 清藏 山形	神田 勝亥 北海道	平澤 眞 北海道	○長嶺 林三郎 北海道	○高野 定治 北海道
結城 庄八 北海道	○角田 啓五郎 熊本	吉田 碩造 北海道	小田 代慶太郎 北海道	○川上 瀧彌 北海道
○永山 盛良 鹿島	○河田 力 北海道	(舊姓和山) 廣瀬 法潤 北海道	○中目 敬治 宮城	池野 傳吉 北海道
草場 榮喜 佐賀	○梁田 斌 北海道	本多 敏樹 愛知	中村 由太郎 北海道	渡部 太郎 北海道
伊藤 祐夫 北海道	○櫻田 廣治 秋田	○新宿 幸次郎 北海道	○百瀬 葉千助 北海道	湯田 勝治 北海道
淺井 熊作 福島	齋藤 永治 宮城	對馬 熊雄 北海道	○黒田 實 熊本	
第十九期 (明治三十四年七月卒業)				
星野 勇三 山形	半澤 洵 北海道	早川 萬一 宮城	佐藤 政二 北海道	○森 廣 北海道
○東海林 力藏 北海道	田下 寅治 新潟	鈴木 眞吉 東京	和 田 應 北海道	○有島 武郎 東京
森本 厚吉 京都	波部 甚作 靜岡	中田 重男 京都	(舊姓戸澤) 林 力藏 山形	秋山 熊次郎 群馬
鈴木 敬策 北海道	○木村 德藏 富城	○畑 治 作 新潟	關 又一 北海道	○伊東 春治 北海道
井口 爲二 北海道	岩波 六郎 北海道	町井 正格 北海道	○岩田 榮次郎 北海道	○原田 豐次郎 青森
池田 太郎 東京	井街 顯山口	○富益 良一 長崎	○瀧 臣 岡山	野呂 莊次郎 秋田
蠣崎 知二 北海道	○石澤 達夫 岩手	久保 隆三 東京	内藤 乾藏 北海道	
第二十期 (明治三十六年六月卒業)				
河村 精八 秋田	○芳賀 鉄五郎 山形	小藤 孝德 高知	(舊姓鈴木) 奥山 慶松 山形	
第二十一期 (明治三十七年七月卒業)				

○卒業生姓名 農學士

○卒業生姓名 農學士

金子昌太郎 群馬 三宅 勉 北海道 山田 勝伴 北海道 黄金井 解三 神岡 川口 順次郎 三重
 ◎小椋 祥三 長野 高村 儉治 秋田 (明治三十七年十二月卒業)

◎西川 萬里 北海道 第二十二期 (明治三十八年八月卒業)

三宅 康次 北海道 ◎鈴木 寧 北海道 東郷 實 鹿兒島 住友 璋一 徳島 柳田 玄俊 北海道
 高橋 小十郎 愛知 石田 研 北海道 石澤 雄右衛門 山形 村山 正二 新潟 米山 豊 神岡
 ◎石井 富之助 北海道 美濃部 貞雄 愛知 ◎成田 昌治 青森 永根 晋 北海道 小川 義雄 北海道
 湯地 定武 北海道 河内 完治 愛媛 小川 良五郎 北海道 中村 精一 和歌山 原 富雄 北海道
 岩波 藏三郎 長野 北澤 小八郎 長崎 今村 伊那吉 長野 菅野 省三 北海道 ◎越前谷 民治 秋田

◎素木 得一 北海道 第二十三期 (明治三十九年七月卒業)

◎宮城 鐵夫 神岡 末光 績 愛媛 ◎鈴木 力治 山形 高橋 孝治 北海道 藤井 爲次郎 香川
 大關 雄只 北海道 川島 一郎 岩手 ◎柳川 鑑藏 神奈川 ◎狩野 時二 埼玉 安部 忠一 關
 安藤 多加善 大分 ◎竹田 茂 和歌山 ◎江刺家 昂 北海道 橋本 健三郎 大阪 ◎關 司 長野
 大光寺 毅夫 岩手 (明治三十九年十月卒業)

◎村山 吉三郎 北海道 第二十四期 (明治四十年七月卒業)

高松 正信 東京 高橋 榮治 北海道 ◎吉川 藤左衛門 長野 林 靖三 東京

◎二宮 徳 關島 梁田 參 北海道 岡本 半次郎 廣島 山村 悦造 兵庫 相原 金治 宮城
 木田 一三 神岡 ◎三浦 慶太郎 山形 吉田 守一 東京 小池 俊三 奈良 橋都 正農夫 長野
 中村 胖 北海道 (舊姓松井) 大橋 秀吉 大阪 吉田 貞造 鳥取 田中 慎 神奈川 伊藤 清 岐阜
 小泉 藤之介 茨城 ◎村上 又二郎 兵庫 三宅 於菟松 新潟 佐藤 誼雄 岩手 益田 律治 熊本
 佐藤 陽太郎 宮城 (明治四十一年七月卒業)

池田 競 北海道 (以上札幌農學校)

明治四十一年七月四日卒業 農學科

(×印ハ優等シタル者)

×伊藤 誠哉 新潟 ◎×桑山 茂 北海道 安孫子 孝次 北海道 半澤 虎太郎 北海道 鳥海 二郎 秋田
 澁谷 紀三郎 北海道 石川 保高 愛知 ◎網野 一壽 埼玉 市川 清水 高知 ◎百瀬 俊太郎 山形
 副島 昌佐 置 割田 平馬 群馬 ◎伊藤 章 鳥根 (舊姓鈴木) 三浦 道哉 岩手 ◎米倉 茂 關
 鈴木 勇一 關島 大平 精一 關島 笠島 貞治 北海道 眞山 伊重郎 長野 卷淵 興之助 滋賀
 濱島 彦十 長野 梶 正雄 神奈川 行田 又三郎 長野 小川 善八 香川
 逢坂 信 新 (明治四十一年十二月一日卒業) 農學科

明治四十二年七月六日卒業 農學科

×田中 義麿 長野 笠井 幹夫 關山 日向 秀雄 青森 (舊姓横山) 橋本 直也 關山 里 正義 三重
 吉田 清山 形 ◎橋 儀一 北海道 大久保 敬 茨城 柳川 秀興 香川 川又 忠純 北海道

○卒業生姓名 農學士

○卒業生姓名 農學士

小山 達郎 北海道 德田 義信 鳥取 森岡 光信 愛媛 松枝 邦太 岡山 工藤 藏之助 秋田
 小林 正視 長野 赤崎 平八郎 鹿見島 渡邊 彌三太郎 北海道 林 基 一 和歌山 小倉 俊良 石川
 牛渡 日出太郎 福岡 名倉 森藏 愛知 多嘉 良憲 神尾 上野 亮太 和歌山 朝倉 金彦 和歌山
 安部 信明 東京

明治四十三年七月八日卒業 農學科

×中島 九郎 北海道 ×仲尾 政太郎 大阪 加藤 木保次 東京 井口 賢三 北海道 橋 禮次 北海道
 吉田 新七郎 盛賀 丹羽 七郎 北海道 遠藤 一男 山形 田邊 操 廣島 野田 實 北海道
 樋口 敏郎 北海道 向 井 武 北海道 鈴木 國太郎 福島 土井 昌逸 廣島 古川 留三郎 北海道
 近藤 一二 岡山 田中 亭藏 奇森 大澤 榮太郎 新潟 山田 拍探 岩手 末光 信三 愛媛
 藤井 莊三郎 福島 鈴木 限三 愛知 田中 元次郎 盛賀 高木 直一 北海道
 ×田所 哲太郎 秋田 森岡 勇高知 明治四十三年七月八日卒業 農藝化學科

明治四十三年十二月一日卒業 農學科

井上 金彌 北海道 明治四十四年七月八日卒業 農學科
 ○山田 靜榮 關西 ○大阪 正一 熊本 富樫 金藏 山形 木村 靖 北海道 前川 十郎 北海道
 津田 武雄 北海道 納富 喜雄 北海道 駒井 德三 盛賀 細川 殷德 北海道 末松 鳳平 關西
 小熊 捍 北海道 中本 保三 山口 松岡 亮作 廣島 磯 永吉 廣島 岡崎 鹿衛 高知
 米山 弘 關西 陶 昌 善 中華 中江 龍二 京都 平野 善嗣 千葉 佐藤 憲三郎 東京

大向 太次郎 青森 有木 基廣 島 松田 友良 岩川 松林 理三郎 石川 竹田 義治 東京
 牧 長美 東京

明治四十四年七月八日卒業 農藝化學科

×森 澤 傳 高知 木村 謙介 愛媛 吉田 武郎 北海道 桑原 省吾 山形 押見 仁 福島
 島田 斯文 北海道 平野 千里 三重 五味 誠吾 山梨 園部 萬吉 茨城 中村 正壽 山形
 ビー・ケー・ピスソス 印度

明治四十四年九月二十日卒業 農學科

○谷岡 吉次郎 大阪 明治四十五年七月六日卒業 農學科

福山 甚之助 北海道 早川 直瀨 群馬 桑城 勝三郎 香川 玉山 豐 北海道 飯塚 直彦 秋田
 上原 轍三郎 廣島 江口 光雄 鹿見島 正見 透 北海道 近藤 七郎 福島 入江 一郎 埼玉
 高橋 陸郎 岩手 齋藤 實男 福井 鈴木 謙 關西 石津 半治 山口 大石 泰藏 兵庫
 田中 春夫 東京 有元 英夫 岡山 森田 健次郎 關西 浦上 啓太郎 廣島 丹治 七郎 關島
 水野 登 關西 根岸 元吉 東京 板倉 勝則 東京 鈴木 簡一郎 群馬 小野 澤新一 長野

明治四十五年七月六日卒業 農藝化學科

×蛭子 孝作 北海道 菅野 修一郎 北海道 遠藤 幸吉 山形 坂根 廣義 北海道 岩崎 四郎 新潟
 大正二年七月五日卒業 農學科

×佐藤 利一 福島 渡邊 柳藏 愛知 馬場 庄介 福島 坂村 徹 廣島 四方 直藏 京都
 安次富 松藏 神尾 田中 義基 大阪 藤原 善二 岩手 前川 德次郎 香川 和田 直義 北海道

○卒業生姓名 農學士